学修の手引き

第 1 学 年
（ Segment 2 ）

令和 7（2025）年度

東京女子医科大学
医 学 部

目　　次

東京女子医科大学設立の精神 1
東京女醫學校設立主意 2
序　言 3

東京女子医科大学の目的 4
東京女子医科大学医学部における 4 つのポリシー 5
MD プログラム 2011 改訂版について 9
学部教育を通じて達成する医師としての実践力 10
医の実践力_アウトカム・ロードマップ 12
慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ 15
カリキュラムの構造 18
週間の授業予定 18

セグメント 2
Ⅰ　学修内容 20

Ⅱ　到達目標
A. 包括的到達目標 21
B. 科目別シラバス
・基幹科目
「組織の成り立ち－組織、器官系」 24
「生体物質の代謝」 55
「細胞と情報伝達」 79
「生体システムと制御機構」 106
「遺伝と遺伝子」 133
「生体と微生物」 152
「生体防御・免疫」 177
「医学用語」 190
・縦断教育科目
「『至誠と愛』の実践学修」 196
「国際コミュニケーション」 234
「基本的・医学的表現技術」 293
「健康管理」 304
「医療・患者安全学」 310
Ⅲ　試験科目表・試験日程表 319

Ⅳ　テュートリアル・TBL 学修
　１　テュートリアル・TBL について……321
　２　テュートリアル・TBL 日程一覧……324
　３　ファシリテーター一覧……325
　４　リソースパースン一覧表……326

Ⅴ　第１学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員……328

Ⅵ　選択科目……330

Ⅶ　講義・実習時間割表……333

東京女子医科大学設立の精神

Ⅰ．　建学の精神

東京女子医科大学は、1900 年（明治 33 年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952 年（昭和 27 年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998 年（平成 10 年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

Ⅱ．　大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ日一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアランヤ蓋シ一歩ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ專門學ニアリ由來女子ノ專門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年以前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ專門學校トシテハ女子師範學校、音楽學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ專門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス浅學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月　　東京女醫學校主　鷲山彌生　識

序　言

学　長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100 年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは 2017 年度に改訂された MD プログラム 2011（2011 年度 1 年生より導入）であるが、その原形は 1990 年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして 2018 年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MD プログラム 2011 では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017 年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018 年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第１条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における
人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第１条　本内規は、東京女子医科大学学則第１条第２項及び東京女子医科大学院学則第１条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第２条　医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

(1)「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。

(2)　社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。

２　医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

(1)　将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。

(2)　患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1 年次から 6 年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして 10 に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を 6 学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され 6 年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1 年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション

等で学ぶ機会が設けられ、4 年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに 5 年次から 6 年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価を GPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる 4 年次の CBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT(Problem-solving Ability Test)、ならびに 6 年次の Post-CC (Clinical Clerkship) OSCE は、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（「卒業生子女」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3 親等以内の親族に本学医学部の卒業生（前身の東京女子医学専門学校も含む）がおり、併せて高等学校等の推薦を受けた者を対象として、面接、小グループ討論、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 （機関レベル）	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与（卒業）率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト	

		出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	
大学院医学研究科（課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文の IF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

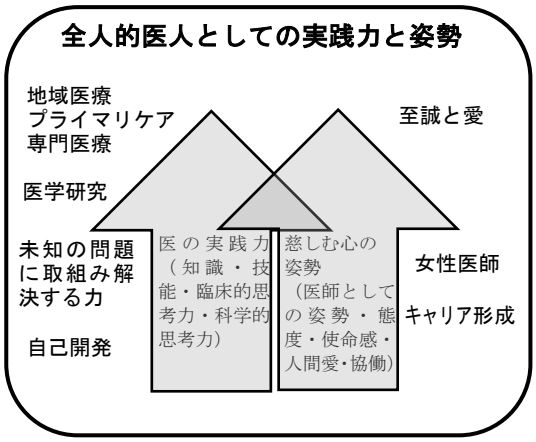
MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・テュートリアル・ＴＢＬ教育を通じて学ぶ。
4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力



医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する 6 個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する 5 個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時までに達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2 年）、中学年（3/4 年）、高学年（5/6 年）で達成すべき具体的目標をロードマップとして表してある。

アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

Ⅰ　医の実践力

1.　知識と技能を正しく使う力

A.　医学的知識を医療に活用できる。

B.　診断・治療・予防を実践できる。

C.　基本的技能を実践できる。

2.　問題を見つけ追求する力

A.　解決すべき問題を発見できる。

B.　問題を深く追求できる。

C.　未知の問題に取り組むことができる。

3.　問題解決に向け考え実行する力

A.　適切な情報を集め有効に活用できる。

B.　解決方法を選び実行できる。

C.　結果を評価できる。

4.　情報を伝える力

A.　患者に情報を伝えることができる。

B.　医療情報を記録できる。

C.　医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力

A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。

B. 根拠に基づいて診療を行える。

6. 法と倫理に基づいて医療を行う力

A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。

B. 医療倫理を理解し実践できる。

C. 研究倫理を理解し実践できる。

D. 社会の制度に沿った診療を行える。

Ⅱ 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢

A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。

B. 家族・患者周囲に配慮できる。

C. 社会の患者支援機構を活用できる。

2. 生涯を通じて研鑽する姿勢

A. 目標を設定し達成するために行動できる。

B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。

C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。

D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。

E. 専門職として目標を持つ

3. 社会に奉仕する姿勢

A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。

B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。

4. 先導と協働する姿勢

A. 自分の判断を説明できる。

B. グループを先導できる。

C. 医療チームのなかで協働できる。

5. ひとの人生へ貢献する姿勢

A. 患者に希望を与えられる。

B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

Ⅰ 医の実践力―アウトカム/ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1、2 年 ロードマップ	① 人体の正常な構造と機能を説明できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-① ② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-② ③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-③ ④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-④	① データを読み解釈できる。Ⅰ-1-B-(1-2)-①	① 実習に必要な技術を実践できる。Ⅰ-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研修を行える。Ⅰ-1-C-(1-2)-②	① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。Ⅰ-2-A-(1-2)-①	① 仮説を導くことができる。Ⅰ-2-B-(1-2)-① ② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。Ⅰ-2-B-(1-2)-②	① 既知と未知の問題を明らかにできる。Ⅰ-2-C-(1-2)-① ② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。Ⅰ-2-C-(1-2)-②
3、4 年 ロードマップ	① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-① ② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-② ③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-③ ④ 疾患、症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④	① 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-② ③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-③	① 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②	① 問題の優先度および重要度を判断できる。Ⅰ-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(3-4)-②	① 問題の科学的重要性を評価できる。Ⅰ-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。Ⅰ-2-B-(3-4)-②	① 事例から自分の知らないことを発見できる。Ⅰ-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。Ⅰ-2-C-(3-4)-②
5、6 年 ロードマップ	① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(5-6)-①	① 臨床推論を実践できる。Ⅰ-1-B-(5-6)-① ② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。Ⅰ-1-B-(5-6)-② ③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。Ⅰ-1-B-(5-6)-③	① 基本的医療技能を実践できる。Ⅰ-1-C-(5-6)-① ② 安全に配慮して、医療を実践できる。Ⅰ-1-C-(5-6)-②	① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(5-6)-① ② 患者の診療上の問題を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(5-6)-②	① 患者の病態の原因を検索できる。Ⅰ-2-B-(5-6)-① ② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。Ⅰ-2-B-(5-6)-②	① 患者から新しいことを学べる。Ⅰ-2-C-(5-6)-① ② 患者から自分の知らないことを発見できる。Ⅰ-2-C-(5-6)-② ③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。Ⅰ-2-C-(5-6)-③

	3.　根拠に基づいた判断を行う力			4.　情報を伝える力		
アウトカム	A.　適切な情報を集め有効に活用できる。	B.　解決方法を選び実行できる。	C.　結果を評価できる。	A.　患者に情報を伝えることができる。	B.　医療情報を記録できる。	C.　医療者と情報交換ができる。
1、2 年 ロードマップ	①　問題解決のための情報収集ができる。 Ⅰ-3-A-(1-2)-① ②　仮説を証明する手順を説明できる。 Ⅰ-3-A-(1-2)-②	①　情報に即して適切な解決方法を導くことができる。Ⅰ-3-B-(1-2)-① ②　複数の問題解決法を考えることができる。 Ⅰ-3-B-(1-2)-②	①　問題解決結果の妥当性を評価できる。Ⅰ-3-C-(1-2)-① ②　結果に予想される誤差を考えられる。Ⅰ-3-C-(1-2)-②	①　自分の考えを他者に伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(1-2)-①	①　結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 Ⅰ-4-B-(1-2)-① ②　研究・実習の報告書が作成できる。Ⅰ-4-B-(1-2)-② ③　文書の要約を作成できる。 Ⅰ-4-B-(1-2)-③	①　簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。Ⅰ-4-C-(1-2)-① ②　相手の理解に合わせて、説明できる。Ⅰ-4-C-(1-2)-② ③　自己学習の結果を適切に伝えられる。Ⅰ-4-C-(1-2)-③
3、4 年 ロードマップ	①　事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-① ②　適切な診療ガイドラインを選択できる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-②	①　病態を明らかにする方法を挙げることができる。 Ⅰ-3-B-(3-4)-① ②　事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 Ⅰ-3-B-(3-4)-②	①　適切な問題解決を行ったか検証できる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-① ②　結果の客観的評価ができる。Ⅰ-3-C-(3-4)-② ③　結果の解釈の限界を明らかにできる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-③	①　医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(3-4)-① ②　患者に分かる言葉を選択できる。Ⅰ-4-A-(3-4)-②	①　研究・実習・症例などの要約が作成できる。Ⅰ-4-B-(3-4)-① ②　POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 Ⅰ-4-B-(3-4)-②	①　研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-① ②　医療チームでの情報共有について説明できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-②
5、6 年 ロードマップ	①　適切な診療ガイドラインを選択できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-① ②　診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。Ⅰ-3-A-(5-6)-② ③　診療上の問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-③ ④　異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-④	①　診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。Ⅰ-3-B-(5-6)-① ②　情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 Ⅰ-3-B-(5-6)-②	①　診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-① ②　診療過程で予測される問題点を示せる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-② ③　予想と異なる結果について原因を考察できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-③	①　病状を患者が理解できるように伝えられる。 Ⅰ-4-A-(5-6)-① ②　診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 Ⅰ-4-A-(5-6)-②	①　診療録を適切に記載できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-① ②　処方箋を適切に発行できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-② ③　症例要約を作成できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-③ ④　死亡診断書記入法を説明できる。Ⅰ-4-B-(5-6)-④	①　口頭で症例提示ができる。 Ⅰ-4-C-(5-6)-① ②　患者の問題点を指導医に報告できる。Ⅰ-4-C-(5-6)-② ③　必要な患者情報を要約して説明できる。Ⅰ-4-C-(5-6)-③ ④　専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 Ⅰ-4-C-(5-6)-④

	5.　根拠に基づいた判断を行う力		6.　法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	**A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。**	**B. 根拠に基づいて診療を行える。**	**A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。**	**B. 医療倫理を理解し実践できる。**	**C. 研究倫理を理解し実践できる。**	**D. 社会の制度に沿った診療を行える。**
1、2 年 ロードマップ	①　現象の原因・機序を検索できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-① ②　実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。Ⅰ-5-A-(1-2)-② ③　情報の信頼度を評価できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-③	①　根拠に基づいて解決法を判断できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-① ②　問題解決の適切性を評価できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-②	①　社会的規範を守った生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-① ②　学則を守った学生生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-②	①　個人情報保護について説明できる。Ⅰ-6-B-(1-2)-① ②　倫理の概念について説明することができる。Ⅰ-6-B-(1-2)-②	①　研究倫理の概念について述べることができる。Ⅰ-6-C-(1-2)-① ②　研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。Ⅰ-6-C-(1-2)-②	
3、4 年 ロードマップ	①　データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-① ②　結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-② ③　根拠となる文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-③	①　診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①	①　医学生の医行為水準を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-① ②　医師法・医療法の概要を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-②	①　医学における倫理の概念を説明できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-① ②　倫理的問題を明らかにできる。Ⅰ-6-B-(3-4)-② ③　患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-③	①　基礎研究における倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-① ②　利益相反(Conflict of interest)について説明できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-②	①　社会保障を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-① ②　医療に関する保証制度を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-②
5、6 年 ロードマップ	①　基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。Ⅰ-5-A-(5-6)-① ②　問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-② ③　検索した医学的情報の確かさを評価できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-③	①　患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(5-6)-①	①　病院の規則に従って診療に関われる。Ⅰ-6-A-(5-6)-①	①　患者情報の守秘を励行して医療を行える。Ⅰ-6-B-(5-6)-① ②　臨床倫理を実践できる。Ⅰ-6-B-(5-6)-② ③　立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。Ⅰ-6-B-(5-6)-③	①　臨床研究の倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(5-6)-①	①　患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。Ⅰ-6-D-(5-6)-①

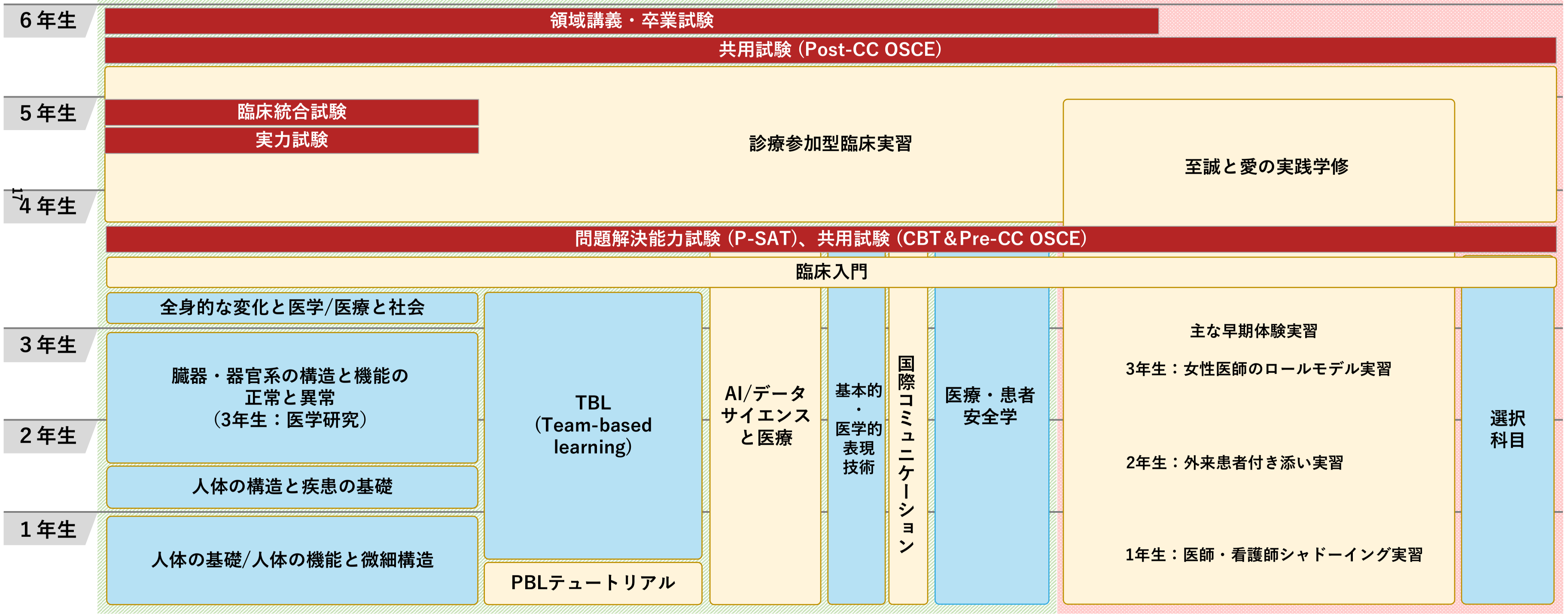
Ⅱ 慈しむ心の姿勢―アウトカム/ロードマップ

	1. 患者を理解し支持する姿勢			2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
アウトカム	**A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。**	**B. 家族・患者周囲に配慮できる。**	**C. 社会の患者支援機構を活用できる。**	**A. 目標を設定し達成するために行動できる。**	**B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。**	**C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。**	**D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。**	**E. 専門職として目標を持つ。**
1、2 年 ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 Ⅱ-1-C-(1-2)-①	① 学習上の目標を設定することができる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-① ② 目標達成の手段を明らかにできる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-② ③ 省察（振り返り）を実践できる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-③ ④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-④	① 社会が期待する医師像を説明できる。 Ⅱ-2-B-(1-2)-①	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 Ⅱ-2-C-(1-2)-① ② 学習のための時間を適切に自己管理できる。 Ⅱ-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 Ⅱ-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 Ⅱ-2-D-(1-2)-②	① 自分の目標となる人物像を説明できる。 Ⅱ-2-E-(1-2)-①
3、4 年 ロードマップ	① 傾聴できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 Ⅱ-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-②	① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 Ⅱ-2-B-(3-4)-①	① 学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 Ⅱ-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 Ⅱ-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 Ⅱ-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学習できる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-① ② 学習の中で興味を持ったことを自ら学べる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 Ⅱ-2-E-(3-4)-①
5、6 年 ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 Ⅱ-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 Ⅱ-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 Ⅱ-2-A-(5-6)-①	① 研修（実習）する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 Ⅱ-2-B-(5-6)-①	① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 Ⅱ-2-C-(5-6)-①	① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 Ⅱ-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 Ⅱ-2-E-(5-6)-①

	3.　社会に奉仕する姿勢		4.　先導と協働する姿勢			5.　ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	A.　社会・地域で求められる医療を実践できる。	B.　医学研究を通じた社会貢献ができる。	A.　自分の判断を説明できる。	B.　グループを先導できる。	C.　医療チームのなかで協働できる。	A.患者に希望を与えられる。	B.　後輩を育てることができる。
1、2 年ロードマップ	①　社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 Ⅱ-3-A-(1-2)-①	①　医学研究の重要性について概説できる。 Ⅱ-3-B-(1-2)-①	①　自分の考えの根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(1-2)-①	①　共通の目標を設定できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-① ②　活動向上のための評価ができる。 Ⅱ-4-B-(1-2)-② ③　意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-③	①　他者の話を聴くことができる。Ⅱ-4-C-(1-2)-① ②　対話の中で相手の述べることを要約できる。 Ⅱ-4-C-(1-2)-② ③　役割分担を確実に実践できる。Ⅱ-4-C-(1-2)-③	①　医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。Ⅱ-5-A-(1-2)-① ②　困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。Ⅱ-5-A-(1-2)-②	①　学生として適切な振る舞いで行動できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-① ②　学んだことを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-②
3、4 年ロードマップ	①　医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①	①　基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-① ②　医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-② ③　臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 Ⅱ-3-B-(3-4)-③	①　自分の選択・判断の根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-① ②　他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-②	①　討論・話し合いを促せる。Ⅱ-4-B-(3-4)-① ②　自分の方針を説明し同意を得ることができる。Ⅱ-4-B-(3-4)-② ③　活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 Ⅱ-4-B-(3-4)-③	①　グループ目標達成のために行動できる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-① ②　講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-②	①　学習する事例について医学の貢献を説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-① ②　問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-②	①　自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-① ②　相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-②
5、6 年ロードマップ	①　臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 Ⅱ-3-A-(5-6)-①	①　診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 Ⅱ-3-B-(5-6)-①	①　診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 Ⅱ-4-A-(5-6)-①	①　講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 Ⅱ-4-B-(5-6)-①	①　自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。Ⅱ-4-C-(5-6)-① ②　与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 Ⅱ-4-C-(5-6)-①	①　医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-① ②　患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-②	①　適切な振る舞いで診療に参加できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-① ②　他者の疑問を共に解決することができる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-② ③　医療の中で他者に教えることを実践できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-③

卒業時 ディプロマ・ポリシー	
DP5	生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。
DP4	安全な医療を行える能力を有する。
DP3	医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
DP2	自ら問題を発見し解決する能力を持つ
DP1	医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。

アウトカム	医の実践力						慈しむ心の姿勢				
	知識と技能を正しく使う力	問題を見つけ追及する力	問題解決に向け考え実行する力	根拠に基づいた判断を行う力	情報を伝える力	法と倫理に基づいて医療を行う力	患者を理解し支援する姿勢	ひとの人生へ貢献する姿勢	社会に奉仕する姿勢	先導と協働する姿勢	生涯を通じて研鑽する姿勢



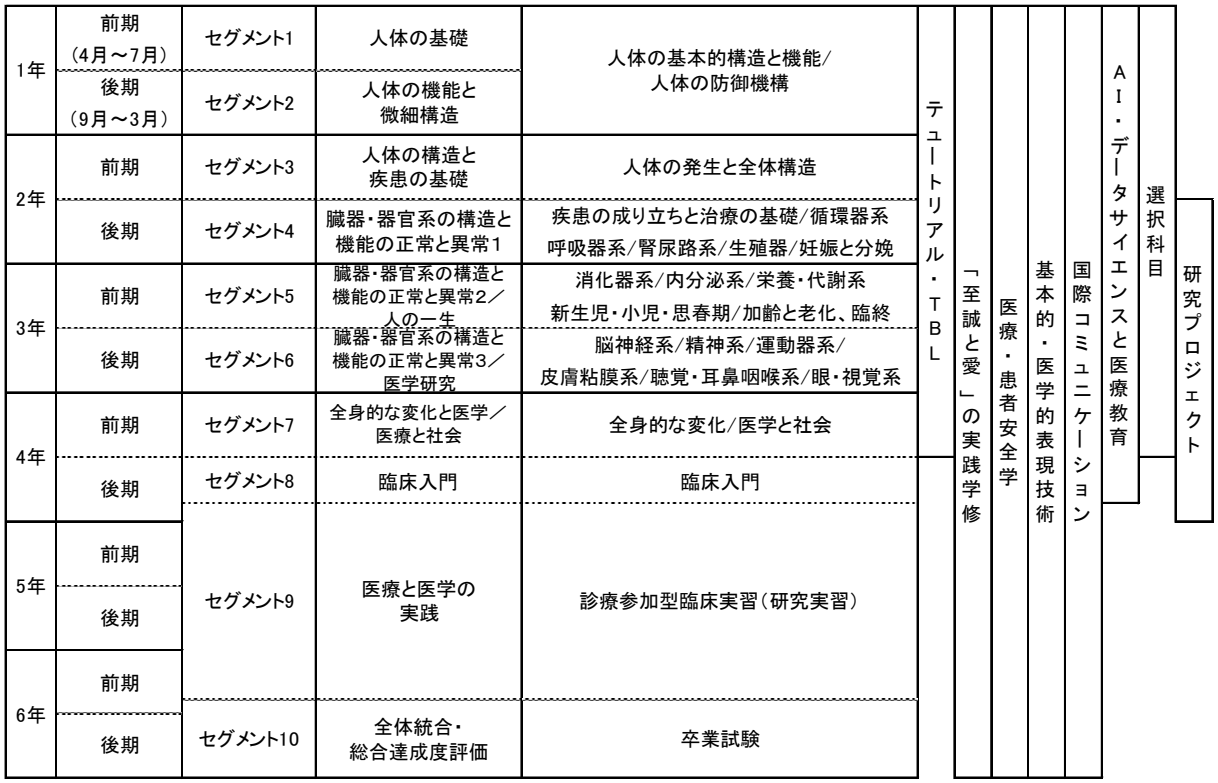
カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を 2 年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を 3 年後期までに学ぶ。4 年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わり、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして 4 年後期は、臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解を学び、4 年後半から医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。4 年後半から 6 年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6 年後期は、6 年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が 4 もしくは 6 年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

６年間のカリキュラム全体図



週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント 2

「人体の基礎」

令和 7 年 8 月 25 日~令和 7 年 2 月 25 日

Ⅰ　セグメント2 の学修内容

セグメント2 は「人体の機能と微細構造」を中心テーマとして学修する。セグメント1 が「人体の基礎」を中心テーマとした学修内容で、医学学修のための準備期間であるのに対して、セグメント2 は基礎医科学（モデル・コア・カリキュラムC 医学一般）を基幹科目とした統合的な医学学修の本格的な開始点となる。具体的には、組織の成り立ち、生体物質の代謝、細胞と情報伝達、生体システムと制御機構、遺伝と遺伝子、生体と微生物、生体防御・免疫、などの項目で構成される。ここでの知識や論理的理解力は、セグメント3 以降の基礎医科学、臨床医学、社会医学を学ぶ上で、重要な基盤となる（下図参照）。

現代の医学・生命科学において人体と疾患の理解には様々なアプローチがとられる。医学研究では、しばしば疾患について症状、病歴、様々な検査を通じて診断を行い、さらに発症メカニズムを理解し治療しようとする。しかし予備知識が少ない低学年でこれらの作業を行うのは容易ではない。そこで本学においては、まず生体を構成する分子や細胞の特性を理解することから始める。学生諸君は、セグメント2 における基礎医科学の講義、実習、Team Based Learning（TBL）の内容が、どのように疾患に関わるかを絶えず問いかけながら、学修を進めてほしい。セグメント2 の後半には、分子・細胞レベルから個体レベルへと生命現象の階層を変えて理解するトレーニングを行う。これらの知識と理解はセグメント3 以降のより複雑な全身を俯瞰する基礎医科学や臨床医学へと発展する。もちろんこれらの内容は第4学年で受験するComputer Based Testing（CBT）の範囲にも含まれる。

セグメント2 では、基礎医科学基幹科目と並行して、グローバルな社会で活躍する上で重要な内容を学年縦断型科目で学ぶ。これにより、将来、医師として患者さんや医療チームメンバーに対して適切なコミュニケーションができることを目指している。セグメント2の講義、実習、Team Based Learning（TBL）を通じておおいに学び、医学的知識、思考力、コミュニケーション能力をぜひ磨いていただきたい。

系統的に見た「人体の機能と微細構造」の学修テーマ

［基礎医科学］		［TBL］	［学年縦断型科目等］
生体の構造	生体の機能		医学用語
組織の成り立ち	生体物質の代謝		「至誠と愛」の実践学修
	細胞と情報伝達		国際コミュニケーション
	生体システムと制御機構		基本的・医学的表現技術
	遺伝と遺伝子		医療・患者安全学
	生体と微生物		健康管理
	生体防御・免疫		選択科目

↓

セグメント3　「人体の構造と疾患の基礎」
セグメント4　「臓器・器官系の構造と機能の正常と異常1」

Ⅱ　到　達　目　標

A. 包括的到達目標（セグメント2）

1. 各基幹科目および学年縦断型科目を統合的に学修することにより、次のような能力を獲得する。
   1）データを読み、解釈できる。
   2）人体の正常な構造と機能を説明できる。
   3）実習に必要な技術を安全に配慮して実践できる。
   4）現象から学ぶべきことを発見できる。
   5）問題解決のための情報を収集できる。
   6）仮説を導く事ができ、得られた結果との相違を明確にできる。
   7）問題解決結果の妥当性を評価できる。
   8）結論と根拠を明確にして報告書を作成できる。
   9）倫理の概念について説明できる。

2. 細胞集団としての組織・臓器の構造と機能の分化を理解する。顕微鏡像を通して、組織の構造の特徴を説明できる。
   1）組織を構成する細胞と細胞外物質
   2）上皮組織と腺の構造と機能
   3）支持組織の構造と機能
   4）筋組織の構造と機能
   5）神経組織の構造と機能

3. 生体物質の代謝過程、それらの反応を制御する分子機構について説明できる。
   1）酵素の機能と調節
   2）糖質の代謝
   3）脂質の代謝
   4）アミノ酸・タンパク質の代謝
   5）核酸の代謝
   6）代謝の統合と異常

4. 人体における刺激受容、情報伝達、反応に関して、分子・細胞レベルで説明できる。
   1）情報伝達の種類と機能
   2）受容体による情報伝達の機序
   3）細胞内シグナル伝達
   4）活動電位の発生機構と伝導
   5）シナプス伝達の機能

5. 体の臓器が個体全体の中で統合された働きをするための制御機構を列挙できる。特に、細胞・臓器間の制御に関わる構造と機能を説明できる。
   1）刺激に対する感覚受容
   2）反射弓
   3）骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能
   4）個体レベルでの生体機能の制御機構
   5）軸索輸送、軸索の変性と再生

6.遺伝について、遺伝子からタンパク質への流れにもとづいて生命現象を学び、遺伝子操作技術の原理と応用やヒトゲノム解析の情報の利用の仕方を理解できることを目標とする。

1）遺伝の仕組み
2）染色体と遺伝子の構造
3）DNA の複製と修復
4）遺伝子の発現（転写、翻訳、タンパク質の修飾と輸送）
5）原核細胞の遺伝子
6）遺伝子解析の手法（原理と応用）
7）遺伝子と疾患（診断、治療、倫理）
8）遺伝と情報

7.微生物の特徴について理解し、人体との相互作用について説明できる。

1） 微生物の種類、性状
2） 正常微生物叢と感染の成り立ち
3） 代表的な病原微生物の性状、病原因子
4） 感染症の国際的動向
5） 化学療法薬

8.異物を排除するために働く免疫システムの機構を説明できる。

1） 免疫担当細胞の種類と働き
2） 自然免疫と獲得免疫
3） 自己寛容
4） 粘膜免疫
5） 免疫異常に基づく疾患

B　科目別シラバス

科目名

組織の成り立ち

科目責任者(所属)

石津　綾子

到達目標

人体の構造を学ぶ解剖学はMicroanatomyとMacroanatomyとに二分され、Microanatomy（＝組織学）は人体のミクロレベルの構造を理解するための学問である。本科目は人体の様々な組織・器官の構造及び機能を細胞レベルで理解することを目的とする。顕微鏡下での正常組織構造の学習は、器官・組織・細胞の生理的機能の理解ともに、その破綻がもたらす病態を把握するのに必須であり、将来的に臨床医学を学習する上での基礎となる。講義・実習では、組織・細胞構造の基礎的学習を徹底するとともに、生体の構造・機能形成を裏打ちする分子生物学、細胞生物学、発生生物学の最新のトピックを紹介し、医学生物学研究の面白さを伝えたい。実習において、標本の顕微鏡下での組織・細胞観察とともに、正確に正常構造を認識し、自ら表現できることを目標とする。

具体的には、以下のような点を主な到達目標として学修する。
1)組織の研究法、観察方法を理解し、光学顕微鏡を正しく使用して組織観察ができる。
2)顕微鏡による組織観察を通し、正常構造物の同定し、その特徴を表現できる。
3)四大組織（上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織）の構造の特徴を機能と関連づけて理解し、各種器官の組織標本上で鑑別することができる。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

１）人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
２）実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
３）現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
４）自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
５）実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-②
６）真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
７）自分の考えの根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義・実習・TBL

評価方法
(1)総括的評価の対象

１）実習への出席と実習参加の態度（全ての実習への参加と提出物の期限厳守）

２）実習試問：標本の観察及び正常構造の名称同定と特徴の説明

３）期末の定期試験(筆記試験)：下記の評価項目（到達目標）について実習を通じて修得した学識

評価方法
(2)評価項目

１）細胞の観察法を説明できる。	PS-01-01-01

２）細胞の全体像を図示できる。	PS-01-01-02
３）上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。	PS-01-02-10
４）支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。	PS-01-02-11
５）血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。	PS-01-02-12
６）造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。	[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01
７）赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。	[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01
８）白血球の種類と機能を説明できる。	[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01
９）血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。	[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01
10）骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。	PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系
11）骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系
12）筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。	PS-01-02-14
13）神経組織の微細構造を説明できる。	PS-01-02-13

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について定期試験及び実習試問それぞれ100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）　A.良く理解している（80%以上90%未満）　B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）　D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。実習試問の評価においては、各実習への参加は必須である。最終的に実習試問、レポート、期末試験を加味した成績を算出する。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

＊実習は大実習室３で二班に分かれて実施する場合があるので、予め各自で自分のグループ、実習場所を確認しておくこと。
＊実習では、ご遺体からの標本や貴重な実験動物を使用するので、服装や身なりを整えるとともに、各御霊に対して失礼のないように感謝の気持ちを持って実習に臨むこと。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『推薦図書』			
2.	『ジュンケイラ組織学（第5版）』	Mescher, A.L.(坂井、川上監訳)	丸善 2018	
3.	『Histology：a text and atlas(5th ed.)』	Ross,M,H.他	Williams & Wilkins 2006	
4.	『機能を中心とした図説組織学(第5版)』	B. Young, J.W.Heath(山田英智 他 訳)	医学書院 2009	

5.	『人体組織図譜（原書 第11版)』	Di Fiore, M.S.H.(藤田恒夫 他 訳)	南江堂 2011	
6.	『参考図書』			
7.	『標準組織学　総論』	藤田尚男, 藤田恒夫原著	医学書院 2015	9784260015318
8.	『標準組織学　各論』	藤田尚男, 藤田恒夫原著	医学書院 2017	9784260024044
9.	『組織学』	伊藤隆著：阿部和厚改訂	南山堂 2005	9784525110192
10.	『最新カラー組織学』	L.P.ガートナー, J.L.ハイアット著	西村書店 2003	4524236767
11.	『組織細胞生物学』	Abraham L. Kierszenbaum著；内山安男監訳	南江堂 2006	4524236767
12.	『トートラ人体の構造と機能』	Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson [著]；桑木共之 [ほか] 編訳	丸善 2012	9784621085769
13.	『実習人体組織学図譜』	Ulrich Welsch [著]：藤田尚男, 石村和敬訳	医学書院 2005	4260100785
14.	『人体組織図譜』	Victor P. Eroschenko著：藤田恒夫訳	南江堂 2003	4524235175
15.	『ガートナー/ハイアット組織学カラーアトラス』	レスリー・P・ガートナー, ジェームズ・L・ハイアット著；松村譲兒 [ほか] 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2007	9784895924832

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/08/26 (火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	四大組織とその起源			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,11,12,13,14			

	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/08/26(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	上皮組織-1　定義			
	担当者（所属）	望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/08/26(火)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	上皮組織-1			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
4.	2025/08/26(火)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	上皮組織-1			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
5.	2025/08/26(火)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	上皮組織-1			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
6.	2025/08/28(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	上皮組織-2　分類と特徴			
	担当者（所属）	望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
7.	2025/08/28(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	上皮組織-3　機能と特殊構造			
	担当者（所属）	望月　牧子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
8.	2025/08/28(木)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	上皮組織-2			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
9.	2025/08/28(木)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	上皮組織-2			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
10.	2025/08/28(木)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	上皮組織-2			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
11.	2025/09/01(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	腺組織-1　定義と概要			
	担当者（所属）	矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
12.	2025/09/01(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	腺組織-2　基本構造			
	担当者（所属）	矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
13.	2025/09/01(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	腺組織-1			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
14.	2025/09/01(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	腺組織-1			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
15.	2025/09/01(月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	腺組織-1			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			

	講義資料番号/連番(LMS)				30
16.	2025/09/02(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	腺組織-3　分類（腺の形状と分泌物の性状）			
	担当者（所属）	矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
17.	2025/09/02(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	腺組織-4　分類（分泌様式）			
	担当者（所属）	矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,12,PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
18.	2025/09/02(火)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	腺組織-2			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,12,PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系			

	講義資料番号/連番(LMS)				31
19.	2025/09/02(火)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	腺組織-2			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,12,PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
20.	2025/09/02(火)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	腺組織-2			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,12,PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
21.	2025/09/04(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	結合組織-1　定義と概要			
	担当者（所属）	菊田　幸子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
22.	2025/09/04(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	結合組織-2　分類（細胞成分）			
	担当者（所属）	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
23.	2025/09/04(木)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	血液・リンパ-1			
	担当者（所属）	望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
24.	2025/09/04(木)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	血液・リンパ-2			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				12

25.	2025/09/08 (月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	結合組織-3　分類（細胞外成分）			
	担当者（所属）	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
26.	2025/09/08 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	方法論：染色法			
	担当者（所属）	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
27.	2025/09/08 (月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	結合組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12			
	講義資料番号/連番(LMS)				34

28.	2025/09/08 (月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	結合組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
29.	2025/09/08 (月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	結合組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
30.	2025/09/11 (木)	３時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	方法／染色法・血液観察法			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			

		横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
31.	2025/09/11(木)	４時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	方法／染色法・血液観察法			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
32.	2025/09/11(木)	５時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	方法／染色法・血液観察法			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				39

33.	2025/09/11 (木)	６時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	血液・リンパ組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12,[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
34.	2025/09/12 (金)	３時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	方法／染色法・血液観察法			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
35.	2025/09/12 (金)	４時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	方法／染色法・血液観察法			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			

		横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
36.	2025/09/12(金)	５時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	方法／染色法・血液観察法			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,02			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
37.	2025/09/12(金)	６時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	血液・リンパ組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,12,[別表]血液・造血器・リンパ系,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				44

38.	2025/09/18 (木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	軟骨組織			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
39.	2025/09/18 (木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	骨の成長			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
40.	2025/09/18 (木)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	軟骨組織/骨の発生・成長			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				45

41.	2025/09/18 (木)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	軟骨組織/骨の発生・成長			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
42.	2025/09/18 (木)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	軟骨組織/骨の発生・成長			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
43.	2025/09/22 (月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	骨組織			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			

	講義資料番号/連番(LMS)				17
44.	2025/09/22(月)	２時限	実習	大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	骨組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
45.	2025/09/22(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	骨組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
46.	2025/09/22(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	骨組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄			

		石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
47.	2025/09/22(月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	骨組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-11,PS-02-05-01,[別表]運動器（筋骨格）系			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
48.	2025/09/29(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	筋組織-1			
	担当者（所属）	望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-14,PS-02-06-01,[別表]循環器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
49.	2025/09/29(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	筋組織-2			

	担当者（所属）	望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-14,PS-02-06-01,[別表]循環器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
50.	2025/09/29(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	筋組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-14,PS-02-06-01,[別表]循環器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
51.	2025/09/29(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	筋組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-14,PS-02-06-01,[別表]循環器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				53

52.	2025/09/29 (月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	筋組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-14,PS-02-06-01,[別表]循環器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
53.	2025/10/06 (月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	神経組織-1			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-13,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
54.	2025/10/06 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	神経組織-2			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-13,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				21

55.	2025/10/06 (月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	神経組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-13,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2025/10/06 (月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	神経組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-13,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2025/10/06 (月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	神経組織			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			

		横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-13,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2025/10/09(木)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	実習まとめ			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-16,PS-01-02-22,PS-02-08-01,[別表]消化器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2025/10/09(木)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	実習まとめ			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-16,PS-01-02-22,PS-02-08-01,[別表]消化器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				59

60.	2025/10/09 (木)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	実習まとめ			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-16,PS-01-02-22,PS-02-08-01,[別表]消化器系			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2025/10/21 (火)	３時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	実習試問			
	担当者（所属）	菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2025/10/21 (火)	４時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	実習試問			
	担当者（所属）	菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基				

	準				
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2025/10/21(火)	５時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	実習試問			
	担当者（所属）	菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2026/01/23(金)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2026/01/23(金)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				65
66.	2026/02/19(木)	１時限	追・再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追・再試験(10：00-11：30)/202・203講義室			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				66
67.	2026/02/19(木)	２時限	追・再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追・再試験(10：00-11：30)/202・203講義室			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				67

〔組織の成り立ち―組織、器官系〕

科目責任者:石津　綾子(解剖学(顕微解剖学・形態形成学))

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 組織の構造と機能	1. 組織の研究法	
	a. 観察法	1) 光学顕微鏡
		2) 電子顕微鏡(透過型・走査型)
		3) 共焦点レーザー走査顕微鏡(螢光顕微鏡)
	b. 標本作製法	1) 固定法
		2) 包埋・薄切法
		3) 染色法
		Hematoxylin-eosin染色、azan染色、鍍銀法(銀染色)、過ヨウ素酸Schiff(PAS)染色、elastica Van Gieson 染色、orcein 染色、Klüver-Barrera 染色、Wright-Giemsa染色生体染色、超生体染色組織化学的方法(蛍光及び酵素抗体法、酵素活性検出法)
	c. 機能的研究法	1) 同位元素を用いた追跡法
		2) In situ ハイブリダイゼーション
		3) 細胞小器官の分離分画法
		4) 細胞培養法
	2. 組織の概念:四大組織	
	3. 上皮組織	1) 上皮組織の特徴(定義)
		2) 上皮組織の配列・形態による分類
		a)単層(扁平・立方・円柱)上皮
		b)偽重層上皮(多列上皮)、移行上皮
		c)重層(扁平・立方・円柱)上皮
		3) 上皮組織の機能による分類
		a)保護(被蓋)上皮
		b)吸収上皮
		c)線毛上皮
		d)腺(分泌)上皮
		e)感覚上皮
		f)呼吸上皮
		g)色素上皮
		4) 上皮の自由面・基底面の構造分化
		5) 細胞の連結・接着
	a. 腺組織	1) 腺組織の発生、小葉構造
		2) 腺組織の導管の有無による分類
		a)外分泌腺
		b)内分泌腺
		3) 外分泌腺の構造
		a)終末部(腺房・腺胞・腺管)
		b)導管部(小葉内導管〔介在部、線条部〕・小葉間導管)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		4） 外分泌腺の形態による分類 a）管状腺 b）房状腺 c）胞状腺 d）管状房状腺 e）管状胞状腺 5） 外分泌腺の分泌物による分類 a）粘液腺 b）漿液腺 c）漿粘液腺（混合腺） 6） 分泌様式による分類 a）全分泌腺 b）部分分泌腺（漏出分泌・離出分泌） c）透出分泌腺 7） 内分泌腺の特徴 a）ホルモンの定義 b）内分泌腺の形態学的特徴 c）分泌調節機構 d）主な内分泌腺と分泌様式
	4. 支持組織：間葉系 a. 結合組織	間葉細胞（幹細胞） 1） 結合組織細胞 a）線維芽細胞 b）細網細胞 c）血管内皮細胞、周皮細胞 d）脂肪細胞 e）大食細胞（マクロファージ） f）肥満細胞（組織好塩基球） g）リンパ球、形質細胞 h）白血球（好中球、好酸球、好塩基球） i）色素細胞 2） 細胞間質 a）結合組織線維（膠原線維・細網線維・弾性線維） b）無定形質（基質） c）組織液 3） 結合組織の分類と特徴 a）疎線維性結合組織 b）密線維性結合組織 c）弾性（結合）組織 d）細網（結合）組織 e）（白色・褐色）脂肪組織 f）膠様組織（胎児性結合組織） g）色素組織

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	b．血液とリンパ	1） 赤血球 2） 白血球 a）顆粒（白血）球（好中球・好酸球・好塩基球） b）無顆粒（白血）球（リンパ球・単球） 3） 血小板 4） 血漿・リンパ漿／血清 5） 血液・リンパのろ過・貯留組織 a）脾臓 b）リンパ節 6） 造血 a）骨髄、巨核球 b）血液幹細胞 c）造血微小環境（ストローマ細胞）
	c．軟骨組織	1） 軟骨細胞 2） 軟骨基質 a）細胞領域基質 b）領域間基質 c）軟骨小腔 3） 軟骨組織の分類 a）硝子軟骨 b）弾性軟骨 c）線維軟骨 4） 軟骨の成長（付加成長、間質成長）
	d．骨組織	1） 骨細胞 2） 骨基質、オステオン（骨単位） a）骨層板・骨小腔・骨細管 b）介在層板 c）中心管（ハバース管）・貫通管（フォルクマン管） 3） 骨組織の発生（骨形成）と再構築 a）膜内骨化 b）軟骨内骨化 c）骨芽細胞 d）破骨細胞
	5．筋組織	1） 平滑筋細胞（筋細糸・暗調野・ギャップ結合） 2） 横紋筋細胞 a）骨格筋細胞（筋細線維・筋細糸・筋節・筋小胞体・横細管・筋収縮・筋紡錘・運動終板） b）心筋細胞（筋小胞体・横細管・筋収縮・介在板）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	6. 神経組織	1） ニューロン（神経細胞） a）神経細胞体 b）軸索丘 c）軸索突起 d）樹状突起 e）神経終末 f）神経細胞間シプナス 2） 神経細胞の形態による分類 a）多極神経細胞 b）双極神経細胞 c）偽単極神経細胞 d）単極神経細胞 3） 支持細胞 a）中枢性膠細胞：神経膠（グリア）細胞（上衣細胞、星状膠細胞、稀突起膠胞、小膠細胞） b）末梢性膠細胞（衛星細胞、シュワン細胞） 4） 有髄・無髄神経線維 5） 髄鞘形成、ランビエ絞輪
Ⅱ. 器官（臓器）の基本構造	1. 充実性（実質性）器官	1） 被膜、葉間結合組織、小葉 2） 門 3） 皮質 4） 髄質
	2. 管状（中空性）器官	1） 内膜 2） 中膜 3） 外膜 a）漿膜、中皮細胞 b）外膜

科目名
生体物質の代謝
科目責任者(所属)
中村　史雄

到達目標
人体の生命活動の維持に必要な物質は、体外から栄養素として取り入れられ、体内でより小さな分子に分解（異化）される。これら小分子を材料として新たな分子や高エネルギー物質が生合成（同化）され、ヒトの体を構成し、生命活動を維持する。この異化と同化の過程を“代謝”と呼ぶ。さまざまな代謝の過程は化学反応の連続であり、各ステップに特異的な酵素が反応を制御している。 生体物質の代謝の講義では、まず代謝酵素による化学反応の制御機構について学修する。次に生体を構成する主要成分である糖質、脂質、アミノ酸・タンパク質、ヌクレオチド・核酸について、その合成・分解などの代謝過程を学ぶ。さらに食後、飢餓状態、あるいは糖尿病などの疾患における代謝を統合的に学ぶ。 実習では、グループ別に酵素を精製し、アイソザイムの分析および酵素反応速度論的解析を行ない、酵素の作用を学ぶ。生体を構成している物質が体内で代謝される過程およびそれらの反応を制御している機構について説明できることを目標とする。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-（1-2）-①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-（1-2）-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-（1-2）-②
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-（1-2）-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-（1-2）-②
仮説を導くことができる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-①
複数の問題解決法を考えることができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-②
実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-②

学修（教育）方法
講義・実習・TBL

評価方法 (1)総括的評価の対象
定期試験（筆記試験）の点数を90%、実習レポート評価を10%で評価する。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。実習については全ての時限の参加及びレポート提出が必要である。講義出席の確認は各講義終了時の講義アンケートと講義復習テストへの回答で行う。

評価方法 (2)評価項目	
酵素の機能と調節について理解している。	PS-01-02-27
ヘム・ポルフィリンの代謝について概要を理解している。	PS-01-02-31
糖質の構造、代謝と調節（解糖、クエン酸回路、電子伝達系と酸化的リン酸化、グリコーゲン代謝、糖新生、五炭糖リン酸回路）、生理的意義について理解している。	PS-01-02-28

タンパク質の構造、代謝と調節、生理的意義、主要なアミノ酸の代謝、尿素回路を理解している。	PS-01-02-29
脂質の構造、代謝と調節、生理的意義、脂質の輸送（リポタンパク質）を理解している。	PS-01-02-30
ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路について理解している。	PS-01-02-32
栄養素の相互変換とエネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）について理解している。	PS-01-02-35
空腹時、飢餓時、食後、過食時と運動時における代謝について理解している。	PS-01-02-36
糖代謝異常の病態について理解している。	PS-01-04-07
核酸・ヌクレオチド代謝異常の病態について理解している。	PS-01-04-10
内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している。	PS-02-14-01
内分泌・栄養・代謝系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。	PS-02-14-05
	[別表]内分泌・栄養・代謝系

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって実習（レポートを含む）やTBLの際に随時行う。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『レーニンジャーの新生化学　上下』	レーニンジャー, ネルソン, コックス[著]；中山和久編集	廣川書店 2019	9784567244084 9784567244091
2.	『イラストレイテッド生化学（リッピンコットシリーズ）』	Alabi,EE	丸善 2023	9784621308523
3.	『ストライヤー生化学』	Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer著	東京化学同人 2018	9784807909292
4.	『ヴォート生化学　上下』	Donald Voet, Judith G.Voet著；田宮信雄 [ほか] 訳	東京化学同人 2012～2013	9784807908073 9784807908080
5.	『イラストレイテッドハーパー生化学』	ハーパー [原著]；Victor W. Rodwell [ほか著]；五十嵐和彦 [ほか訳].	丸善 2024	9784621310236
6.	『デブリン生化学』	Thomas M. Devlin, editor；上代淑人, 澁谷正史, 井原康夫監訳	丸善出版 2012	9784621085615

7.	『カラー生化学』	マシューズ [ほか] 著；相内敏弘 [ほか] 訳	西村書店 2015	9784890134502
8.	『Essential 細胞生物学　原書第５版』	中村桂子、松原謙一　監訳	南江堂 2021	9784524226825
9.	『The Cell 細胞の分子生物学 第６版』	中村桂子、松原謙一　監訳	Newton Press 2017	9784315520620
10.	『シンプル生化学』	野口正人, 五十嵐和彦編集	南江堂 2020	9784524246595
11.	『糖尿病の治療マニュアル第6版』	東京女子医科大学糖尿病センター編	医歯薬出版 2012	9784263235676
12.	『糖尿病治療ｶﾞｲﾄﾞ2024』	日本糖尿病学会 編・著	文光堂 2024	9784830614019
13.	『糖尿病診療ガイドライン2024』	日本糖尿病学会 編・著	南江堂 2024	9784524204250

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/08/25 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科目の概要・生体における代謝と調節			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/08/27 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	代謝の方向を決めるもの			

	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-35			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/08/27(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	代謝の速度を決めるもの			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-35			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/09/03(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	酵素とその作用			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-29			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/09/03(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	酵素反応速度論			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-29			

	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/09/05(金)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	解糖Ⅰ			
	担当者（所属）	千村　崇彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/09/05(金)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	解糖Ⅱ			
	担当者（所属）	千村　崇彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/09/05(金)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	クエン酸回路			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28、PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/09/10(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40

	タイトル	酸化的リン酸化I			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28、PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/09/10(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	酸化的リン酸化Ⅱ			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28、PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/09/11(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	糖新生			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28、PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/09/11(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	グリコーゲンの代謝			
	担当者（所属）	越野　一朗			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28、PS-01-02-36、PS-01-04-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/09/12(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ペントースリン酸回路			
	担当者（所属）	千村　崇彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28、PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/09/16(火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	脂肪酸の代謝Ⅰ			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/09/16(火)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	脂肪酸の代謝Ⅱ			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				15

16.	2025/09/17 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	リン脂質の代謝			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/09/17 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	コレステロールの代謝			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/09/19 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ヌクレオチドの代謝Ⅰ			
	担当者（所属）	千村　崇彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-32,PS-01-04-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/09/19 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	ヌクレオチドの代謝Ⅱ			

	担当者（所属）	千村　崇彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-32,PS-01-04-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/09/24(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	アミノ酸代謝Ⅰ			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2025/09/24(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	アミノ酸代謝Ⅱ			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2025/09/25(木)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	アミノ酸代謝Ⅲ			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29, PS-01-02-31			

	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2025/09/25(木)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	糖尿病			
	担当者（所属）	中神　朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/09/30(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	代謝の統合・異常			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-35,PS-01-02-36, PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/09/30(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	総括			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-35,PS-01-02-36, PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/12/15(月)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	09:00-10:10

	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/12/15(月)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/12/15(月)	３時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄			

		瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/12/15(月)	４時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/12/15(月)	５時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			

	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2025/12/16(火)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2025/12/16(火)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2025/12/16(火)	３時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40

	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
3 4.	2025/12/16 (火)	４時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
3 5.	2025/12/16 (火)	５時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄			

		瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/12/17(水)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2025/12/17(水)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			

	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/12/17(水)	３時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/12/17(水)	４時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2025/12/17(水)	５時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25

	タイトル	ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
4 1.	2025/12/18 (木)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	ラット臓器における乳酸脱水素酵素（ＬＤ）の発現解析、ＰＣＲ法、活性染色法			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
4 2.	2025/12/18 (木)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	ラット臓器における乳酸脱水素酵素（ＬＤ）の発現解析、ＰＣＲ法、活性染色法			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			

		千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2025/12/18(木)	３時限	実習	大実習室１ 大実習室３	12:30-13:40
	タイトル	ラット臓器における乳酸脱水素酵素（ＬＤ）の発現解析、ＰＣＲ法、活性染色法			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2025/12/18(木)	４時限	実習	大実習室１ 大実習室３	13:55-15:05
	タイトル	ラット臓器における乳酸脱水素酵素（ＬＤ）の発現解析、ＰＣＲ法、活性染色法			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				44

45.	2025/12/18 (木)	５時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ラット臓器における乳酸脱水素酵素（ＬＤ）の発現解析、ＰＣＲ法、活性染色法			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2025/12/19 (金)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	生体物質の代謝・実習まとめ、発表報告会			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2025/12/19 (金)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	生体物質の代謝・実習まとめ、発表報告会			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人			

		中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2025/12/19(金)	３時限	実習	講義室 301 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	生体物質の代謝・実習まとめ、発表報告会			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2025/12/19(金)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	生体物質の代謝・実習まとめ、発表報告会			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2025/12/19(金)	５時限	実習	講義室 301 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	生体物質の代謝・実習まとめ、発表報告会			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,LL-01-01-02,RE-03-03-01,PS-01-02-27,PS-01-02-28,PS-01-02-36,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2026/01/27(火)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202・203講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2026/01/27(火)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202・203講義室			

	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2026/02/19(木)	３時限	追・再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追・再試験(13：00-14：30)/202/203講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2026/02/19(木)	４時限	追・再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追・再試験(13：00-14：30)/202/203講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54

〔生体物質の代謝〕

科目責任者:中村　史雄(生化学)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．代謝の基本概念	1．代謝とエネルギー	1）細胞 2）生体物質の合成と分解 3）エネルギーの産生・貯蔵・消費
	2．生体分子	1）タンパク質、糖質、脂質、核酸、ビタミン、無機質、水
	3．酵素反応	1）酵素反応のしくみとその特徴 2）酵素反応の速度論的解析
Ⅱ．個々の物質の代謝	1．糖質の代謝	1）嫌気的解糖 a)グルコースの分解 b)乳酸生成 c)基質レベルのATP合成 2）好気的解糖 a)クエン酸回路 b)NADH、$FADH_2$ c)電子伝達系 d)酸化的リン酸化 e)F_0F_1ATPase 3）グリコーゲン代謝 a)生合成 b)分解 4）糖新生 a)グルコースの生合成 b)コリ回路 5）ペントース代謝 a)ペントースリン酸回路 b)NADPH
	2．脂質の代謝	1）脂肪酸の代謝 a)分解(β酸化) b)生合成 c)異化(アラキドン酸カスケード) 2）トリアシルグリセロール代謝 a)生合成 b)分解 3）コレステロールの代謝 a)生合成 b)異化(ステロイドホルモン、胆汁酸、ビタミンD) 4）リン脂質の代謝 a)生合成 b)分解 c)異化(イノシトール代謝)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	３．アミノ酸の分解	1）　アミノ酸の分解 a)生体内のアンモニア b)アミノ基転移反応 c)尿素回路 d)脱アミノした骨格（有機酸）の代謝 2）　非必須アミノ酸の合成 3）　アミノ酸、有機酸の代謝異常症 4）　ポルフィリン(porphyrin)の合成、分解 5）　クレアチン(creatine)の合成、分解 6）　神経伝達物質（アミン類）の合成 ※　タンパク質の生合成や代謝は「遺伝と遺伝子」で学修
	4．核酸の代謝	1）　ヌクレオチドの代謝 a)プリン新規合成（ne novo） b)ピリミジン合成 c)プリン体のサルベージ回路（再利用） 2）デオキシヌクレオチドへの変換 3）ヌクレオチドの分解 a)プリン分解　（尿酸形成） b)ピリミジン分解 4）痛風（尿酸結晶による関節炎） ※　DNA，RNAの合成や代謝は「遺伝と遺伝子」で学修
Ⅲ．代謝の調節	1．細胞レベル	a）酵素による調節
	2．臓器レベル	a）ホルモンによる調節 b）神経系による調節
	3．個体レベル	a）食後 b）食間 c）飢餓 d）糖尿病

科目名
細胞と情報伝達
科目責任者(所属)
宮田　麻理子

到達目標
生体は受容した内部および外部環境の変化を生体独自の信号に変換して、細胞内あるいは他の細胞へと信号を伝えて生体機能を調節する。生体信号として代表的なものとしては、ホルモン等の生体活性物質による化学的（体液性）信号と、神経・筋などで使われるイオンの移動と膜電位の変化を介する電気信号が挙げられる。この科目の第一の到達目標は、細胞間の情報伝達の種類とその時に使われる伝達物質を分類し、説明できることである。第二に、信号を伝えるための基本的な分子の作用を列挙し、説明できることである。第三に、活動電位やシナプス電位などの電気信号に関わる受容体やイオンチャネルの動作原理を理解し、説明できることである。本科目の学修によって、個体全体として生体を理解する科目「生体システムと制御機構」へと理解が深まり易くなることも重要である。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-（1-2）-①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-（1-2）-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-（1-2）-②
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-（1-2）-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-（1-2）-②

学修（教育）方法
講義・実習・TBL

評価方法 (1)総括的評価の対象
期末科目試験の点数と講義内に行う小テストの成績（平常点）で科目の評価点とする。小テストは最終成績の10%とし、期末試験の成績を90%として、合計100%として評価する。ただし、期末科目試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が必要であり、全ての実習への参加とレポートの提出するものとする（実習等を疾病等やもえない理由で欠席の場合は、別途対応とする）。その他の期末科目受験資格要件については、学生便覧に記載されている規程等に従う。

評価方法 (2)評価項目	
１）膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。	PS-01-02-02
２）情報伝達の種類と機能を説明できる。	PS-01-02-04
３）受容体による情報伝達の機序を説明できる。	PS-01-02-05
４）細胞内シグナル伝達過程を説明できる。	PS-01-02-05
５）活動電位の発生機構と伝導を説明できる。	PS-01-02-03 PS-01-02-01
６）シナプス(神経筋接合部を含む)の形態とシナプス伝達の機能(興奮性、抑制性)と可塑性を説明できる。	PS-01-02-03
７）液性因子による細胞間情報伝達（自己分泌、傍分泌、内分泌）を説明できる	PS-01-02-06

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって実習（レポートを含む）やTBLの際に随時行うので、学修のヒントにしていただきたい。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『細胞の分子生物学』	Bruce Alberts [ほか] 著；青山聖子 [ほか] 翻訳	ニュートンプレス 2017	9784315520620
2.	『細胞内シグナル伝達（Bio Science新用語ライブラリー）』	山本雅編	羊土社 1999	9784897062624
3.	『標準生理学』	河合康明 [ほか] 編集	医学書院 2019	9784260034296
4.	『人体機能生理学』	杉晴夫編著	南江堂 2009	9784524253647
5.	『新生理学』	小幡邦彦 [ほか] 著	文光堂 2003	483060221X
6.	『Berne and Levy principles of physiology』	Matthew N. Levy, Bruce M. Koeppen, Bruce A. Stanton	Elsevier Mosby 2006	0323031951
7.	『生理学』	バーン, レヴィ [編]	西村書店 1996	4890132465
8.	『カラー基本生理学』	バーン, レヴィ編；有田順 [ほか] 訳	西村書店 2003	4890133062
9.	『Ganong's review of medical physiology』	Kim E. Barrett, William F. Ganong [et al.]	McGraw-Hill Education 2019	9781260122404
10.	『ギャノング生理学』	William F. Ganong [著]；稲田仁 [ほか] 訳	丸善出版 2022	9784621307083
11.	『レーニンジャーの新生化学　上』	レーニンジャー, ネルソン, コックス [著]；中山和久編集	廣川書店 2019	9784567244084,9784567244077
12.	『レーニンジャーの新生化学　下』	レーニンジャー, ネルソン, コックス [著]；中山和久編集	廣川書店 2019	9784567244091,9784567244077
13.	『イラストレイテッドハーパー・生化学』	ハーパー [原著]；Victor W. Rodwell [ほか著]；五十嵐和彦 [ほか訳]	丸善出版 2024	9784621310236

14.	『医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学』	大塚吉兵衛, 安孫子宜光共著	日本医事新報社 2008	9784784930623
15.	『ストライヤー生化学』	Jeremy M. Berg [ほか] 著	東京化学同人 2018	9784807909292
16.	『エリオット生化学・分子生物学』	William H. Elliott, Daphne C. Elliott [ほか著] ; 村上誠, 原俊太郎, 中村元直訳	東京化学同人 2016	9784807908608
17.	『Textbook of endocrine physiology』	Willaim J. Kovacs, Sergio R. Ojeda	Oxford University Press 2012	9780199744121
18.	『Molecular Biology of the Cell』	Bruce Alberts [et al.]	W.W. Norton and Company 2022	9780393884852
19.	『Robbins and Cotran pathologic basis of disease』	Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Nelson Fausto	Elsevier Saunders 2005	0721601871
20.	『Lewin's genes XI』	Benjamin Lewin	Jones & Bartlett Learning 2014	9781449659059
21.	『図説分子病態学』	一瀬白帝, 鈴木宏治編著	中外医学社 2014	9784498008489
22.	『医学のための基礎分子細胞生物学』	平賀紘一 [ほか] 編	南山堂 2003	4525130032
23.	『医科分子生物学』	村松正實, 谷口維紹編集	南江堂 1997	452420914X
24.	『ライフサイエンス物理学』	Morton M.Sternheim,Joseph W.Kane [著] ; 石井千穎監訳	廣川書店 1991	4567750012
25.	『電気・磁気と光（物理科学のコンセプト;4）』	Paul G. Hewitt, John Suchocki, Leslie A. Hewitt著 ; 本田建訳	共立出版 1997	9784320033559
26.	『光と電磁気（プロジェクト物理 4）』	渡邊正雄, 笠耐監修	コロナ社 1982	4339065137
27.	『電磁気学　上　（医系の物理 3a）』	ベネデイック, ビラース共著 ; 松原武生訳	吉岡書店 1981	4842702001
28.	『電磁気学　下　（医系の物理 3b）』	ベネデイック, ビラース共著 ; 松原武生訳	吉岡書店 1981	484270201X
29.	『生理学アトラス』	S.Silbernagl, A.Despopoulos [著] ; 福原武彦, 入來正躬訳	文光堂 1992	4830602104
30.	『アトラスで学ぶ生理学』	高田明和編	丸善 1996	4621042343
31.	『カラー図解よくわかる生理学の基礎』	Agamemnon Despopoulos, Stefan Silbernagl [著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2017	9784895928939
32.	『生物のスーパーセンサー(シリーズ・ニューバイオフィジックス 6）』	津田基之担当編集	共立出版 1997	4320054695

33.	『ニューロトランスミッター・トゥディ(神経精神薬理；第19巻増刊号(通巻205号))』	神経精神薬理誌編集委員会	星和書店 1997	
34.	『カルシウムイオンとシグナル伝達（蛋白質核酸酵素；1998年9月号増刊 vol.43,no.12 通巻582号）』	御子柴克彦 [ほか] 編	共立出版 1998	9784320055506
35.	『イラストで徹底理解するシグナル伝達キーワード事典』	山本雅, 仙波憲太郎, 山梨裕司編集	羊土社 2012	9784758120333
36.	『シグナル伝達：生命システムの情報ネットワーク』	Bastien D. Gomperts, IJsbr and M. Kramer, Peter E.R. Tatham著	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2011	9784895926928
37.	『シグナル伝達がわかる（わかる実験医学シリーズ：基本＆トピックス;3）』	秋山徹編集	羊土社 2001	4897069874
38.	『細胞膜・核内リセプターと脂溶性シグナル分子：分子機構から疾患とのかかわりまで(実験医学, 増刊 vol.18；no.2 (2000))』	加藤茂明, 清水孝雄編集	羊土社 2000	9784897060750
39.	『サイトカイン・増殖因子(実験医学；別冊．Bio Science用語ライブラリー)』	宮園浩平, 菅村和夫編	羊土社 1998	9784897062617
40.	『分子から見た脳』	川合述史著	講談社 1994	406153534X
41.	『精神活動の流れを遡る：機能・構造・物質』	早石修, 伊藤正男編	メディカル・ジャーナル 1995	9784944012169
42.	『細胞内シグナル伝達がわかる（イラスト医学＆サイエンスシリーズ）』	山本雅, 秋山徹編集	羊土社 2000	4897065739

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/09/25 (木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	科目の概要、教科書の紹介			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/09/25(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞間情報伝達			
	担当者（所属）	河村　寿子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/10/01(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	細胞膜受容体を介する情報伝達の種類			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/10/01(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	Gタンパク質を介する情報伝達			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

5.	2025/10/02 (木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	チロシンリン酸化を介する受容体と情報伝達			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/10/03 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	膜から核への情報伝達			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/10/07 (火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	経膜シグナルの生理作用			
	担当者（所属）	河村　寿子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-02-03-01,PS-02-14-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/10/08 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	イオンチャネル Ⅰ			

	担当者（所属）	河村　寿子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/10/08(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	イオンチャネル II			
	担当者（所属）	河村　寿子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/10/09(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	カルシウムと二次メッセンジャー			
	担当者（所属）	河村　寿子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-01,PS-01-02-02,PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/10/14(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	興奮性細胞と細胞膜の電気的性質			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/10/16(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	細胞周期の制御と異常 I			
	担当者（所属）	橋本　浩次			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-33,PS-01-03-10,PS-01-03-11,PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-01-04-21,PS-01-04-22,PS-01-04-23,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/10/16(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞周期の制御と異常 II			
	担当者（所属）	橋本　浩次			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-33,PS-01-03-10,PS-01-03-11,PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-01-04-21,PS-01-04-22,PS-01-04-23,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/10/16(木)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	容積導体			
	担当者（所属）	辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/10/16(木)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05

	タイトル	活動電位 Ⅰ			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/10/16(木)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	活動電位Ⅱ			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/10/20(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	神経伝達物質 Ⅰ			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-03,PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/10/20(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	神経伝達物質 II			
	担当者（所属）	末廣　勇司			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-05,PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/10/20(月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	シナプス伝達Ⅰ			
	担当者（所属）	植田　禎史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/10/20(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	シナプス伝達 II			
	担当者（所属）	植田　禎史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2025/10/20(月)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	細胞と疾患（疾患の発生に関わる細胞内情報伝達の異常）			
	担当者（所属）	橋本　浩次			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				21

22.	2025/10/27 (月)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2025/10/27 (月)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/10/27(月)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				24

25.	2025/10/30 (木)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/10/30 (木)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/10/30(木)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27

28.	2025/11/06 (木)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/11/06 (木)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/11/06(木)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				30

31.	2025/11/10 (月)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2025/11/10 (月)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
3 3.	2025/11/10 (月)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				33

34.	2025/11/13 (木)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2025/11/13 (木)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/11/13(木)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				36

37.	2025/11/17 (月)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/11/17 (月)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/11/17(月)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				39

40.	2026/01/30(金)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2026/01/30(金)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2026/02/20(金)	１時限	追･再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2026/02/20(金)	２時限	追･再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/202･203講義室			

	担当者（所属）	宮田　麻理子	
	コアカリキュラム/S10国試出題基準		
	講義資料番号/連番(LMS)		43

〔細胞と情報伝達〕

科目責任者:宮田麻理子(生理学(神経生理学分野))

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 生体の信号	1. 神経性信号	1) 受容器電位 2) 活動電位 3) シナプス電位
	2. 体液性信号	1) ホルモン 2) 成長因子、増殖因子 3) 神経伝達物質 4) 種々の生体活性物質
Ⅱ. 受容体と信号伝達	1. 受容体	1) 受容体の種類と構造 2) リガンドと受容体の結合 3) 脱感作、ダウンレギュレーション
	2. 経膜的信号伝達	1) 伝達器:GTP結合蛋白質(G蛋白質) 低分子量G蛋白質 2) 効果器(エフェクター酵素) a)アデニル酸シクラーゼ b)グアニル酸シクラーゼ c)ホスホリパーゼA2(PLA2) d)ホスホリパーゼC(PLC) e)ホスホリパーゼD(PLD)
	3. 細胞内情報伝達	1) 二次伝達物質(セカンドメッセンジャー) a)サイクリックAMP(cAMP) b)サイクリックGMP(cGMP) c)アラキドン酸 d)イノシトール3リン酸(IP_3)と ジアシルグリセロール e)Ca^{2+} 2) 蛋白質リン酸化酵素(プロテインキナーゼ) a)A キナーゼ(PKA) b)カルモデュリンキナーゼ(CaMK) c)C キナーゼ(PKC) d)チロシンキナーゼ 受容体型、非受容体型 3) 蛋白質脱リン酸化酵素(プロテインホスファターゼ) 4) 蛋白質分解酵素 a)カルパイン

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	4. カルシウムイオン と細胞機能	1） Ca^{2+}流入とCa^{2+}遊離 2） IP_3レセプター／Ca^{2+}チャネル リアノジンレセプター／Ca^{2+}チャネル 3） Ca^{2+}結合蛋白 4） 筋収縮、細胞運動性 5） 開口分泌 6） 細胞増殖、受精
Ⅲ. 細胞増殖因子・受容体と情報伝達	1. 増殖因子とその受容体	1） EGF/TGF－α、PDGF/FGF、 VEGF/TGF－βその他の増殖因子 2） サイトカイン 3） キナーゼ活性を有する受容体 4） キナーゼ活性のない受容体 5） G蛋白関連受容体
	2. 情報伝達機構	1） MAP キナーゼ経路 2） PI3 キナーゼ経路 3） IP3 経路 4） cAMP 経路5）JAK/STAT 経路
	3. 転写調節因子	1） 脂溶性ホルモン（ステロイドホルモン等）受容体 2） myc 3） jun/fos など
	4. 細胞周期の制御	1） サイクリンおよびサイクリン依存性キナーゼ 2） ユビキチン・プロテアゾーム系 3） チェックポイント機構（Rb, p53）
	5. 増殖抑制	1） TGF－β/SMAD 2）サイクリン依存性キナーゼインヒビター 3）Rb
Ⅳ. 神経伝達物質の受容体と信号伝達	1. 神経伝達物質	1） コリン系―アセチルコリン 2） アミノ酸系―グルタミン酸、GABA、グリシン 3） アミン系―ドーパミン、アドレナリン、ノルアドレナリン、セロトニン 4） ペプチド系―P物質、エンケファリン等
	2. 神経伝達物質受容体	1） アゴニストとアンタゴニスト 2） 受容体のタイプ
	3. 受容体とイオンチャネルの関連	1） チャネル内蔵型受容体 2） 代謝型受容体 a）G蛋白によって調節されるイオンチャネル b）セカンドメッセンジャーによって調節されるイオンチャネル
Ⅴ. 電気信号の基礎	1. 電場と電位	1） クーロン力、電場、電気力線、電位、等電位線 2） ガウスの法則、電気二重層
	2. 電気回路	1） キルヒホッフの法則 2） コンデンサーの充放電、時定数 3） 細胞膜の等価回路 4） 分極、脱分極、過分極 5） 局所電流と脱分極

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅵ. 電気的興奮性の機構	1. 電位記録法	1） 細胞外記録、細胞内記録、容積導体（心電図、脳波など）
	2. 静止電位	1） 細胞内外のイオン分布、平衡電位 Nernst の式 Goldman－Hodgkin－Katz の式 2） イオン透過性
	3. 活動電位	1） 活動電位の特性 all－or－none の法則、閾値、オーバーシュート、不応期 2） Na 説 3） 膜電位固定法 4） 種々の細胞における活動電位
	4. 膜電位依存性イオンチャネル	1） Naチャネル、Caチャネル、Kチャネル、イオン選択性、膜電位特性、選択的ブロッカー、ゲート 2） パッチクランプ法 3） イオンチャネルの分布
Ⅶ. 興奮伝導とシナプス伝達機構	1. 興奮の伝導	1） 局所電流 2） 跳躍伝導 3） 伝導速度 4） 神経幹の活動電位 5） 興奮伝導遮断薬、局所麻酔薬
	2. シナプス伝達	
	a. シナプスの形態	1） シナプス前神経終末、シナプス小胞 2） シナプス間隙 3） シナプス後神経細胞
	b. 神経伝達物質の放出	1） 細胞内Ca^{2+} 2） 開口分泌 3） 素量説
	c. シナプス電位	1） 受容体とイオンチャネル 2） 興奮性シナプス後電位（EPSP） 3） 抑制性シナプス後電位（IPSP） 4） シナプス前抑制 5） 加重、促通
	d. 基本的神経回路・回路網	1） 発散、収束 2） 相反性回路、側方抑制回路、反回抑制回路
	e. 神経筋接合部の興奮伝達	1） アセチルコリン 2） 終板電位（EPP） 3） 神経筋接合部作用薬、筋弛緩薬 4） 抗コリンエステラーゼ

科目名
生体システムと制御機構
科目責任者(所属)
宮田　麻理子

到達目標
生体の最小単位である細胞が集合し、一連の機能を果たすために器官を形成し、さらに、それぞれ機能の異なる器官が集まり人体を構成する。このような生体のシステムとしての働きと制御機能を学ぶことが、人体を理解するうえで大切である。「生体システムと制御機構」では、「細胞と情報伝達」を基盤に、人体で個々の機能がシステムとしてどのように統合制御されているか学ぶ。さらに、生体の調節機構として重要である神経系について、上級セグメントで学ぶ神経系の基礎的な知識を獲得出来るように配慮されている。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ－1－A－（1－2）－①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ－1－C－（1－2）－①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ－1－C－（1－2）－②
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ－4－B－（1－2）－②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ－2－D－（1－2）－②

学修（教育）方法
講義・実習・TBL

評価方法 (1)総括的評価の対象
期末科目試験の点数と講義内に行う小テストの成績（平常点）で科目の評価点とする。小テストは最終成績の10%とし、期末試験の成績を90%として、合計100%として評価する。ただし、期末科目試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が必要であり、全ての実習への参加とレポートの提出するものとする（実習等を疾病等やもえない理由で欠席の場合は、別途対応とする）。その他の期末科目受験資格要件については、学生便覧に記載されている規程等に従う。

評価方法 (2)評価項目	
１)受容体による情報伝達の機序を説明できる。	PS-01-02-05
２)シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。	PS-01-02-03
３)刺激に対する感覚受容の種類と機序を説明できる。	PS-01-02-17
４)反射を説明できる	PS-01-02-18,PS-02-05-01,PS-02-03-01

５)運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。	PS-01-02-36,PS-02-05-01
６)中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。	PS-02-03-01,PS-02-03-02
７)脊髄反射（伸張反射、屈筋反射）と筋の相反神経支配を説明できる。	PS-02-03-01,
８)脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。	PS-02-03-01,[別表]神経系
９)痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。	PS-02-03-01,[別表]神経系
１０)交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。	PS-02-03-01,[別表]神経系
１１)神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導検査）で得られる情報を説明できる。	PS-02-03-03,[別表]神経系
１２)心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。	PS-02-06-01,[別表]循環器系
１３)興奮収縮連関を概説できる。	PS-02-06-01,[別表]循環器系
１４）ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。	PS-02-14-01,[別PS-02-14-01表]内分泌・栄養・代謝系
１５）各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	[別表]内分泌・栄養・代謝系

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価は実習、TBL、小テスト等で知識、技能、態度の全般にわたって行うものであり、その後の個々の学修や医学生としての適切な行動・節度を促すために行うものである。ただし講義中に小テストを行った場合は、その提出をもって出席とみなす。
TBLにおいてはポータルに表記された事項について十分に予習すること。
教科書はおもに下記の１～３の教科書を講義で用いている。講義資料とともに教科書を読んで学習をすすめることが肝要である。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準生理学』	本間研一 [ほか] 編集	医学書院 2014	9784260017817

2.	『生理学テキスト』	大地陸男著	文光堂 2013	9784830602269
3.	『カラー図解　人体の正常構造と機能 改訂第3版　全１０巻縮刷版』	坂井建雄, 河原克雅総編集	日本医事新報社 2017	9784784931804
4.	『脳・神経科学入門講座　改訂版（前編）』	渡辺雅彦編・著	羊土社 2008	9784758107297
5.	『最新内分泌代謝学』	中尾一和編集	診断と治療社 2013	9784787819376
6.	『標準薬理学』	飯野正光，鈴木秀典編集	医学書院 2015	9784260017503
7.	『人体機能生理学』	杉晴夫編著；宮崎俊一 [ほか] 共著	南江堂 2009	9784524253647
8.	『新生理学』	小幡邦彦[ほか]著	文光堂 2003	483060221X
9.	『カラー基本生理学』	バーン, レヴィ編；有田順 [ほか] 訳	西村書店 2003	4890133062
10.	『標準組織学　総論』	藤田尚男, 藤田恒夫原著	医学書院 2015	9784260015318
11.	『新訂・生理学実習書』	日本生理学会教育委員会　監修	南江堂 2013	9784524262588
12.	『カラー版　ボロン　ブールペープ　生理学』	W.F.ボロン, E.L.ブールペープ編；青木史暁 [ほか] 訳	西村書店 2011	9784890134137
13.	『Williams Textbook of Endocrinology 14TH EDITION』	Shlomo Melmed, Richard J. Aucus, Allison B. Goldfine, Ronald J. Koenig, Clifford J. Rosen	Elsevier 2020	9780323555968
14.	『Principles of Physiology』	Matthew N. Levy, Bruce A. Stanton, Bruce M. Koeppen	Elsevier Mosby 2006	0323031951
15.	『Molecular Biology of the Cell, Chapter 13&17』	Bruce Alberts	Garland Science 2014	9780815344643
16.	『Ganong's Review of Medical Physiology』	Kim E. Barrett	McGraw-Hill 2015	9781260122404
17.	『Textbook of Medical Physiology』	John E. Hall	Saunders 2015	9781455770052
18.	『筋電図・誘発電位マニュアル』	藤原哲司著	金芳堂 2004	4765311457
19.	『神経病理を学ぶ人のために』	平野朝雄著 冨安斉著	医学書院 2003	4260103601

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/10/02 (木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	科目の概要			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03,PS-01-02-17,PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/10/07 (火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	刺激受容機構I			
	担当者（所属）	加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03,PS-01-02-17,PS-01-02-04,PS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/10/09 (木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	刺激受容機構II			
	担当者（所属）	加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-01-02-03,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(LMS)				3

4.	2025/10/10 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	生体システム基礎解剖 (I)			
	担当者（所属）	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01, PS-02-05-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/10/10 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	生体システム基礎解剖 (II)			
	担当者（所属）	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-18,PS-02-03-01,PS-02-15-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/10/14 (火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	生体信号の記録方法(生体の電気信号)			
	担当者（所属）	児玉　貴史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/10/15 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	筋収縮機構I			

	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-36,PS-01-02-14			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/10/15(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	筋収縮機構II　（平滑筋含む）			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-36,PS-01-02-14			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/10/17(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	実習の説明			
	担当者（所属）	出嶋　克史 植田　禎史 河村　寿子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04,PS-01-02-03,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/10/17(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	運動の基本単位			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	PS-02-03-01,PS-01-02-03,PS-01-02-09,PS-01-02-17,PS-01-02-18			

	準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/10/20(月)	６時限	講義	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	内分泌系による調節機構(総論)			
	担当者（所属）	大月　道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-14-01,PS-02-14-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/10/21(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	脊髄反射機構			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-01-02-03,PS-01-02-09,PS-01-02-17,PS-01-02-18,PS-02-14-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/10/21(火)	６時限	講義	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	内分泌系による調節機構			
	担当者（所属）	大月　道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				13

14.	2025/10/22 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	心筋の興奮と収縮			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-14,PS-01-02-04,PS-01-02-05,PS-01-02-36,PS-02-06-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/10/22 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	心筋の興奮と心電図			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-06-01,PS-02-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/10/27 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	痛覚の受容と調節機構			
	担当者（所属）	児玉　貴史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/10/27 (月)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40

	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
18.	2025/10/27(月)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				24
19.	2025/10/27(月)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
20.	2025/10/28(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	自律神経系による調節機構I			
	担当者（所属）	丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
21.	2025/10/28(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35

	タイトル	自律神経系による調節機構II			
	担当者（所属）	丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
22.	2025/10/29(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	中枢神経系の制御と統合機能			
	担当者（所属）	加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
23.	2025/10/29(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	中枢神経および循環器系の役割			
	担当者（所属）	倉田　厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
24.	2025/10/30(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	性差の科学			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03,PS-01-02-17,PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
25.	2025/10/30(木)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
26.	2025/10/30(木)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史			

		伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
27.	2025/10/30(木)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
28.	2025/10/31(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	生体システムのまとめ			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03,PS-01-02-17,PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
29.	2025/11/06(木)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/11/06(木)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史			

		伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2025/11/06(木)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2025/11/10(月)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
3 3.	2025/11/10 (月)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				33

34.	2025/11/10 (月)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2025/11/13 (木)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/11/13(木)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				36

37.	2025/11/13 (木)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/11/17 (月)	３時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	12:30-13:40
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			

	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/11/17(月)	４時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	13:55-15:05
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				39

40.	2025/11/17 (月)	５時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 アカデミックコモンズ	15:15-16:25
	タイトル	誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御			
	担当者（所属）	山口　俊夫 中村　佐和子 宮田　麻理子 辻野　賢治 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 河村　寿子 大野　奈緒子 丸山　拓真 児玉　貴史 加世堂　竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-03, PS-01-02-04, PS-01-02-17, PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2026/02/03 (火)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2026/02/03 (火)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			

	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2026/02/20(金)	３時限	追・再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追・再試験(13：00-14：30)/202/203講義室			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2026/02/20(金)	４時限	追・再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追・再試験(13：00-14：30)/202/203講義室			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				44

〔生体システムと制御機構〕

科目責任者:宮田　麻理子(生理学(神経生理学分野))

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 生体システムとしての解剖	1. 組織、器官、臓器、生体	1)生体臓器の機能的相互関係
	2. 神経系	1)脳神経、体性神経、自律神経
		2)神経の機能と解剖の統合、感覚系(上行路)、運動系(下行路)
		3)中枢神経と末梢神経
Ⅱ. 生体の信号	1. 体液性信号	1)ホルモン
		2)成長因子、増殖因子
		3)神経伝達物質
		4)種々の生体活性物質
	2. 神経性信号	1)受容器電位
		2)活動電位
		3)シナプス電位
	3. 電気生理学的生体信号記録法	1)細胞外記録法・細胞内記録法・容積導体記録(心電図・脳波・誘発電位)
Ⅲ. 刺激の受容機構	1. 刺激の種類	1)機械的刺激
		2)温度、光、音
		3)化学物質、薬物
		4)侵害刺激
		5)適刺激(適当刺激)
	2. 生体反応の種類	1)随意運動
		2)分泌反応
		3)化学反応(代謝)
		4)細胞反応
	3. 刺激による調節機構	1)中枢神経系
		2)自律神経系
		3)内分泌系
		4)免疫系
	4. 感覚受容器と受容器電位	1)感覚受容器
		2)信号変換
		3)光刺激、音刺激、機械刺激、温度刺激、侵害刺激、化学物質による刺激から活動電位へ変換
		4)刺激情報の符号化
		5)受容野
		6)感覚の順応
		7)側抑制
		8)受容器細胞
		9)受容器電位の発生と特徴

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		10）体性感覚受容器皮膚及び深部の機械的刺激受容器、温度受容器、侵害刺激受容器 11）その他の特殊感覚受容器視細胞、聴細胞、味細胞、嗅細胞、平衡感覚受容細胞
Ⅳ．骨格筋、心筋、平滑筋	1．骨格筋の興奮と収縮	
	a. 筋細胞の形態と機能、収縮蛋白質	1）筋原線維 2）アクチンフィラメント、ミオシンフィラメント、トロポニン、トロポミオシンサルコメア
	b. 筋収縮の物理的性質	1）等張性収縮、等尺性収縮 2）単収縮、強縮、拘縮
	c. 筋収縮機序	1）滑走説 2）ATPの化学エネルギーから機械的エネルギーへの転換 3）Ca^{2+}による制御 4）ATPの補給 5）熱産生
	d. 興奮収縮連関	1）横行小管系、ジヒドロピリジン受容体 2）筋小胞体、リアノジン受容体 3）Ca^{2+}遊離と再取り込み 4）カフェイン拘縮
	2．心筋の興奮と収縮	
	a. 心筋の形態	1）固有（作業）心筋 2）特殊心筋 3）興奮伝導系 4）心臓神経（交感神経、迷走神経） 5）ギャップ結合、合胞体
	b. 心筋細胞の電気的活動・興奮伝導性	1）静止電位 2）アドレナリンとアセチルコリンの作用 3）心筋の活動電位、プラトー 4）心筋のイオン電流、イオンチャネル 5）ペースメーカー電位と心筋の自動性 6）ペースメーカー電位に対する心臓神経の作用 7）心電図の成因
	c. 心筋の力学的性質	1）長さ―張力関係 2）張力―速度関係 3）収縮力の調節とCa^{2+} 動態 4）Ca^{2+} チャネル、リアノジン受容体、Ca^{2+}流入とCa^{2+} 遊離、Ca^{2+} によるCa^{2+} 遊離
	3. 平滑筋の興奮と収縮	
	a. 平滑筋の構造	1）　平滑筋の分布と機能 2）内臓平滑筋 3）多元平滑筋 4）ギャップ結合、合胞体
	b. 平滑筋の神経支配・神経筋伝達	1）自律性 2）神経支配（交感神経、副交感神経） 3）興奮と抑制、ノルアドレナリンとアセチルコリンの作用

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	c. 平滑筋の興奮	1)種々の活動電位 2)ペースメーカー電位 3)スローウェーブ 4)伸展による脱分極
	d. 興奮収縮連関	1)筋小胞体とCa^{2+} 遊離、リアノジン受容体、IP3 受容体 2)Ca^{2+} チャネルとCa^{2+} 流入 3)カルモジュリン依存性ミオシン軽鎖キナーゼ
	e. 平滑筋の収縮	1)興奮の伝導速度と収縮時間 2)アクチンフィラメント、ミオシンフィラメント 3)単収縮、加重、強縮
	f. 骨格筋、心筋との比較	
Ⅴ. 反射機構	1. 脊髄反射機構	1)反射弓、反射中枢 2)筋紡錘とゴルジ腱器官、Ⅰa 神経線維、Ⅰb 神経線維 3)連関伸張反射、屈曲反射 4)拮抗抑制、反回抑制、Ⅰb 抑制シナプス前抑制 5)α及びγ運動神経、α－γ連関 6)誘発筋電図、M波とH波
Ⅵ. 体性神経系による制御機構	1. 感覚情報の経路	1)触感覚、深部感覚(固有感覚)、痛覚伝導路、温冷覚痛覚 2)感覚伝導路 3)視床中継核 4)大脳皮質体性感覚野、体部位の再現
	2. 運動機構	1)随意運動 2)運動の下行路、内側下行性経路、外側下行性経路 3)大脳皮質機能局在 4)大脳皮質運動野 5)運動制御回路
	3. 痛覚	1)侵害刺激 2)アロデニア 3)痛覚伝導路 4)ポリモーダル受容路 5)デルマトーム 6)下降性鎮痛経路 7)Brown-sequard syndrome

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅶ. 自律神経系による調節	1. 自律神経系の解剖学的分類と機能的分類	1）自律神経系中枢 2）自律神経系と体性神経系の相違点 3）交感神経系と副交感神経系 4）自律神経系の伝達物質と受容体 5）交感神経節の後電位とその機能 6）自律機能の反射性調節 7）関連痛
	2. 自律神経作用薬と生体反応	1）節前線維、節後線維、自律神経節 2）交感神経作用薬・遮断薬とその作用 a）α受容体作用薬・遮断薬 b）β受容体作用薬・遮断薬 c）アドレナリン作用性神経遮断薬 3）副交感神経作用薬・遮断薬とその作用 a）ムスカリン様受容体作用薬・遮断薬 4）交感神経節作用薬・遮断薬とその作用
Ⅷ. 神経細胞の細胞骨格・軸索輸送・軸索再生	1. 細胞骨格	1）アクチンフィラメント・中間径フィラメント・微小管・ミオシン
	2. 軸索輸送	1）順行性軸索輸送　逆行性軸索輸送
	3. 神経の変性・髄鞘の変性	1）順行性変性（ワーラー変性） 2）逆行性変性（間接的ワーラー変性） 3）シュワン細胞 4）脱髄
	4. 軸索再生	1）神経成長因子（NGF） 2）側枝発芽（軸索発芽）
Ⅸ. 内分泌系による調節とホルモンの情報伝達	1. 内分泌系の機能	1）内部環境の恒常性維持 2）エネルギー代謝 3）発育と成長 4）性の分化と生殖
	2. 内分泌の定義	1）内分泌の定義・ホルモンの定義
	3. ホルモンの分類	1）化学構造による分類 a）ペプチドホルモン b）糖蛋白ホルモン c）アミノ酸誘導体ホルモン d）ステロイドホルモン
	4. ホルモンの合成	1）アミノ酸誘導体ホルモンの合成 2）ペプチドホルモンの合成（POMC） 3）ステロイドホルモンの合成
	5. ホルモン受容体	1）細胞膜受容体 2）細胞内受容体（細胞質受容体・核内受容体）
	6. ホルモンの調節	1）恒常的分泌の制御 a）生体リズムと分泌（拍動性分泌・日内分泌） b）負のフィードバック c）正のフィードバック 2）ホルモン感受性の調節（ダウンレグレーション・アップレグレーション）

	7. ホルモン受容体と細胞内情報伝達機構 8. 内分泌系臓器	1）細胞膜受容体の細胞内情報伝達機構（G蛋白、チロシンキナーゼ） 1）内分泌臓器総論 a）視床下部・下垂体 b）甲状腺 c）副腎 d）性腺 e）膵、消化管 f）その他 2）各種ホルモン a）視床下部ホルモン b）下垂体前葉ホルモン c）下垂体後葉ホルモン d）副腎皮質由来のホルモン e）性ホルモン f）インスリン
X. 中枢神経細胞連関	1. ニューロンとグリアの相互作用	1）アストロサイトの役割 2）オリゴデンドロサイトの役割 3）ミクログリアの役割 4）血液脳関門の機能解剖 5）シナプスとグリオトランスミッター

科目名

遺伝と遺伝子

科目責任者(所属)

赤川　浩之

到達目標

ヒトが単一細胞の受精卵からおよそ６０兆個の細胞で構成される成体に至るまでのダイナミックな個体発生を行うにあたり、多数の遺伝子の発現がゲノム情報として使われる。また、環境変化への適応や、生体の恒常性維持においても、遺伝子の発現を使った調節が重要な意義を持っている。ゲノム上の遺伝情報は親から子へ受け継がれる。ヒトをはじめとした多細胞生物で、ゲノム情報がどのように使われるかを理解することで、正常の生命機能や疾患の際の病態を理解することが可能となる。遺伝子は実験的手法によりその役割が明らかにされてきたため、本科目では基本的な遺伝子の働きを解説する。また、ヒトのゲノムの多様性と疾患との関連を理解することは医療の実践力に必須になりつつあり、遺伝情報の扱い方や倫理的な問題点を含めて基本的な考え方を解説する。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-②
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
個人情報保護について説明できる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-①
倫理の概念について説明することができる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
医学研究の重要性について概説できる。	Ⅱ-3-B-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義・実習

評価方法
(1)総括的評価の対象

定期試験（筆記試験）の点数を科目の評価点とする。ただし、すべての実習への参加とレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

得られたエビデンスの批判的吟味ができる。	GE-01-04-04
患者の個別性や状況を考慮してエビデンスの適用について考えることができる。	GE-01-04-06
ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。	RE-01-02-02
自身の関心を問いにすることができる。	RE-03-01-01
基礎医学の実習から基本的な実験手技を体得する。	RE-03-03-01
社会医学（行動科学を含む）の実習から基本的な研究方法論を体得する。	RE-03-03-02
研究室配属等で医学研究の基本的な研究手法を修得する。	RE-03-03-03
人を対象とした研究（治験、特定臨床研究を含む）に関するルールの概要を理解し、遵守する。	RE-05-02-01
核とリボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系、ミトコンドリア、葉緑体、細胞骨格の種類とその構造と機能について概要を理解している。	PS-01-01-03

メンデルの法則、ミトコンドリア遺伝、エピゲノム修飾(インプリンティングを含む)及び多因子遺伝について理解している。	PS-01-01-06
遺伝型と表現型の関係について理解している。	PS-01-01-07
染色体の構造を理解し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動について理解している。	PS-01-01-08
DNAの複製と修復、DNAからRNAへの転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）について理解している。	PS-01-01-09
染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術について概要を理解している。	PS-01-01-10
ゲノム編集技術とその応用について概要を理解している。	PS-01-01-11
アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹について概要を理解している。	PS-01-01-14
糖質の構造、代謝と調節（解糖、クエン酸回路、電子伝達系と酸化的リン酸化、グリコーゲン代謝、糖新生、五炭糖リン酸回路）、生理的意義について理解している。	PS-01-02-28
タンパク質の構造、代謝と調節、生理的意義、主要なアミノ酸の代謝、尿素回路を理解している。	PS-01-02-29
ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路について理解している。	PS-01-02-32
酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）について概要を理解している。	PS-01-02-33
主なRNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。	PS-01-03-11
補体及び自然免疫細胞が病原体により活性化し、炎症を引き起こす仕組みについて理解している。	PS-01-03-19
免疫グロブリンとT細胞抗原レセプターの構造と反応様式、免疫グロブリンとT細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構について理解している。	PS-01-03-21
ヘルパーT細胞（Th1 cell、Th2 cell、Th17 cell）、細胞傷害性T細胞、制御性T細胞それぞれが担当する生体防御反応について理解している。	PS-01-03-22
B細胞の活性化による抗体産生の機構及び抗体の役割を理解している。	PS-01-03-23
自然免疫系を構成する主な細胞とそれらの活性化機構（TLR等）を理解している。	PS-01-03-24
抗原提示細胞の種類と役割、抗原提示機構について理解している。	PS-01-03-25
ゲノムの多様性に基づく個体の多様性について理解している。	PS-01-04-01
単一遺伝子疾患、染色体異常による疾患、ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、遺伝様式を含め理解している。	PS-01-04-02
多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係について理解している。	PS-01-04-03
薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係について概要を理解している。	PS-01-04-04
がんの原因や遺伝子変化について概要を理解している。	PS-01-04-20
集団遺伝学の基礎としてハーディ・ワインベルグの法則について概要を理解している。	PS-03-01-01
家系図を作成し、評価できる。	PS-03-01-02
生殖細胞系列変異と体細胞変異の違い、遺伝学的検査の目的と意義について理解している。	PS-03-01-03
遺伝情報の特性（不変性、予見性、共有性、あいまい性）について理解している。	PS-03-01-04
遺伝カウンセリングの意義と方法について理解している。	PS-03-01-05
遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮について理解している。	PS-03-01-06
遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。	PS-03-01-07
遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする未発症者を含む患者・家族への適切な対処法について概要を理解している。	PS-03-01-08
腫瘍性疾患発症の遺伝的素因・基礎疾患・感染症・環境生活習慣等のリスク因子、腫瘍の予防・検診について理解している。	PS-03-04-03
放射線治療の生物学的原理と、放射線の遺伝子・細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響について概要を理解している。	PS-03-06-08
主要な臨床・画像検査(表6)の目的と適応を理解し、解釈できる。	CS-02-03-07
分子標的薬・バイオ医薬の薬理作用と有害事象の概要を理解している。	CS-02-04-13

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について筆記試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）　A.良く理解している　（80%以上90%未満）　B.平均的に理解している（70%以上、80%未満）　C.最低限は理解している

（60%以上70%未満）　D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

本科目は、最近の臨床医学的な知識と基礎医学的な知識の両方が必要とされる。学修の際には、両者の繋がりに注意して参考図書を選ぶこと。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『遺伝学：遺伝子から見た生物』	桂勲編	培風館 2017	9784563078225
2.	『新遺伝医学やさしい系統講義19講』	櫻井晃洋, 古庄知己編集	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2019	9784815701666
3.	『遺伝医学への招待』	太田亨, 吉浦孝一郎, 三宅紀子著	南江堂 2020	9784524249312
4.	『オンリーワン・ゲノム』	鎌谷直之著	星の環会 2009	9784892944819
5.	『細胞の分子生物学』	Bruce Alberts [ほか] 著；青山聖子 [ほか] 翻訳	ニュートンプレス 2017	9784315520620
6.	『ゲノム医科学がわかる （わかる実験医学シリーズ）』	菅野純夫編集	羊土社 2001	4897069890
7.	『ヒトゲノムとあなた：遺伝子を読み解く(Beyond the century）』	柳澤桂子著	集英社 2001	4087812170
8.	『生命の暗号を解読せよ：ヒトの設計図 （驚異の小宇宙・人体 遺伝子 3.DNA 1）』	NHK「人体」プロジェクト著	日本放送出版協会 1999	414080422X
9.	『つきとめよ、ガン発生の謎：病気の設計図 （驚異の小宇宙・人体 遺伝子 3.DNA 2）』	NHK「人体」プロジェクト著	日本放送出版協会 1999	4140804238
10.	『日本人のルーツを探れ：人類の設計図 （驚異の小宇宙・人体 遺伝子 3.DNA 3）』	NHK「人体」プロジェクト著	日本放送出版協会 1999	4140804246
11.	『命を刻む時計の秘密：老化と死の設計図	NHK「人体」プロジェクト著	日本放送出版協会	4140804254

	（驚異の小宇宙・人体 遺伝子 3.DNA 4）』		1999	
12.	『秘められたパワーを発揮せよ：精神の設計図 （驚異の小宇宙・人体 遺伝子 3.DNA 5）』	NHK「人体」プロジェクト著	日本放送出版協会 1999	4140804262
13.	『パンドラの箱は開かれた：未来人の設計図 （驚異の小宇宙・人体 遺伝子 3.DNA 6）』	NHK「人体」プロジェクト著	日本放送出版協会 1999	4140804270
14.	『ヒトゲノム：解読から応用・人間理解へ（岩波新書)』	榊佳之著	岩波書店 2001	4004307287
15.	『トンプソン&トンプソン遺伝医学』	ロバート L. ナスバウム, ロデリック R. マキネス, ハンチントン F. ウィラード著；福嶋義光監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2017	9784895928755
16.	『ゲノム：生命情報システムとしての理解』	T. A. Brown [著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2018	9784815701321
17.	『分子細胞生物学』	H. Lodish [ほか] 著；石浦章一 [ほか] 訳	東京化学同人 2019	9784807909766
18.	『遺伝子』	Benjamin Lewin [著]；菊池韶彦 [ほか] 訳	東京化学同人 2006	4807906305
19.	『ヴォート生化学　上』	Donald Voet, Judith G.Voet著；田宮信雄 [ほか] 訳	東京化学同人 2012	9784807908073
20.	『ヴォート生化学　下』	Donald Voet, Judith G.Voet著；田宮信雄 [ほか] 訳	東京化学同人 2013	9784807908080
21.	『ストライヤー生化学』	Jeremy M. Berg [ほか] 著	東京化学同人 2018	9784807909292
22.	『レーニンジャーの新生化学　上』	レーニンジャー, ネルソン, コックス [著]	廣川書店 2019	9784567244084
23.	『レーニンジャーの新生化学　下』	レーニンジャー, ネルソン, コックス [著]	廣川書店 2019	9784567244091
24.	『イラストレイテッドハーパー生化学』	ハーパー [原著]	丸善出版 2016	9784621300978
25.	『Molecular cloning：a laboratory manual vol.1～3』	Michael R. Green, Joseph Sambrook	Cold Spring Harbor 2012	9781936113422
26.	『ヒトの分子遺伝学』	Tom Strachan, Andrew P. Read [著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2021	9784815730321

27.	『ヒトの分子生物学』	Richard J.Epstein [著]	丸善 2006	4621077686
28.	『遺伝子発現：ジーンセレクターから生命現象へ』	堀越正美編著	中外医学社 2001	4498008405
29.	『ゲノムからの情報発現：転写因子とその機能（Springer reviews）』	半田宏 [ほか] 共編	ｼｭﾌﾟﾘﾝｶﾞｰ・ﾌｪｱﾗｰｸ東京 2000	4431709037
30.	『癌のシグナル伝達がわかる』	山本雅, 仙波憲太郎編集	羊土社 2005	489706967X
31.	『タンパク質科学イラストレイテッド』	竹縄忠臣編集	羊土社 2005	4897064929
32.	『RNAi実験なるほどQ&A』	程久美子, 北條浩彦編集	羊土社 2006	4758108072
33.	『遺伝子導入なるほどQ&A』	落谷孝広編集	羊土社 2005	4897064813
34.	『PCR実験なるほどQ&A』	谷口武利編集	羊土社 2011	9784758120241
35.	『もっと知りたい!PCR実験』	養王田正文編	羊土社 2010	9784061538771
36.	『よくわかる遺伝子工学：ベーシックな技術から臨床応用まで(新臨床医のための分子医学シリーズ)』	村松正實編	羊土社 2000	4897065518
37.	『ゲノムから個体へ：生命システムの理解に向けて(ポストシークエンスのゲノム科学；4)』	榊佳之, 小原雄治編集	中山書店 2001	4521610617
38.	『ワトソン組換えDNAの分子生物学：遺伝子とゲノム』	James D. Watson [ほか] 著	丸善 2009	9784621080436
39.	『新遺伝子工学ハンドブック』	村松正實, 山本雅, 岡崎康司編集	羊土社 2010	9784758101776
40.	『分離精製（新生化学実験講座 2 核酸 1）』	日本生化学会編	東京化学同人 1991	4807910612
41.	『構造と性質（新生化学実験講座 2 核酸 2）』	日本生化学会編	東京化学同人 1991	4807910639
42.	『組換えDNA技術（新生化学実験講座 2 核酸3）』	日本生化学会編	東京化学同人 1992	4807910736

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/10/31 (金)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	科目の概要			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-08,PS-01-01-09,PS-01-01-10,PS-01-04-01,PS-01-04-02,PS-01-04-03,PS-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/10/31 (金)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	遺伝の法則Ⅰ			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-08,PS-01-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/10/31 (金)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	遺伝の法則II			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-08,PS-01-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/11/04 (火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	集団の遺伝			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-14,PS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/11/04(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	染色体、ゲノム、遺伝子の構造			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-08,PS-01-01-10,PS-01-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/11/05(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	DNAの合成と複製			
	担当者（所属）	田中　正太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09,PS-01-02-28,PS-01-02-32			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/11/06(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	遺伝と環境、変異原、ストレスと適応			
	担当者（所属）	末廣　勇司			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-33,PS-01-03-11,PS-03-01-03,PS-03-06-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/11/06(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	DNAの修復			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09,PS-01-04-02,PS-01-04-03,PS-01-04-20			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/11/12(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	DNAの転写			
	担当者（所属）	出嶋　克史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-05,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/11/12(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	転写と転写因子			
	担当者（所属）	出嶋　克史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-05,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				10

11.	2025/11/14(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	エピゲノムによる遺伝子発現調節			
	担当者（所属）	吉田　慶太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-01-08,PS-01-01-09,PS-01-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/11/17(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	スプライシング			
	担当者（所属）	田中　正太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/11/19(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	翻訳と蛋白質の合成			
	担当者（所属）	田中　正太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/11/19(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	蛋白質の修飾・輸送・分解			

	担当者（所属）	田中　正太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/11/20(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	多因子遺伝			
	担当者（所属）	岩﨑　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-04-03,GE-01-04-06,PS-03-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/11/26(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	遺伝子組み換え実験			
	担当者（所属）	田中　正太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-02-02,RE-05-02-01,RE-03-03-03,RE-03-03-02,RE-03-03-01,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/11/26(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	ゲノムの個人差			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,PS-01-04-01,PS-01-04-02,PS-01-04-03,PS-01-04-04,GE-01-04-06,PS-03-04-03			

	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/11/27(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	分子細胞生物学実験			
	担当者（所属）	田中　正太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-02-02,RE-05-02-01,RE-03-03-03,RE-03-03-02,RE-03-03-01,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/12/01(月)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	遺伝子治療と核酸医薬			
	担当者（所属）	松尾　真理			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-01-03,PS-03-01-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/12/04(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ミトコンドリアと細胞質遺伝			
	担当者（所属）	岩﨑　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2025/12/08(月)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	体細胞変異と生殖系列変異			
	担当者（所属）	東　剣虹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2025/12/08(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	非コードRNA			
	担当者（所属）	大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03, PS-01-01-07, PS-01-01-08, PS-01-01-09, , PS-01-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2025/12/09(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	遺伝子の情報解析			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-08,PS-01-01-10,PS-03-01-02,PS-03-01-03,PS-03-01-07,PS-03-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/12/09(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	遺伝子構造解析・多型解析			
	担当者（所属）	赤川　浩之			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-04,PS-01-01-08,PS-01-01-09,PS-01-01-10,PS-03-01-01,PS-03-01-07,PS-03-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/12/11(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	癌遺伝子と癌抑制遺伝子			
	担当者（所属）	本田　浩章			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-04-20,GE-01-04-06,PS-03-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/12/11(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	個体を用いた遺伝子改変実験			
	担当者（所属）	本田　浩章			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-02-02,RE-05-02-01,RE-03-03-03,RE-03-03-02,RE-03-03-01,RE-03-01-01,PS-01-01-07,PS-01-01-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2026/01/07(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	変異と染色体構造変化			
	担当者（所属）	山本　俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-07,PS-01-01-08,PS-01-01-10,PS-01-04-02,PS-03-01-04,CS-02-03-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				27

28.	2026/01/07 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	家系図			
	担当者（所属）	山本　俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-01-02,PS-03-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2026/01/14 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	遺伝子診断と分子標的薬			
	担当者（所属）	瀧田　守親			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-01-03,CS-02-04-13			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2026/01/14 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	遺伝子診断と生命倫理			
	担当者（所属）	山本　俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-01-05,PS-03-01-06,PS-03-01-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2026/01/15 (木)	３時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	遺伝情報学実習 1.ゲノム情報の収集と分析 2.疾患ゲノム解析のアプローチ			

	担当者（所属）	赤川　浩之 末廣　勇司 東　剣虹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-04-02,PS-01-04-03,PS-03-01-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2026/01/15(木)	４時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	遺伝情報学実習 1.ゲノム情報の収集と分析 2.疾患ゲノム解析のアプローチ			
	担当者（所属）	赤川　浩之 末廣　勇司 東　剣虹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-04-02,PS-01-04-03,PS-03-01-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2026/01/15(木)	５時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	遺伝情報学実習 1.ゲノム情報の収集と分析 2.疾患ゲノム解析のアプローチ			
	担当者（所属）	赤川　浩之 末廣　勇司 東　剣虹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-04-02,PS-01-04-03,PS-03-01-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2026/02/06(金)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	赤川　浩之			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2026/02/06(金)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2026/02/24(火)	１時限	追･再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2026/02/24(火)	２時限	追･再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37

〔遺伝と遺伝子〕

科目責任者:赤川　浩之(総合医科学研究所)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 遺伝と遺伝子	1. 遺伝子からみた生命	1)種の保存と個体の保存 2)遺伝情報 3)形質発現 4)セントラルドグマ 5)RNA ワールド
Ⅱ. 遺伝の仕組	1. 遺伝の法則	1)遺伝子と染色体 a)常染色体 b)性染色体 c)ミトコンドリア遺伝子 2)メンデルの法則 a)減数分裂 b)優性・劣性遺伝 3)連鎖と組換え a)交叉と組換え価
	2. 集団遺伝	1)遺伝子頻度 a)ハーディ・ワインベルグの法則 b)選択 c)遺伝的浮動 d)突然変異 2)集団における遺伝子の発現 a)多因子遺伝 b)近交係数(親縁係数)
Ⅲ.染色体と遺伝の構造	1. ヒトの染色体	1)染色体の分子構造 a)ヒストンとヌクレオソーム b)染色体バンド 2)染色体のゲノム a)ゲノムの情報量 b)遺伝子の大きさと分布 c)反復配列 d)DNA 多型(1 塩基～多塩基) 3)ゲノム地図 a)遺伝地図 b)物理地図
Ⅳ.DNA の複製と修復	1. DNA 複製	1)DNA の構造と性質 a)二重らせん b)5′と3′末端 c)A・B・Z 型 d)物理化学的性質 2)複製機構 a)DNA ポリメラーゼ

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		b）RNA プライマー c）岡崎断片 d）複製起点
	2. DNA 修復	1）突然変異原 a）薬物 b）放射線 c）ラジカル 2）突然変異の種類 a）塩基修飾 b）ミスマッチ c）ヘリックス構造修飾 d）２重鎖切断 3）修復機構 a）塩基除去修復 b）ヌクレオチド除去修復 c）ミスマッチ修復 d）組み換え修復 4）ヒト疾患との関連 a）色素性乾皮症 b）ataxia telangiectasia
Ⅴ. 遺伝子発現	1. 転写（mRNA 合成）	1）転写機構 a）鋳型鎖と反鋳型鎖 b）RNA ポリメラーゼ c）プロモーター d）エキソン e）イントロン f）スプライシング g）逆転写 2）転写の調節 a）転写基本因子 b）活性化・抑制因子 c）オペロン d）DNA・タンパク質相互作用 e）タンパク質・タンパク質相互作用
	2. 翻訳（タンパク質合成）	1）翻訳機構 a）コドンとアンチコドン b）リボソーム c）tRNA d）A ,P ,E 部位
	3. タンパク質の細胞内輸送	1）タンパク質の修飾 a）リン酸化 b）糖鎖付加 c）加水分解 2）細胞内輸送 a）シグナルペプチド

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		b）低分子量G蛋白質
Ⅵ．遺伝子解析の手法	1．組換えDNA	1）ベクターの種類 a）クローニングベクター b）発現ベクター 2）標的遺伝子の分離
	2．遺伝子の構造解析	1）サザン、ノーザンブロット 2）PCR 法 3）塩基配列決定法 4）DNA マイクロアレイ（チップ）
	3．遺伝子の機能解析	1）突然変異導入 2）順遺伝学と逆遺伝学 3）発生工学 4）遺伝子ノックアウト動物
	4．組換えDNA の応用	1）遺伝子診断 2）遺伝子治療 3）生理活性物質の合成
Ⅶ．遺伝子と疾患	1．腫瘍関連遺伝子	1）癌遺伝子 2）癌抑制遺伝子
	2．遺伝子診断	1）方法 a）PCR 法 b）サザンブロット法 c）多型解析 d）DNA シークエンス 2）診断可能な疾患 a）遺伝子病 b）癌 c）感染症 3）保因者診断 4）出生前診断
	3．遺伝子治療	1）ジャームライン遺伝子治療 2）体細胞遺伝子治療 3）治療可能な疾患 a）遺伝病 b）癌 c）感染症
	4．遺伝子と生命倫理	1）遺伝カウンセリング 2）遺伝子研究と医療におけるプライバシーの保護と差別 3）生命倫理
Ⅷ．遺伝と情報	1．遺伝情報学	1）ゲノム配列
	2．全ゲノム解析	1）連鎖解析 2）関連解析 3）薬理遺伝学

科目名

生体と微生物

科目責任者(所属)

柳澤　直子

到達目標

病原微生物は科学文明の進んだ今日でも生命にとって大きな恐畏である。さらにこれまで想像されなかった新しい病原微生物の出現で世界は動揺さえしている。本科目では、個々の病原微生物についての知識、それらによる感染症の実態、さらに感染症治療のための化学療法剤等について学修する。本科目はほぼ同時に並行して講義がなされる「生体防御・免疫」と強い関連性を持つので、両科目について有機的、総合的な理解をするように努めてほしい。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-④

学修（教育）方法

講義・実習・TBL

評価方法
(1)総括的評価の対象

定期試験を80%、実習点を20%で成績とする。ただし、すべての実習への参加とレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

原核細胞と真核細胞の特徴について理解している。	PS-01-01-05
DNAの複製と修復、DNAからRNAへの転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）について理解している。	PS-01-01-09
生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性について理解している。	PS-01-02-21
原核生物としての細菌の構造と機能の違いについて真核生物と比較して理解している。	PS-01-03-01
細菌の感染経路を分類し、細菌が疾病を引き起こす機序について理解している。	PS-01-03-02
細菌の産生するタンパク質性毒素、非タンパク質性毒素の作用機序について理解している。	PS-01-03-03
主なグラム陽性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性球菌、グラム陰性桿菌の細菌学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。	PS-01-03-04
抗酸菌の細菌学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。	PS-01-03-05

らせん状細菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。	PS-01-03-06
生体各部の細菌叢（マイクロバイオーム）の構成菌、細菌叢の機能について概要を理解している。	PS-01-03-07
ウイルス粒子の構造と性状によりウイルスを分類できる。	PS-01-03-08
ウイルス感染の種特異性、組織特異性と吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程、ウイルス感染細胞に起こる変化について理解している。	PS-01-03-09
主なDNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。	PS-01-03-10
主なRNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。	PS-01-03-11
真菌（接合菌、子嚢菌、担子菌、不完全菌）の微生物学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。	PS-01-03-12
寄生虫の分類、形態学的特徴、生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義、寄生虫感染宿主の生体防御の特徴について理解している。	PS-01-03-13
微生物の特性に応じた治療薬の作用機序について概要を理解している。	PS-01-03-14
微生物感染症に対するワクチンの原理、種類とそれに対する問題点について理解している。	PS-01-03-15
人獣共通感染症の原因となる微生物について、その生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義について理解している。	PS-01-03-16
媒介性感染症の原因となる微生物について、その生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義を理解している。	PS-01-03-17
ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴の概要について理解している。	PS-01-03-26
薬剤耐性の現状、代表的な薬剤耐性菌（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌等）と抗菌薬適正使用等の予防策について理解している。	PS-03-03-04
患者（宿主）、感染臓器・部位、原因微生物の関係について理解している。	PS-03-03-05
代表的な市中感染症のリスク因子、感染経路・侵入門戸、病態生理について理解している。	PS-03-03-06
代表的な医療関連感染のリスク因子、感染経路・侵入門戸、病態生理を理解している。	PS-03-03-07
国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。	SO-05-02-01
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意義を理解し、世界各国の医療制度が抱える問題を例示できる。	SO-05-02-02
保健関連の国連開発目標や国際機関・国際協力に関わる組織・団体について概要を理解している。	SO-05-02-03

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めてよく理解している(90%以上)、A.よく理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかと判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

①準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびおよびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示される講義内容や実習書に目を通すことおよび連続的に行われる講義のつながりを意識して学修することで学識の理解に役立ててほしい。事前事後学修0.5～0.75時間＋0.25時間　②課題に対するフィードバックの方法：レポートは提出後、科学レポートの完成度や技術修得を評価し返却する。そして、全体として講評し、次の到達及び目標を伝達する。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準微生物学』	中込治, 神谷茂編	医学書院 2015	9784260020466
2.	『医科細菌学』	笹川千尋, 林哲也編集	南江堂 2008	9784524242047
3.	『シンプル微生物学』	小熊恵二、堀田博、若宮伸隆編	南江堂 2018	4524254838
4.	『病原微生物学：基礎と臨床』	荒川宜親, 神谷茂, 柳雄介編	東京化学同人 2014	9784807908271
5.	『医科ウイルス学』	高田賢蔵編集	南江堂 2009	9784524240227
6.	『戸田新細菌学』	吉田眞一, 柳雄介, 吉開泰信編	南山堂 2013	9784525161149
7.	『病気が見える　Vol.6 免疫・膠原病・感染症』	医療情報科学研究所編	メディックメディア 2009	9784896323092
8.	『NEW薬理学』	田中千賀子, 加藤隆一編集	南江堂 2011	9784524260881
9.	『標準薬理学』	飯野正光, 鈴木秀典編集	医学書院 2015	9784260017503
10.	『臨床薬理学』	David E. Golan [ほか] 著；荒井誠 [ほか] 訳	丸善出版 2015	9784621089163
11.	『図説　人体寄生虫学　』	吉田幸雄, 有薗直樹著	南山堂 2016	9784525170295

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/11/05 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40

	タイトル	総論-微生物の種類・基本構造・増殖様式			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-05, PS-01-03-01, PS-01-03-02, PS-03-03-05, PS-03-03-06, CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/11/10(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	グラム陰性菌（１）			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/11/13(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	グラム陰性菌（２）			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/11/13(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	ウイルス（１）			
	担当者（所属）	大坂　利文			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-08, PS-01-03-09, PS-01-03-10, PS-01-03-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/11/17(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	グラム陽性菌 (1)			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/11/18(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	グラム陽性菌 (2)			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/11/20(木)	２時限	実習	大実習室 1	10:25-11:35
	タイトル	凝集と溶血			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				25
8.	2025/11/20(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	細菌実験の基本操作-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
9.	2025/11/20(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	細菌実験の基本操作-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
10.	2025/11/20(木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	細菌実験の基本操作-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				28
11.	2025/11/21(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	芽胞形成菌 (通性、偏性嫌気性菌)			
	担当者（所属）	上芝　秀博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
12.	2025/11/25(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	化学療法薬			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-02, PS-01-03-14,PS-03-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
13.	2025/11/25(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	抗菌薬と薬剤耐性			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-14, PS-03-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
14.	2025/11/27(木)	２時限	実習	大実習室 1	10:25-11:35

	タイトル	細菌実験の基本操作-2			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
15.	2025/11/27(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	常在細菌-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02, CS-03-01-01, PS-01-03-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
16.	2025/11/27(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	薬剤耐性菌-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
17.	2025/11/27(木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25

	タイトル	薬剤耐性菌-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
18.	2025/11/28(金)	２時限	実習	大実習室 1	10:25-11:35
	タイトル	細菌実験の基本操作-3			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
19.	2025/11/28(金)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	常在細菌-2			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02, CS-03-01-01, PS-01-03-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
20.	2025/11/28(金)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05

	タイトル	薬剤耐性菌-2			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
21.	2025/11/28(金)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	薬剤耐性菌-2			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
22.	2025/12/01(月)	２時限	実習	大実習室 1	10:25-11:35
	タイトル	殺菌・消毒と細菌の抵抗性-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
23.	2025/12/01(月)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40

	タイトル	薬剤耐性菌-3			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
24.	2025/12/01(月)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	薬剤耐性菌-3			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
25.	2025/12/01(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	薬剤耐性菌-3			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
26.	2025/12/02(火)	２時限	実習	大実習室 1	10:25-11:35

	タイトル	殺菌・消毒と細菌の抵抗性-2			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
27.	2025/12/02(火)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	ゲル内沈降-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
28.	2025/12/02(火)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	ゲル内沈降-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
29.	2025/12/02(火)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25

	タイトル	ゲル内沈降-1			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
30.	2025/12/03(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	ウイルス（２）			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-08, PS-01-03-09, PS-01-03-10, PS-01-03-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
31.	2025/12/03(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	真菌			
	担当者（所属）	上芝　秀博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-12			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
32.	2025/12/04(木)	２時限	実習	大実習室 1	10:25-11:35
	タイトル	インフルエンザウイルス			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子			

		大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
33.	2025/12/04(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	真菌			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-12			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
34.	2025/12/04(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	真菌			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-12			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
35.	2025/12/04(木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	真菌			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子			

		大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-12			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
36.	2025/12/08(月)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	抗体産生細胞　（グループ１）			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-23			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
37.	2025/12/08(月)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	ゲル内沈降-2　（グループ1）			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
38.	2025/12/08(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	ゲル内沈降-2　（グループ1）			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子			

		大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
39.	2025/12/10(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	グラム陰性菌（３）			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
40.	2025/12/10(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	細菌の遺伝子とバクテリオファージ			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-08, PS-03-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
41.	2025/12/11(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	抗体産生細胞　（グループ２）			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	PS-01-03-23			

	準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
42.	2025/12/11(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	ゲル内沈降-2　（グループ2）			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
43.	2025/12/11(木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	ゲル内沈降-2　（グループ2）			
	担当者（所属）	上芝　秀博 柳澤　直子 大坂　利文 飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
44.	2026/01/08(木)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	抗酸菌			
	担当者（所属）	上芝　秀博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-05			

	講義資料番号/連番(LMS)				14
45.	2026/01/08(木)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	リケッチア・クラミジア			
	担当者（所属）	上芝　秀博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-06, PS-01-03-16, PS-01-03-17			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
46.	2026/01/08(木)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	スピロヘータ・マイコプラズマ			
	担当者（所属）	上芝　秀博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-06, PS-01-03-16, PS-01-03-17			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
47.	2026/01/13(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	肝炎ウイルス			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-08-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
48.	2026/01/13(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35

	タイトル	レトロウイルス			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
49.	2026/01/19(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ウイルス（３）・プリオン			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-08, PS-01-03-09, PS-01-03-10, PS-01-03-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
50.	2026/01/19(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	寄生虫学総論			
	担当者（所属）	凪　幸世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-13			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
51.	2026/01/19(月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	寄生虫学各論			
	担当者（所属）	上芝　秀博			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-13			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
52.	2026/01/19(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	細菌毒素			
	担当者（所属）	上芝　秀博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
53.	2026/01/20(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	国際保健と感染症対策総論			
	担当者（所属）	凪　幸世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-05-02-01, SO-05-02-02, SO-05-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
54.	2026/01/20(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	感染症の予防			
	担当者（所属）	飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-15, PS-03-03-07, PS-03-03-17, PS-03-03-18, CS-05-04-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				24

55.	2026/02/12(木)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2026/02/12(木)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2026/02/25(水)	１時限	追･再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2026/02/25(水)	２時限	追･再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/202･203講義室			

	担当者（所属）	柳澤　直子	
	コアカリキュラム/S10国試出題基準		
	講義資料番号/連番(LMS)		58

［生体と微生物］

科目責任者：柳澤　直子（微生物学免疫学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．微生物の一般的特性	1．微生物の一般的性状	1）分類
		2）形態・構造
		3）染色性
		4）増殖と栄養と代謝
	2．微生物の遺伝子	1）細菌の染色体
		2）プラスミド
		3）遺伝形質の伝達
		4）バクテリオファージ
		5）ウイルスの遺伝子
	3．環境と微生物	1）身のまわりに存在する微生物
		2）食中毒
	4．常在微生物叢	
	5．感染と発症	1）感染の定義
		2）感染経路
		3）病原性・病原因子
		4）細菌毒素
		a）内毒素
		b）外毒素
		5）発症の機構―［生体防御・免疫］Ⅲ．微生物感染症　参照1）
	6．滅菌・消毒	1）滅菌と消毒
		2）消毒薬
	7．予防接種とワクチン	1）予防接種の原理
		2）ワクチンの種類・特徴
Ⅱ．病原性細菌	1．グラム陽性球菌	1）ブドウ球菌
		2）レンサ球菌
	2．グラム陽性桿菌	1）ジフテリア菌
	3．グラム陰性球菌	1）淋菌
		2）髄膜炎菌
	4．グラム陰性好気性桿菌	1）緑膿菌
		2）在郷軍人病菌
		3）ブルセラ属菌
		4）百日咳菌
	5．グラム陰性通性嫌気性桿菌	1）腸内細菌科の細菌（大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属菌、ペスト菌とエルシニア属菌）
		2）ビブリオ属菌（コレラ菌、腸炎ビブリオ）
		3）インフルエンザ菌

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	6. グラム陰性らせん状菌	1） カンピロバクター属菌
		2） ヘリコバクター属菌
	7. 有芽胞菌、偏性嫌気性桿菌	1） 炭疽菌
		2） クロストリジウム属菌（破傷風菌、ボツリヌス菌、ガス壊疽菌、ディフィシル菌）
		3） バクテロイデス属菌
	8. 抗酸菌	1） 結核菌群
		2） 非定型抗酸菌
		3） 癩菌
	9. スピロヘータ	1） トレポネーマ属
		2） ボレリア属
		3） レプトスピラ属
	10.リケッチア	1） 発疹チフス群リケッチア
		2） 紅斑熱群リケッチア
		3） 恙虫病リケッチア
	11.クラミジアとマイコプラズマ	1） クラミジア
		2） マイコプラズマ
Ⅲ. 病原性真菌	1. 真菌の一般的性状と病原性	1） 真菌の微細構造、代謝
		2） アスペルギルス属
		3） カンジダ属
		4） クリプトコッカス
		5） ムコール
Ⅳ. 病原性ウイルス	1. ウイルスの一般的性状	1） 構造と分類
		2） 分裂と増殖
		3） 感染の成立と伝播
		4） 定量法
		5） ウイルス遺伝学
	2. DNA ウイルス	1） サイトメガロウイルス
		2） EB ウイルス
		3） ヒトヘルペスウイルス
		4） アデノウイルス
		5） ポックスウイルス
		6） パルボウイルス
		7） パピローマウイルス
	3. RNA ウイルス	1） インフルエンザウイルス
		2） ムンプスウイルス
		3） 麻疹ウイルス
		4） 風疹ウイルス
		5） ポリオウイルス
		6） コクサッキーウイルス
		7） エコーウイルス
		8） ライノウイルス
		9） ロタウイルス
		10）ノロウイルス

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	4. 遅発性感染症起因ウイルス	
	5. 肝炎ウイルス	1） A 型肝炎ウイルス
		2） B 型肝炎ウイルス
		3） C 型肝炎ウイルス
		4） D 型肝炎ウイルス
		5） E 型肝炎ウイルス
		6） 非A～E 型肝炎ウイルス
	6. レトロウイルス	1） ATL ウイルス
		2） AIDS ウイルス
		3） 発癌機序
	7. 腫瘍ウイルス	1） DNA 腫瘍ウイルス
		2） RNA 腫瘍ウイルス
	8. プリオン	1） プリオン
Ⅴ. 寄生虫総論と感染症の国際的動向	1. 寄生虫総論	1） 寄生虫の分類
		2） 寄生虫の生活史
	2. 感染症の国際的動向	1） エイズ対策の歴史と現状
		2） マラリア対策の歴史と現状
Ⅵ. 化学療法薬	1. 化学療法薬概論	1） 最小発育阻止濃度と抗菌スペクトル
		2） 抗菌作用とその作用機序
		3） 薬剤耐性発現の機構
	2. 合成抗菌薬	1） サルファ剤
		2） キノロン剤
	3. 抗生物質	1） β－ラクタム系
		2） アミノグリコシド系
		3） マクロライド系
		4） テトラサイクリン系
		5） クロラムフェニコール
	4. 抗ウイルス薬	
	5. 抗真菌薬	

科目名

生体防御・免疫

科目責任者(所属)

柳澤　直子

到達目標

生体のまわりには種々様々の侵襲因子が存在し、生体に傷害的に作用しようとしている。しかし、注意深く観察すると、傷害物質は生体の内部にも生理的代謝の結果として、あるいは病的反応の結果として常に生じている。この「生体防御・免疫」ではマクロファージによる異物の捕捉とリンパ球による異物の排除、および腫瘍免疫、自己免疫、移植免疫等多岐にわたる免疫現象や炎症反応について学ぶ。さらに粘膜、皮膚および内分泌系と生体防御の関わりについて理解する。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②

学修（教育）方法

講義・実習・TBL

評価方法
(1)総括的評価の対象

定期試験を80%、実習点を20%で成績とする。ただし、すべての実習への参加とレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性について理解している。	PS-01-02-21
微生物感染症に対するワクチンの原理、種類とそれに対する問題点について理解している。	PS-01-03-15
免疫反応に関わる組織と細胞について理解している。	PS-01-03-18
補体及び自然免疫細胞が病原体により活性化し、炎症を引き起こす仕組みについて理解している。	PS-01-03-19
主要組織適合遺伝子複合体クラスIとクラスIIの基本構造と機能、抗原提示によるT細胞活性化の仕組みについて理解している。	PS-01-03-20
免疫グロブリンとT細胞抗原レセプターの構造と反応様式、免疫グロブリンとT細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構について理解している。	PS-01-03-21
ヘルパーT細胞（Th1 cell、Th2 cell、Th17 cell）、細胞傷害性T細胞、制御性T細胞それぞれが担当する生体防御反応について理解している。	PS-01-03-22
B細胞の活性化による抗体産生の機構及び抗体の役割を理解している。	PS-01-03-23
自然免疫系を構成する主な細胞とそれらの活性化機構（TLR等）を理解している。	PS-01-03-24

抗原提示細胞の種類と役割、抗原提示機構について理解している。	PS-01-03-25
ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴の概要について理解している。	PS-01-03-26
原発性免疫不全症候群と後天性免疫不全症候群の概要について理解している。	PS-01-03-27
免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症について理解している。	PS-01-03-28
アレルギー発症の機序について理解している。	PS-01-03-29
がん免疫に関わる細胞性機序について理解している。	PS-01-03-30
がんの免疫系による排除機構について概要を理解している。	PS-01-04-24
血液・造血器・リンパ系の構造と機能について基本的事項を理解している。	PS-02-02-01
皮膚系の構造と機能について基本的事項を理解している。	PS-02-04-01
妊娠と分娩に関する構造と機能について基本的事項を理解している。	PS-02-11-01
膠原病、血管炎、リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、自己免疫疾患の概念を区別して理解し、それぞれに含まれる疾患を列挙できる(表1)。	PS-03-02-01
代表的な免疫不全患者の罹患しやすい微生物について概要を理解している。	PS-03-03-03

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めてよく理解している(90%以上)、A.よく理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかと判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

①準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびおよびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示される講義内容や実習書に目を通すことおよび連続的に行われる講義のつながりを意識して学修することで学識の理解に役立ててほしい。事前事後学修0.5～0.75時間＋0.25時間　②課題に対するフィードバックの方法：レポートは提出後、科学レポートの完成度や技術修得を評価し返却する。そして、全体として講評し、次の到達及び目標を伝達する。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準免疫学』	宮坂昌之, 小安重夫編	医学書院 2013	9784260009324
2.	『医系免疫学』	矢田純一著	中外医学社 2016	9784498106055
3.	『医科免疫学』	菊地浩吉, 上出利光, 小野江和則編集	南江堂 2008	9784524240630
4.	『分子細胞免疫学』	Abul K. Abbas, Andrew H. Lichtman, Shiv Pillai原著；松島綱治, 山田幸宏監訳	エルゼビア・ジャパン 2014	9784860342982
5.	『エッセンシャル免疫学』	笹月健彦	メディカルサイエンスインターナショナル 2016	9784895926515
6.	『イラストレイテッド免疫学』	矢田純一 監訳、高橋秀実 監訳	丸善出版 2013	9784621087572
7.	『免疫学コア講義』	熊ノ郷淳　編集、阪口薫雄　編集、竹田　潔　編集、吉田裕樹　編集	南山堂 2017	9784525167547

8.	『病気が見える　Vol.6 免疫・膠原病・感染症』	医療情報科学研究所編	メディックメディア 2009	9784896323092
9.	『標準産婦人科学　第５版』	綾部琢哉、板倉敦夫編集	医学書院 2021	9784260042659
10.	『標準組織学　各論』	藤田尚男, 藤田恒夫原著	医学書院 2017	9784260024044
11.	『標準皮膚科学』	橋本隆, 岩月啓氏, 照井正編集	医学書院 2013	9784260016162
12.	『あたらしい皮膚科学』	清水宏著	中山書店 2011	9784521733647

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/11/10 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	総論―生体防御・免疫系			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-12, PS-01-03-18			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/11/11 (火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	自然免疫(1)			
	担当者（所属）	大坂　利文			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-19, PS-01-03-24			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/11/11(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	自然免疫(2)			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-19, PS-01-03-24			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/11/18(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	液性免疫			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-23			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/12/02(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	抗原と抗体			
	担当者（所属）	飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-21			
	講義資料番号/連番(LMS)				5

6.	2025/12/09 (火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	細胞性免疫			
	担当者（所属）	飯塚　譲			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-22			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/12/09 (火)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	主要組織適合抗原(1)			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-20			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/12/09 (火)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	免疫系の多様性獲得機序			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-21			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/12/12 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	自己免疫寛容			

	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/12/12(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	サイトカインとケモカイン			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-05, PS-01-03-18			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2026/01/05(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	アレルギー			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-29, PS-03-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2026/01/06(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	自己免疫疾患			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-28, PS-03-02-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2026/01/06(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	粘膜免疫(1)			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-23, PS-02-02-01, PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2026/01/08(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	生殖免疫			
	担当者（所属）	中林　章			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-10-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2026/01/08(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	皮膚における生体防御			
	担当者（所属）	梅垣　知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2026/01/15(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	主要組織適合抗原(２)・移植免疫			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-04-43, CS-02-04-44			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2026/01/15(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	免疫応答の制御機構・腫瘍免疫			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-30, PS-01-04-24			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2026/01/16(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	粘膜免疫(2)			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-07, PS-01-03-23, PS-02-02-01, PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2026/01/16(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	免疫不全			
	担当者（所属）	柳澤　直子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-27, PS-03-03-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2026/01/20(火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	免疫系組織の機能分化と微細構造（1）			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-12, PS-01-03-18, PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2026/01/20(火)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	免疫系組織の機能分化と微細構造（2）			
	担当者（所属）	石津　綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-12, PS-01-03-18, PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2026/01/20(火)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	感染症の免疫応答			
	担当者（所属）	大坂　利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-26			
	講義資料番号/連番(LMS)				22

23.	2026/02/09(月)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2026/02/09(月)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/202･203講義室			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2026/02/24(火)	３時限	追･再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追･再試験(13：00-14：30)/202/203講義室			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2026/02/24(火)	４時限	追･再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追･再試験(13：00-14：30)/202/203講義室			

	担当者（所属）	柳澤　直子	
	コアカリキュラム/S10国試出題基準		
	講義資料番号/連番(LMS)		26

［生体防御・免疫］

科目責任者：柳澤　直子（微生物学免疫学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．生体防御総論	1．非特異的生体防御	1）物理的・化学的バリア
	2．特異的生体防御	1）Ⅱ．免疫各論参照
	3．免疫細胞・組織の形態と分化	1）系統発生・個体発生
		2）中枢性免疫臓器（骨髄、ファブリチウス嚢、胸腺）
		3）末梢性免疫臓器（リンパ節、脾臓、粘膜付属リンパ組織、他）
		4）免疫担当細胞の組織内分布
		5）リンパ球の再循環
Ⅱ．免疫各論	1．抗原と抗体	1）抗原の構造
		2）抗体の構造
	2．免疫担当細胞	1）T細胞、B細胞、抗原提示細胞、NK細胞
	3．自然免疫	1）好中球
		2）マクロファージ
		3）分子パターン認識受容体群
		4）補体
	4．主要組織適合抗原とその遺伝子	1）蛋白分子とその構造、遺伝子
		2）生理的役割：抗原提示とその経路
	5．免疫システムの多様性	1）クローンの概念
		2）T 細胞とB 細胞の抗原レセプターの構造・多様性獲得機序
		3）自己と非自己の識別
		4）中枢性自己免疫寛容
		5）末梢性自己免疫寛容
	6．獲得免疫	1）液性免疫と細胞性免疫
		2）B 細胞の分化と応答
		3）$CD4^{+}$T 細胞サブセット（Th1 およびTh2 細胞）の分化と応答
		4）$CD8^{+}$T 細胞の分化と応答
		5）制御性T 細胞
		6）Th17 細胞
		7）免疫学的記憶
		8）免疫応答の制御
		9）免疫組織
	7．サイトカイン	1）リンホカイン
		2）モノカイン
		3）ケモカイン
	8．腫瘍免疫	
	9．移植免疫	1）間接認識と直接認識
		2）拒絶反応の種類

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	10. 免疫異常	1） 免疫不全症 2） 自己免疫病 3） アレルギー
	11. スーパー抗原と疾患	1） スーパー抗原の種類 2） スーパー抗原によるT 細胞活性化 3） スーパー抗原による疾患
Ⅲ. 微生物感染症	1. 微生物-宿主相互作用	1） 細菌感染の成立機構 2） ウイルス感染の成立機構
	2. 各種微生物感染に抗する免疫応答	1）Ⅰ. 生体防御総論とⅡ. 免疫各論参照
Ⅳ. 炎症反応	1. 生体防御と炎症	1） 炎症の概念 2） 炎症の形態学的亜型 3） 炎症細胞 4） 炎症の発生機構とその転帰
Ⅴ. 粘膜	1. 粘膜免疫と疾患	1） GALT（腸管関連リンパ組織） 2） 粘膜(特に腸管)での免疫応答 3） 細菌叢の構成の影響 4） 疾患との関連
Ⅵ. 皮膚	1. 皮膚における生体防御	1） 角層のバリア機能 2） 免疫組織としての皮膚 3） 紫外線防御とメラノサイト 4） 皮膚の自然免疫
Ⅶ. 生殖免疫	1. 生殖器における生体防御	1） 免疫と妊娠維持
Ⅷ. 生体側殺菌機構	1. 好中球殺菌作用	1） マクロファージ（細胞活性化機構、遊走能、分化調節） 2） 活性酵素産生機構（特異的オキシダーゼ、オキシダーゼ）

科目名

医学用語

科目責任者(所属)

石津　綾子

到達目標

ラテン語は現在では母国語として用いる民族はいないが、中世以来各国共通の学術公用語として西欧世界で利用されてきた。特に、医学、歯学、薬学の分野では、ラテン語の規則性・普遍性・不変性ゆえにラテン語用語が標準とされるとともに、生物の学名、薬品名、元素名などの自然科学の分野でもラテン語用語は学術公用語として盛んに利用されている。さらに、現代の西欧各言語の語源にはラテン語起源のものが多く、日常の言語として現代西欧語を学ぶ学生にとっても、ラテン語の知識は有益である。そこで、本科目では現代医学用語の原点でもあるラテン語を出来るだけ身近に感じながら、ラテン語の基礎的な文法と基本的な医学用語を学修する。これによって、医学を学ぶ入門者にとって、解剖学用語の理解を深めるとともに、解剖学用語を通して西欧の言語文化の起源としてのラテン語文化にも触れることができる。

具体的には、以下の点を主な到達目標として学修する。
１）基本的医学用語とその語源となるラテン語との相関を理解できる。
２）ラテン語の特性を理解し、現代医学英語の用法に応用できる。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

１）人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
２）データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義・演習

評価方法
(1)総括的評価の対象

出席点ならびに毎回実施するテストの内容を吟味し、評価を行う。
１）取り組みの姿勢として５回の講義への出席・態度
２）毎回のテストの評価

評価方法
(2)評価項目

１）医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。	PR-04-01-01,SO-04-05-01
２）コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	CM-01-01-01,CM-01-01-02
３）生涯にわたる継続的学修に必要な情報を収集できる。	LL-01-01-01

評価方法
(3)評価基準

上記評価対象の総合点（100点満点に換算）で最終的評価として、S.極めて良く理解している（90%以上）A.良く理解している（80%以上90%未満）　B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（6

0%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C（60点以上）以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

授業では毎回講義最後に小テストを実施するので、必ず出席して小テストを受けること。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『骨学実習の手びき』	寺田春水, 藤田恒夫著	南山堂 1992	4525103248
2.	『「骨単」』	原島広至文・イラスト	エヌ・ティー・エス 2004	4860430506
3.	『「肉単」』	原島広至文・イラスト	エヌ・ティー・エス 2004	4860430603
4.	『「脳単」』	原島広至文・イラスト	エヌ・ティー・エス 2005	4860430751
5.	『「臓単」』	原島広至文・イラスト	エヌ・ティー・エス 2005	4860430956
6.	『解剖学用語』	解剖学用語委員会編	医学書院 2007	9784260000734

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/10/31 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	科目の概要・ラテン語			

	担当者（所属）	石津　綾子 澤井　直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-04-05-01、CM-01-01-01、LL-01-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/11/07(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ラテン語			
	担当者（所属）	澤井　直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-04-05-01、CM-01-01-01、LL-01-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/11/14(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ラテン語			
	担当者（所属）	澤井　直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-04-05-01、CM-01-01-01、LL-01-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/11/21(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ラテン語			
	担当者（所属）	澤井　直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-04-05-01、CM-01-01-01、LL-01-01-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/11/28(金)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ラテン語・まとめ			
	担当者（所属）	澤井　直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-04-05-01、CM-01-01-01、LL-01-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5

［医学用語］

科目責任者：石津　綾子（解剖学(顕微解剖学・形態形成学)）
講 義 担 当：澤井　直（順天堂大学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
ラテン語	文法	アルファベット、発音、音節 名詞（性、単・複数形と格変化） 形容詞（格変化、比較級・最上級） 数詞、前置詞など
	医学用語	学名の構成、省略語、動植物の学名 英語との相関

縦 断 教 育 科 目

科目名

「至誠と愛」の実践学修

科目責任者(所属)

野原　理子

到達目標

本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「「至誠と愛」の実践学修」では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。
具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような６本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの６本の柱の下に構成されている。

【６本の柱】
（1）専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
（2）専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
（3）医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ
（4）医療人としての倫理―解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）
（5）女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）
（6）自校の理念、歴史を知る（自校教育）

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

セグメント1、セグメント２共通

現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
社会的規範を守った生活ができる。	Ⅰ-6-A-(1-2)-①
学則を守った学生生活ができる。	Ⅰ-6-A-(1-2)-②
個人情報保護について説明できる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-①
倫理の概念について説明することができる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-②
他者の自己決定を理解できる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-③
他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
患者・家族の心理を説明できる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-②
学修上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
目標達成の手段を明らかにできる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-②
省察（振り返り）を実践できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-③
社会が期待する医師像を説明できる。	Ⅱ-2-B-(1-2)-①
自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-①
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②

自分の目標となる人物像を説明できる。	Ⅱ-2-E-(1-2)-①
社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。	Ⅱ-3-A-(1-2)-①
医学研究の重要性について概説できる。	Ⅱ-3-B-(1-2)-①
自分の考えの根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
活動向上のための評価ができる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-②
他者の話を聴くことができる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-①
対話の中で相手の述べることを要約できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-②
医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。	Ⅱ-5-A-(1-2)-①
困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。	Ⅱ-5-A-(1-2)-②
学生として適切な振る舞いで行動できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-①
学んだことを他者に説明できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-②
他者を尊重して対話ができる。	II-1-A-(1-2)-②
様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。	II-1-B-(1-2)-①
セグメント1のみ	
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
傾聴できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-①
卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-④
社会で活躍する女性の特性を述べられる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-①
セグメント2のみ	
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-②
相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
社会支援制度を説明できる。	Ⅱ-1-C-(1-2)-①
学修のための時間を適切に自己管理できる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-②
役割分担を確実に実践できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-③

学修（教育）方法

講義、ワークショップ、実習、ディスカッション・グループワーク

評価方法
(1)総括的評価の対象

講義と行事の課題の評価点を42%、ワークショップと実習の学修成果の評価点を58%で評価する。ただし、課題は当該項目の授業（講義、ワークショップ、実習、行事）へ出席した者のみに提出する資格がある。なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。

評価方法
(2)評価項目

セグメント１、セグメント2共通	
患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する (利益相反等)。	PR-01-01-01
社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。	PR-01-01-02
患者を含めた他者に思いやりをもって接する。	PR-02-01-01
医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。	PR-02-03-01
礼儀正しく振る舞う。	PR-02-03-02
身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。	GE-01-02-01
学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。	LL-01-02-01
後輩や同僚等と協働して学修できる。	LL-02-01-01
最先端の研究に刺激を受ける。	RE-01-02-01
ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。	RE-01-02-02

言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。	CM-01-01-01
非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。	CM-01-01-02
患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	CM-01-01-03
患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	CM-01-02-02
医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。	IP-02-03-01
病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。	IP-02-04-01

セグメント１のみ

自分自身の限界を適切に認識し行動する。	PR-01-02-01
他者からのフィードバックを適切に受け入れる。	PR-01-02-02
他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。	PR-02-01-02
自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。	PR-02-02-02
人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
答えのない問いについて考え続ける。	PR-03-01-02
生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。	PR-04-01-01
患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響を理解している。	GE-01-03-02
ライフサイクル（胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、壮年期、老年期、終末期）の視点で、患者の課題を検討できる。	GE-03-01-01
小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している。	GE-03-02-01
小児期の正常な精神運動発達について理解している。	GE-03-02-02
小児期の愛着形成や保育法・栄養法について理解している。	GE-03-02-03
思春期、青年期と関連する課題（生殖、いのち等に関わる課題）について理解している。	GE-03-04-03
老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。	GE-03-05-01
医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。	LL-01-01-01
自らの心身を大切にできる。	LL-01-02-02
後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。	LL-02-01-02
成人学習理論を活用し、後輩や同僚等に対して教育を実践できる。	LL-02-01-03
常識を疑う。	RE-01-01-01
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
自身の関心を問いにすることができる。	RE-03-01-01
電子カルテをはじめとする医療情報の管理・保管の原則について理解し、関連する規制（法律、倫理基準、個人情報保護のための規定等）を遵守できる。	IT-01-02-01
ソーシャルメディア(インターネット、SNS等)の利用において、医療者として相応しい情報発信の在り方を理解し、実践できる。	IT-01-02-02
医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。	CS-01-01-01
バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度）の測定ができる。	CS-01-02-03
部位毎の身体診察(表3)ができる。	CS-01-02-05
患者の自己決定を阻害する問題点を理解する。	CM-02-03-01
患者の経験を尊重し、価値観を明確にできるように傾聴することができる。	CM-02-03-02
患者の意思決定支援のために、最善のエビデンスをできるだけ専門用語を使わずに、わかりやすく説明することができる。	CM-02-03-03
患者の価値観に沿った目標に基づいた治療方針を計画することができる。	CM-02-03-04
地域共生社会の概念を理解している。	SO-01-01-02
バリアフリー等の障害と社会環境に関連する概念を理解した行動をとることができる。	SO-04-01-02
女性やLGBTQに対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。	SO-04-02-01

セグメント2のみ

相手の話を聞き、事実や自分の意見を相手にわかるように述べることができる。	CM-01-01-05

患者や家族の精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮できる。	CM-01-02-01
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るためのニーズを把握することができる。	CM-03-01-01
患者が抱える課題、問題点を抽出・整理できる。	CM-03-01-02

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

①形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物（課題については既定の文字数、内容を満たしていること）が評価対象となる。②授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。③準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間＋1.0時間。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会　編	三恵社 2018	2147483647
2.	『人間の記録63　吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998	2147483647
3.	『医療への心理学的パースペクティブ』	渡辺文夫	ナカニシヤ出版 1994	2147483647
4.	『ウィリアム・オスラー：ある臨床医の生涯』	Michael Bliss	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2012	2147483647
5.	『平静の心：オスラー博士講演集　新訂増補版』	オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708X
6.	『医者が心をひらくとき：a piece of mind 上』	ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳	医学書院 2002	2147483647
7.	『医者が心をひらくとき：a piece of mind 下』	ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳	医学書院 2002	2147483647
8.	『学生のための医療概論　第4版』	小橋 元、近藤 克則、黒田 研二、千代 豪昭	医学書院 2020	9784260041256
9.	『生きることは尊いこと　いのちをみつめた闘病と介護の日々』	岡西　雅子	医学書院 2012	2147483647
10.	『らくらく視覚障害生活マニュアル』	加藤明彦	医歯薬出版 2003	2147483647
11.	『シリーズ生命倫理学 1　生命倫理学の基本構図』	今井道夫, 森下直貴責任編集	丸善出版 2012	2147483647

12.	『患者の権利とは何か（岩波ブックレット　No. 297）』	鈴木利廣	岩波書店 1993	400032372
13.	『コンプレックス（岩波新書　青808）』	河合隼雄	岩波書店 1971	400412073X
14.	『ユーモアは老いと死の妙薬：死生学のすすめ』	アルフォンス・デーケン	講談社 1995	2147483647
15.	『新 傾聴ボランティアのすすめ：聴くことでできる社会貢献』	ホールファミリーケア協会	三省堂 2009	2147483647
16.	『対話のレッスン　日本人のためのコミュニケーション術』	平田オリザ	講談社学術文庫 2015	2147483647
17.	『新版増補　生命倫理事典』	酒井昭夫	太陽出版 2010	2147483647
18.	『新版 医療倫理Q&A』	関東医学哲学・倫理学会編	太陽出版 2013	2147483647
19.	『人間の詩と真実：その心理学的考察』	霜山徳爾	中央公論社　絶版 1978	2147483647
20.	『対人援助とコミュニケーション：主体的に学び、感性を磨く』	諏訪茂樹	中央法規出版 2010	2147483647
21.	『看護のためのコミュニケーションと人間関係』	諏訪茂樹	中央法規出版 2019	2147483647
22.	『インフォームド・コンセント（NHKブックス　711）』	森岡恭彦	日本放送出版協会 1994	2147483647
23.	『子どもへのまなざし』	佐々木正美	福音館書店 1998	2147483647
24.	『子どもへのまなざし　続』	佐々木正美	福音館書店 2001	2147483647
25.	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション：誤解・失敗・すれ違い』	久米昭元, 長谷川典子著	有斐閣 2007	2147483647

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/11 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	「至誠と愛」の実践学修　オリエンテーション			
	担当者（所属）	野原　理子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02、PR-02-01-01、PR-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/11(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	医学部新入生へのメッセージ			
	担当者（所属）	山中　寿			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-01-02-01,PR-02-02-01,PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,GE-01-02-01,LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-01-02-01,RE-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
3.	2025/04/15(火)	２時限	講義・ワークショップ	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	医学生としての矜持			
	担当者（所属）	村崎　かがり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01、PR-01-01-02、PR-02-01-01、PR-02-03-01、PR-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
4.	2025/04/18(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	キャリアを考える（1）「医学の学び方」			
	担当者（所属）	北村　聖			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-01, LL-01-01-02, LL-02-01-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				3
5.	2025/04/23(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	社会規範教育(1)「総論」			
	担当者（所属）	石黒　直子 西村　勝治 諏訪　茂樹 村崎　かがり 中神　朋子 小川　久貴子 宮田　麻理子 柳澤　直子 清水　洋子 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	自校教育：PR-03-01-01、LL-01-02-01; 挨拶：CM-01-01-01、PR-02-03-02 社会規範：IT-01-02-01、IT-01-02-02; ボランティア：SO-01-01-02、SO-04-01-02 掃除道：LL-01-01-02、LL-01-02-02; 共感：CM-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
6.	2025/05/07(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	コミュニケーション（1）「乳幼児の身体と心の成長と発達」			
	担当者（所属）	松尾　真理 浦野　真理			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-01-01、GE-03-02-01、GE-03-02-02、GE-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
7.	2025/05/07(水)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」実習オリエンテーション			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-01-01-01, CS-01-02-03, CS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
8.	2025/05/08(木)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-01-01-01, CS-01-02-03, CS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
9.	2025/05/08(木)	５時限	実習	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-01-01-01, CS-01-02-03, CS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
10.	2025/05/22(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	医療倫理原則（1）「生と死の倫理的問題」			
	担当者（所属）	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				7

11.	2025/05/22 (木)	３時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
12.	2025/05/22 (木)	４時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				53
13.	2025/05/22 (木)	５時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
14.	2025/05/30 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	生命倫理の基礎：生命と「いのち」・人と人間を考える			

	担当者（所属）	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
15.	2025/06/20(金)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	行動科学（1）「人の心理と行動（1）」			
	担当者（所属）	筒井　順子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
16.	2025/06/20(金)	４時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	行動科学（1）「人の心理と行動（2）」			
	担当者（所属）	筒井　順子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
17.	2025/06/20(金)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	行動科学（1）「人の心理と行動（3）」			
	担当者（所属）	筒井　順子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
18.	2025/06/24(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	自省と気付き（1）「プロフェッショナル～医師になるということ～」			
	担当者（所属）	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-03-02,PR-01-02-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, CM-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
19.	2025/06/27(金)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント/アセント(1)」			
	担当者（所属）	竹村　洋典			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-02-03-01,CM-02-03-02,CM-02-03-03,CM-02-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
20.	2025/06/27(金)	４時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント/アセント(2)」			
	担当者（所属）	竹村　洋典			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-02-03-01,CM-02-03-02,CM-02-03-03,CM-02-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
21.	2025/06/27(金)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25

	タイトル	コミュニケーション（３）　マナーの実践 (総論)			
	担当者（所属）	横田　仁子 日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02、CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
22.	2025/07/02 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療（1）「医師の役割と医療の実際」			
	担当者（所属）	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01, CM-01-01-02, CM-01-01-03, IP-02-03-01, IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
23.	2025/08/25 (月)	３時限	実習	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習　ガイダンス」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/08/25 (月)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療（2）「医師の役割と医療の実際　実習ガイダンス」			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/08/29(金)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	09:00-10:10
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（A班)／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	共通 医師実習 ハンディキャップ PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/08/29(金)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	10:25-11:35
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（A班)／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文			

		石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	共通 医師実習 ハンディキャップ PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/08/29(金)	３時限	実習	講義室 301 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（A班）／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　振り返り」			
	担当者（所属）	西井　明子 浦瀬　香子 菊池　規子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	共通 医師実習 ハンディキャップ PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/08/29(金)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（B班）／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　グループ発表」			
	担当者（所属）	西井　明子 浦瀬　香子 菊池　規子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	共通 医師実習 ハンディキャップ			

	準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/08/29(金)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（B班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/08/29(金)	６時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（B班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2025/09/04(木)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	医とは何か			
	担当者（所属）	中神　朋子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-02-01-01,PR-02-03-01,PR-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
32.	2025/09/09(火)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	09:00-10:10
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（C班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
33.	2025/09/09(火)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	10:25-11:35
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（C班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄			

		廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
3 4.	2025/09/09 (火)	３時限	実習	講義室 301 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（C班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　振り返り」			
	担当者（所属）	松本　卓子 西井　明子 浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
3 5.	2025/09/09 (火)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（D班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　グループ発表」			
	担当者（所属）	松本　卓子 西井　明子 浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				34

36.	2025/09/09 (火)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（D班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
37.	2025/09/09 (火)	６時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（D班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
38.	2025/09/16 (火)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える（3）「アントレプレナーシップ教育」			
	担当者（所属）	朝日　透			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
39.	2025/09/16 (火)	６時限	講義・ワークショップ	講義室 301	16:35-17:45

	タイトル	キャリアを考える（４）「再生医療を学ぶ」			
	担当者（所属）	清水　達也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-02-01,RE-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
40.	2025/10/02(木)	３時限	実習	講義室 301 講義室 302	12:30-13:40
	タイトル	コミュニケーション（3）「マナーの実践」			
	担当者（所属）	横田　仁子 辻村　貴子 日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
41.	2025/10/02(木)	４時限	実習	講義室 301 講義室 302	13:55-15:05
	タイトル	コミュニケーション（3）「マナーの実践」			
	担当者（所属）	横田　仁子 辻村　貴子 日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
42.	2025/10/02(木)	５時限	実習	講義室 301 講義室 302	15:15-16:25
	タイトル	コミュニケーション（3）「マナーの実践」			
	担当者（所属）	横田　仁子 辻村　貴子			

		日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
43.	2026/02/12(木)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	チーム医療（3）「看護実践の原理とチーム医療」			
	担当者（所属）	見城　道子 浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
44.	2026/02/12(木)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　実習ガイダンス」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 廣田　恵子 駒形　朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
45.	2026/02/16(月)	１時限	実習	大実習室 1 第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	09:00-10:10
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			

	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
46.	2026/02/16(月)	２時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	10:25-11:35
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
47.	2026/02/16(月)	３時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A	12:30-13:40

				西病棟B 東病棟 糖尿病センター	
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
48.	2026/02/16(月)	４時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	13:55-15:05
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				44
49.	2026/02/16(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　実習振返り（小グループ討論）」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
50.	2026/02/17(火)	１時限	実習	大実習室 1 第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	09:00-10:10
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
51.	2026/02/17(火)	２時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A	10:25-11:35

				西病棟B 東病棟 糖尿病センター	
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
52.	2026/02/17(火)	３時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	12:30-13:40
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				48
53.	2026/02/17(火)	４時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	13:55-15:05
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
54.	2026/02/17(火)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　実習振返り（小グループ討論）」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				50

〔「至誠と愛」の実践学修〕

科目責任者：野原 理子（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野））

東京女子医科大学医学部

「至誠と愛」の実践学修到達目標

医学生の人間関係（態度・習慣・マナー・コミュニケーションおよび人間関係に関連する技能）の到達目標を示す。
卒前教育の中で卒後の目標として俯瞰すべき到達目標は、＊印を付して示す。

到達目標の概略（構造）を以下に示す。次ページ以降に示すのが全文で、具体的到達目標が述べられている。

概略（構造）

Ⅰ 習慣・マナー・こころ
　A 人として・医学生として
　　1. 人間性
　　2. 態度
　　3. 人間関係
　　4. 一般社会・科学に於ける倫理
　B 医師（医人）として
　　1. 医人としての人間性
　　2. 医人としての態度
　　3. 医人としての人間関係
　　4. 医療の実践における倫理
　　5. 女性医師の資質
Ⅱ 技能・工夫・努力
　A 人と人との信頼
　　1. 人としての基本的コミュニケーション
　　2. 医人としての基本的コミュニケーション
　　3. 医療面接におけるコミュニケーション
　　4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション
　　5. 医療における説明・情報提供
　B 信頼できる情報の発信と交換
　　1. 診療情報
　　2. 医療安全管理

「至誠と愛」の実践学修到達目標全文

I　習慣・マナー・こころ

A 人として・医学生として

1. 人間性

（自分）

1)　生きていることの意味・ありがたさを表現できる。

2)　人生における今の自分の立場を認識できる。

3)　自分の特性や価値観を認識し伸ばすことができる。

（他者の受け入れ）

4)　他の人の話を聴き理解することができる。

5)　他の人の特性や価値観を受け入れることができる。

6)　他の人の喜びや苦しみを理解できる。

7)　温かいこころをもって人に接することができる。

8)　人の死の意味を理解できる。

（自分と周囲との調和）

9)　自分の振る舞い・言動の他者への影響を考えることができる。

10)　他の人に適切な共感的態度が取れる。

11)　他の人と心を開いて話し合うことができる。

12)　他の人の苦しみ・悲しみを癒すように行動できる。

13)　他の人に役立つことを実践することができる。

2. 態度

（人・社会人として）

14)　場に即した礼儀作法で振舞える。

15)　自分の行動に適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。

16)　自分の振る舞いに示唆・注意を受けたとき、受け入れることができる。

17)　自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現し主張できる。

18)　話し合いにより相反する意見に対処し、解決することができる。

（医学を学ぶものとして）

19)　人間に関して興味と関心を持てる。

20)　自然現象・科学に興味と好奇心を持てる。

21)　学修目的・学修方法・評価法を認識して学修できる。

22)　動機・目標を持って自己研鑽できる。

23)　要点を踏まえて他の人に説明できる。

24)　社会に奉仕・貢献する姿勢を示すことができる。

3. 人間関係

（人・社会人として）

25)　人間関係の大切さを認識し、積極的に対話ができる。

26)　学生生活・社会において良好な人間関係を築くことができる。

27)　信頼に基づく人間関係を確立できる。

28)　対立する考えの中で冷静に振舞える。

（医学を学ぶものとして）

29)　共通の目的を達成するために協調できる。

30)　対立する考えの中で歩み寄ることができる。

4. 一般社会・科学に於ける倫理

（社会倫理）

31)　社会人としての常識・マナーを理解し実践できる。

32)　法を遵守する意義について説明できる。

33)　自分の行動の倫理性について評価できる。

34） 自分の行動を倫理的に律することができる。
35） 個人情報保護を実践できる。
36） 他の人・社会の倫理性について評価できる。
（科学倫理）
37） 科学研究の重要性と問題点を倫理面から考え評価できる。
38） 科学研究上の倫理を説明し実践できる。
39） 動物を用いた実習・研究の倫理を説明し実践できる。
40） 個々の科学研究の倫理性について評価できる。

B 医師（医人）として

1. 医人としての人間性

（自己）
1） 健康と病気の概念を説明できる。
2） 医療・公衆衛生における医師の役割を説明できる。
3） 自己の医の実践のロールモデルを挙げることができる。
4） 患者／家族のニーズを説明できる。
5） 生の喜びを感じることができる。
6） 誕生の喜びを感じることができる。
7） 死を含む Bad news の受容過程を説明できる。
8） 個人・宗教・民族間の死生観・価値観の違いを理解できる。

（患者・家族）
9） 診療を受ける患者の心理を理解できる。
10） 患者医師関係の特殊性について説明できる。
11） 患者の個人的、社会的背景が異なってもわけへだてなく対応できる。
12） 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを認識して医療を実践できる。
13） 病者を癒すことの喜びを感じることができる。
14） 家族の絆を理解できる。
15） 親が子供を思う気持ちが理解できる。
16） 死を含む Bad news を受けた患者・家族の心理を理解できる。
17） 患者を見捨てない気持ちを維持できる。

（チーム医療、社会）
18） 医行為は社会に説明されるものであることを理解できる。
19） 医の実践が、さまざまな社会現象（国際情勢・自然災害・社会の風潮など）のなかで行われることを理解できる。

2. 医人としての態度

（自己）
1） 医療行為が患者と医師の契約的な関係に基づいていることを説明できる。
2） 臨床能力を構成する要素を説明できる。
3） チーム医療を説明できる。
4） 患者の自己決定権を説明できる。
5） 患者による医療の評価の重要性を説明できる。
6） 多様な価値観を理解することができる。

（患者・家族）
7） 傾聴することができる。
8） 共感を持って接することができる。
9） 自己決定を支援することができる。
10） 心理的社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。

（Narrative-based medicine, NBM）
11） 患者から学ぶことができる。

12） 患者の人権と尊厳を守りながら診療を行える。
13） 終末期の患者の自己決定権を理解することができる。
14） 患者が自己決定権を行使できない場合を判断できる。
15） 患者満足度を判断しながら医療を行える。＊

（チーム医療、社会）

16） 医療チームの一員として医療を行える。
17） 必要に応じて医療チームを主導できる。＊
18） クリニカル・パスを説明できる。
19） 医療行為を評価しチーム内の他者に示唆できる。＊
20） トリアージが実践できる。
21） 不測の状況・事故の際の適切な態度を説明できる。
22） 事故・医療ミスがおきたときに適切な行動をとることができる。＊
23） 社会的な奉仕の気持ちを持つことができる。
24） 特殊な状況（僻地、国際医療）、困難な環境（災害、戦争、テロ）でチーム医療を実践できる。＊

3. 医人としての人間関係

（自己）

1） 患者医師関係の歴史的変遷を概説できる。
2） 患者とのラポールについて説明できる。
3） 医療チームにおける共（協）働（コラボレーション）について説明できる。

（患者・家族）

4） 医療におけるラポールの形成ができる。
5） 患者や家族と信頼関係を築くことができる。
6） 患者解釈モデルを実践できる

（チーム医療、社会）

7） 患者医師関係を評価できる。
8） 医療チームメンバーの役割を理解して医療を行うことができる。
9） 360 度評価を実践できる。＊

4. 医療の実践における倫理

（自己）

1） 医の倫理について概説し、基本的な規範を説明できる。
2） 患者の基本的権利について説明できる。
3） 患者の個人情報を守秘することができる。
4） 生命倫理について概説できる。
5） 生命倫理の歴史的変遷を概説できる。
6） 臨床研究の倫理を説明できる。

（患者・家族）

7） 医学的適応・患者の希望・QOL・患者背景を考慮した臨床判断を実践できる。
8） 事前指示・DNR 指示に配慮した臨床判断を実践できる。＊

（チーム医療、社会）

9） 自分の持つ理念と医療倫理・生命倫理・社会倫理との矛盾を認識できる。
10）自己が行った医療の倫理的配慮を社会に説明できる。
11）臨床研究の倫理に基づく臨床試験を計画・実施できる。＊
12）医療および臨床試験の倫理を評価できる。＊

5. 女性医師の資質・特徴

（自己）

1） 東京女子医科大学創立の精神を述べることができる。
2） 女性と男性の心理・社会的相違点を説明できる。

3） 女性のライフ・サイクルの特徴を説明できる。
4） 女性のライフ・サイクルのなかで医師のキャリア開発を計画できる。
（患者・家族）
5） 同性の医師に診療を受けることの女性の気持ちを理解する。
6） 異性の医師の診療を受ける患者心理（恐怖心・羞恥心・葛藤）を説明できる。
7） 女性が同性の患者教育をする意義を説明できる。
（チーム医療、社会）
8） 保健・公衆衛生における女性の役割を述べることができる。
9） 女性組織のなかでリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
10） 男女混合組織の中でリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
11） 女性医師としての保健・公衆衛生の役割を実践できる。＊

Ⅱ 技能・工夫・努力

A 人と人との信頼

1. 人としての基本的コミュニケーション

（自己表現）
1） 挨拶、自己紹介ができる。
2） コミュニケーションの概念・技能（スキル）を説明できる。
3） 言語的、準言語的、および非言語的コミュニケーションについて説明できる。
4） 自分の考え、意見、気持ちを話すことができる。
5） 様々な情報交換の手段（文書・電話・e メールなど）の特性を理解し適切に活用ができる。
（対同僚・友人・教員）
6） 年齢・職業など立場の異なる人と適切な会話ができる。
7） 相手の考え、意見、気持ちを聞くことができる。
8） 同僚に正確に情報を伝達できる。
9） 他の人からの情報を、第 3 者に説明することができる。

2. 医人として基本的コミュニケーション

（対患者・家族）
1） 患者に分かりやすい言葉で説明できる。
2） 患者と話すときに非言語的コミュニケーション能力を活用できる。
3） 患者の状態・気持ちに合わせた対話が行える。
4） 患者の非言語的コミュニケーションがわかる。
5） 小児・高齢の患者の話を聞くことができる。
6） 障害を持つ人（知的・身体的・精神的）の話を聞くことができる。
7） 家族の話を聞くことができる。
8） 患者・家族の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。
（対医療チーム・社会）
9） チーム医療のなかで、自分と相手の立場を理解して情報交換（報告、連絡、相談）
ができる。
10） 医療連携のなかで情報交換ができる。
11） 救急・事故・災害時の医療連携で情報交換が行える。＊
12） 社会あるいは患者関係者から照会があったとき、患者の個人情報保護に配慮した適切な対応ができる。

3. 医療面接におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1) 自己紹介を含む挨拶を励行できる。
2) 基本的医療面接法を具体的に説明し、実践できる。
3) 患者の人間性（尊厳）に配慮した医療面接が行える。
4) 患者の不安な気持ちに配慮した医療面接を行える。
5) 共感的声かけができる。
6) 診察終了時に、適切な送り出しの気持ちを表現できる。
7) 適切な環境を設定できる。

（高次的技能）

8) 小児の医療面接を行える。
9) 高齢者の医療面接を行える。
10) 患者とのコミュニケーションに配慮しながら診療録を記載できる。

4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1) 身体診察・検査の必要性とそれに伴う苦痛・不快感を理解して患者と接することができる。
2) 身体診察・検査の目的と方法を患者に説明できる。
3) 説明しながら診察・検査を行うことができる。
4) 患者の安楽に配慮しながら診察・検査ができる。
5) 診察・検査結果を患者に説明できる。

（高次的技能）

6) 患者の抵抗感、プライバシー、羞恥心に配慮した声かけと診察・検査の実践ができる。
7) 検査の目的・方法・危険性について口頭で説明し、書面で同意を得ることができる。

5. 医療における説明・情報提供

（基本的技能）

1) 医療における説明義務の意味と必要性を説明できる。
2) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。
3) 患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。
4) 説明を行うための適切な時期、場所と機会に配慮できる。
5) 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
6) 患者に診断過程の説明を行うことができる。
7) 患者に治療計画について説明を行い、相談して、同意を得ることができる。
8) 患者に医療の不確実性について説明することができる。
9) 患者に EBM（Evidence Based Medicine）に基づく情報を説明できる。
10) セカンドオピニオンの目的と意義を説明できる。

（高次的技能）

11) 患者の行動変容に沿った説明・情報提供ができる。
12) 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。
13) 患者の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。＊
14) 患者の受容に配慮した Badnews の告知ができる。＊
15) 家族の気持ちに配慮した死亡宣告を行うことができる。＊
16) 家族の気持ちに配慮した脳死宣告を行うことができる。＊
17) 特殊な背景を持つ患者・家族への説明・情報提供ができる。＊
18) セカンドオピニオンを求められたときに適切に対応できる。＊
19) 先進医療・臓器移植について説明を行い、同意を得ることができる。＊
20) 臨床試験・治験の説明を行い、同意を得ることができる。＊

B 信頼できる情報の発信と交換

1. 診療情報

（基本的技能）

1） POMR に基づく診療録を作成できる。

2） 診療録の開示を適切に行える。

3） 処方箋の正しい書き方を理解している。

4） 診療情報の守秘を実践できる。

（高次的技能）

5） 病歴要約を作成できる。

6） 紹介状・診療情報提供書を作成できる。

7） 医療連携のため適切に情報を伝達できる。

8） 診療情報の守秘義務が破綻する場合を説明できる。

2. 医療安全管理

（基本的技能）

1） 医療安全管理について概説できる。

2） 医療事故はどのような状況で起こりやすいか説明できる。

3） 医療安全管理に配慮した行動ができる。

4） 医薬品・医療機器の添付資料や安全情報を活用できる。

（高次的技能）

5） 医療事故発生時の対応を説明できる。

6） 災害発生時の医療対応を説明できる。

「至誠と愛」の実践学修の概要

【６本の柱】

(1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
(3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ
(4) 医療人としての倫理―解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）
(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）
(6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

Ｓ１：「至誠と愛」の実践学修１		６本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	・「至誠と愛」の実践学修オリエンテーション	○	○	○	○	○	○
	・学長講義「学長との対話」	○	○			○	○
	・医学生としての矜持	○	○			○	○
	・キャリアを考える						
	(1)「医学の学び方」		○	○			○
実習	(2)「シミュレーション教育」	○					
講義	・社会規範教育（1)「総論」	○	○	○	○	○	○
	・コミュニケーション	○					
	(1)「乳幼児の身体と心の成長と発達」	○					
	(2)「高齢者の心とからだを知る」	○					
	(3)「マナー研修　総論」	○					
	・医療倫理原則						
	(1)「生と死の倫理的問題」				○		
	(2)「インフォームドコンセント/アセント」	○	○		○		
	・生命倫理の基礎：生命と「いのち」・人と人間を考える				○		
	・行動科学(1)「人の心理と行動」	○					
	・自省と気付き（1)「「プロフェッショナル～医師になるということ～」」		○				
	・チーム医療(1)「医師の役割と医療の実際」	○	○	○			
行事	・吉岡彌生記念講演会		○				○

Ｓ２：「至誠と愛」の実践学修２		６本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	・医とは何か		○	○			○
	・キャリアを考える						
	(3)「アントレプレナーシップ教育」	○	○	○			
	(4)「再生医療を学ぶ」	○	○	○			
実習	・ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」	○					
	・コミュニケーション(3)「マナー研修　実践」	○					
	・チーム医療						
	(2)「医師の役割と医療の実際　病院実習」	○	○	○			
講義	(3)「看護実践の原理とチーム医療」	○	○				
実習	(4)「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」	○		○			

セグメント３以降へ続く

セグメント２

Ⅰ　講　義　「医」とは何か　　中神 朋子

医（Medecine）とは、病気を治したり防いだりして健康を保つ行為、あるいはそのための学問や技術であると言われます。しかし、病気とは一体何なのでしょうか、健康とはどのような状態のことなのでしょうか、病気を治す、あるいは病気を防ぐとは、どういうことなのでしょうか。これらの一見解りきったようなことも、改めて問い直してみると、答えを見出すのは簡単ではありません。これらの問題について、皆さんと一緒に改めて考えてみたいと思います。

Ⅱ　講　義　キャリアを考える（3）「アントレプレナーシップ教育」　朝日 透

Ⅲ　講　義　キャリアを考える（4）「再生医療を学ぶ」　　清水 達也

目の前の患者の治療が重要であることは言うまでもない。しかし、未来の患者の治療のための研究も同様に重要であることを理解してほしい。新しい医療はどこかの誰かが作ってくれるものではなく、すべての医師、医療関係者がその開発に関与していることを認識すべきである。講義では、私自身が開発にたずさわり、臨床応用に成功した再生医療を題材に、新規治療技術の開発と臨床応用がどれだけのエネルギーを要するものであるかを概説する。一方、このような体験は何物にも代え難い貴重なものであることも同時に伝えたい。

Ⅳ　講　義　チーム医療（3）「看護実践の原理とチーム医療」　見城　道子

医学部生の「至誠と愛」の実践学修において、医療を受ける患者や家族だけではなくチーム医療を共に推進していく他職種に関する理解を深めることは極めて重要な課題の一つである。本講義では、患者の最も身近でケアを行っている看護師の役割や看護の方法を理解するために看護実践の原理を概説し、かつ地域包括ケアの推進される現代におけるチーム医療の基本的考え方を確認したい。

大　項　目	中　項　目	小　項　目
Ⅰ医とは何か？	1. 病気と健康	1）病気の定義
	2. Medicine	2）健康の定義
		3）Medicine の定義
	3. 医師という職業	1）「ヒポクラテスの誓い」
		2）医の倫理綱領
		3）人類への愛
	4. 彌生先生を学ぶ	1）彌生先生の半生
		2）建学の精神の理解
		3)東京女子医科大学の学生としての自覚の高揚
		4)医師を目指すモチベーションの再確認
Ⅱキャリアを考える (3)アントレプレナーシップ教育		
(4)再生医療を学ぶ	1.新規治療技術開発の意義	1）代表的な組織幹細胞
		2）ES 細胞、iPS 細胞
	2.幹細胞	1）組織工学手法
		2）新規治療技術の開発のヒント

	3.組織工学 4.再生医療	1）細胞シート治療 2）再生医療技術の応用展開
Ⅲチーム医療（3）	1.看護実践の原理 2. 看護実践と チーム医療	1）学問としての看護 2）看護学の理論 3）目的論 4）対象論 5）方法論：看護過程、看護管理、継続看護 1）地域基盤の看護：地域包括ケアシステム 2）看護活動の場の広がり 3）保健医療福祉活動に関わる職種とチーム構成 4）多職種との連携・協働の必要性と方法 5）保健医療福祉活動と看護の役割：退院支援

Ⅰ　実　習　ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」

浦瀬 香子、廣田 恵子、辻野 賢治、大坂 利文

主　旨

将来医師となったときには年齢、職業、生活環境などが異なる様々な人々と接することになるが、どんな相手とであってもうまくコミュニケーションをとり、信頼を得ていかねばならない。その第一歩として、「ハンディキャップを持つ人とのコミュニケーション」実習をセグメント 2 で実施する。

方　法

1）体験実習ガイダンス：8 月 25 日（月）3 時限
　実習方法、注意点などの確認。実習に向けての直前準備。
2）実習 8 月 29 日（金）、9 月 9 日（火）

大　項　目	中　項　目	小　項　目
Ⅰハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」	1.ハンディキャップ体験実習 2.グループ討論における態度、振舞 3.レポートの作成	1）安全に配慮した実習の実施 2）身体障害者や高齢者の状態の体験 3）身体障害者や高齢者の心理の理解 4）身体的苦痛への配慮 5）日常生活では気付かないことへの気付き 1）自己の実習内容のグループへの発表と共有 2）実習前後の自己評価 3）実習に対する評価、改善への提案 1）所定の書式に沿ったレポートの作成 2）内省と考察

Ⅱ　実　習　　チーム医療（2）「医師の役割と医療の実際　病院実習」

西井明子、松本卓子、菊池規子、石垣景子、土井範子、他

主　旨

医師は医療現場でどのような業務を行っているのか、他職種と連携し医療チームとして診療に当たるにはどのような工夫をしているのかを、実際に臨床現場で医師の仕事を見ることで学ぶ。

方　法

病院での医師シャドーイング実習と振り返り

全体スケジュール

1）体験実習ガイダンス：8 月 25 日（月）　4 時限
　実習方法、注意点などの確認。実習に向けての直前準備。
2）実習 8 月 29 日（金）、9 月 9 日（火）
　1,2 限 実習　3,4 限 振り返り、グループ発表

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅱ医師の役割と医療の実際　病院実習	1. 病院シャドーイング実習	1）医師の仕事の見学 2）他職種との協働がどのように行われているかを、臨床現場で見て学ぶ
	2. 振り返り（グループディスカッション・発表）における態度、発言	1）自己の実習内容のグループへの発表と共有 2）実習前後の自己評価 3）グループ発表 4）実習に対する評価、改善への提案
	3. レポートの作成	1）所定の書式に沿ったレポートの作成 2）内省と考察

Ⅲ　実　習　　コミュニケーション（3）「マナーの実践」

日野原眞紀、辻村貴子、横田仁子

主　旨

「ビジネスマナー」とは、社会人が仕事をするうえで、良い人間関係を築くため、人との関係をスムーズに保つための心得だが、学生にとっても社会生活をおくるうえで、最低限のマナーを身につける必要がある。マナーとは「心」であり、いつも相手の気持ちを思いやることが大切で、特に医師は、患者・患者家族の立場となり、適切な身だしなみや態度、言葉遣いなどで、信頼や安心感を与えることが重要となってくる。
また、マナーは「ルール」とは違い、マナーの基本を知ったうえで、その場所や状況に応じて、臨機応変に対応することも大切である。
以上の点を踏まえ、マナーの基本をロールプレーの体験を通して学んでいく。

目　的

1）大学生の常識として、良い人間関係を築くためのマナーを実践を通して、学ぶ
2）相手の立場や気持ちを受け入れ、尊重したうえで、必要な態度や言葉遣いを学ぶ。
3）対面や電話で、正確かつ適切に情報や意図を伝えるマナーを学ぶ。

方　法
全体スケジュール
　1）　3限 12：30～13：40
　2）　4限 13：55～15：05
2グループに分かれ、マナーの実践と、Eメールのマナーについて学ぶ。

実習の流れ

大項目	中項目	小項目
コミュニケーション・マナーの実践	1.マナーのポイント	1）思いやり 2）臨機応変 3）挨拶 4）お辞儀
	2.コミュニケーションの取り方	1）話の聞き方 2）好印象を与える話し方
	3.電話応対	1）電話の受け方 2）電話のかけ方 3）電話の取次ぎ方 4）携帯電話のマナー 5）クレーム電話の応対
	4.Eメールのマナー	1）Eメールのメリット 2）Eメールのデメリット 3）基本の書き方
	5.慶弔のマナー	

Ⅳ　実　習　　チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」

（医学部）浦瀬香子、廣田恵子、辻野賢治、辻村貴子、大坂利文
中村裕子、山口俊夫、石井泰雄、伊豆原郁月、土井範子
（看護学部）駒形朋子
（看護部）〈本院〉出口香緒利

主　旨

医学部生の「至誠と愛」の実践学修において、医療を受ける患者や家族だけではなくチーム医療を共に推進していく他職種に関する理解を深めることは極めて重要な課題の一つである。本実習では、患者の最も身近でケアを行っている看護師のシャドウイングを通じて、看護師の役割や業務を理解し、かつチーム医療の意義と重要性を学ぶ。さらに入院中の患者や家族のニーズや体験している世界を、インタビュー等を通じて医療を受ける側の視点で理解し、患者中心の医療に必要なものは何かを考える。

目　的

1. 看護師のシャドウイングおよび看護業務の一部を実践することを通して、患者や家族および医師にとって看護師とはどういう存在か、その立場や役割を理解する。
2. 病棟で実践されている「患者中心の医療を推進していくためのチーム医療」を体感することで、その意義と重要性を認識するとともに、チーム医療の現状と課題を検討する。
3. 患者や家族との関わりやインタビューを通して、それぞれのニーズや体験している世界を理解するとともに、人間関係を構築するための基本を体験的に学ぶ。

方　法

1. チーム医療（３）「看護実践の原理とチーム医療」の講義の中で、看護師の仕事の実際や役割、チーム医療の基本的考え方を理解する。また、ガイダンス講義で実習に際しての態度や注意事項を確認する。
2. 上記の実習の目的を達成するための「自分の行動目標」を設定し、実習ハンドブック内の行動

目標記録に記入する。

3. 東京女子医科大学病院で実習を行う。担当看護師に原則としてマンツーマンでシャドウイングを行い、可能な範囲で看護業務の一部を実践する。また、患者や家族へのインタビューを行い、医師・看護師・その他の医療従事者とも可能な範囲で関わりインタビューを行う。
4. 病棟実習の後に、異なる病棟で実習を行った学生から構成される少人数のグループで討論を行い、病棟実習でのそれぞれの体験を他のグループメンバーと共有し実習内容のまとめをする。
5. 実習のレポート作成およびアンケート回答を行い、期日までに定められた方法で提出する。

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
チーム医療 1) 看護の仕事の実際 2) 看護師の役割と看護の実際 病棟実習	1. 看護師の仕事の理解	1) 患者や家族に対する看護師の立場と役割の理解 2) 患者や家族に対する看護ケアの理解と一部の実施
	2. チーム医療	1) チーム医療の意義と重要性 2) チーム医療を構成する職種の理解 3) 医師・看護師・他の職種から捉えるチーム医療
	3. 対象理解と人間関係	1) 患者や家族の立場の理解 2) 患者や家族の体験している世界とニーズの理解 3) 学生の自己開示と人間関係の確立 4) 人間関係における自己の特徴の理解 5) 対象に接する際の礼儀や作法の実施 6) 温かい心をもって接すること
	4. 行動目標	1) 実習目的達成のための行動目標の設定 2) 行動目標達成の振り返り
	5. 体験の共有とまとめ	1) 実習における自己の体験を発表 2) メンバーの発表への関心と傾聴 3) 意見や感想を適切にフィードバック 4) 学んだことの共有と課題に関する討議

科目名
国際コミュニケーション
科目責任者(所属)
長坂　安子

到達目標
将来医療人として国際的に活躍できる人材を育成するために医学英語の基礎を学び、また国際化する国内の医療現場での対応能力の育成をも視野に入れ、英語というツールを自在に運用できる能力の養成をめざしている。単に英語を運用できるということにとどまらず、異なる文化的背景を持つ人の倫理観・社会観・死生観についての理解を伴う異文化コミュニケーション能力を備えた全人的医療人の育成を目標とする。 セグメント1　国際コミュニケーション到達目標及び概要 主に会話能力の向上を目指すオーラル・コミュニケーション（以下OC）と、リーディングおよびリスニングに重点をおいたコースがある。【到達目標】 OCコースでは、学生が聞き手、話し手になるように具体的な言語の使用場面を設定してコミュニケーション活動を行う。従って、以下のことを修得目標とする。 1.病院内外のさまざまな場面で英語を使うための知識と自信を身につける。 2.患者さんに何科に行けばいいのか、またそこまでの道順を英語で伝えることができるようになる。 3.患者さんに病院でどのような処置が必要なのかを英語で説明できるようになる。 4.身体の主な部位の英語での名称と、病気や症状の表現を修得する。 リーディング・リスニングコースでは、職業人として医師の人格形成に資する社会科学系の教養を、英語を通して学修する。以下のことを修得目標とする。 1.文の大意を推測する能力を身につける。英文の聴解、読解できない要素に遭遇しても文脈から推測する力を養う。 2.世界観を広げ英語のみならず文化的認識と異文化理解能力を身につける。 二つのコースを通して、医療の国際化に対応できる医師を育成するための英語の基礎的能力を養うことを目標としている。 セグメント2　国際コミュニケーション到達目標及び概要 主に会話能力の向上を目指すオーラル・コミュニケーション（以下OC）と、リーディングおよびリスニングに重点をおいた授業がある。 【到達目標】 OCでは、学生が聞き手、話し手になるように具体的な言語の使用場面を設定してコミュニケーション活動を行う。従って、以下のことを修得目標とする。 1.病院内外のさまざまな場面で英語を使うための知識と自信を身につける。 2.患者さんに何科に行けばいいのか、またそこまでの道順を英語で伝えることができるようになる。 3.患者さんに病院でどのような処置が必要なのかを説明できるようになる。 4.身体の主な部位の英語での名称と、病気や症状の表現を修得する。 リーディング・リスニングでは、職業人として医師の人格形成に資する社会科学系の教養を、英語を通して学修する。以下のことを修得目標とする。 1.文の大意を推測する能力を身につける。英文の聴解、読解できない要素に遭遇しても文脈から推測する地力を養う。

2.世界観を広げ英語のみならず文化的認識と異文化理解能力を身につける。
二つのコースを通して、医療の国際化に対応できる医師を育成するための英語の基礎的能力を養うことを目標としている。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

セグメント1、セグメント2共通

自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
他者を尊重して対話ができる。	II-1-D-(1-2)-②
学修上の目標を設定することができる。	II-2-A-(1-2)-①
学修のための時間を適切に自己管理できる。	II-2-C-(1-2)-②
自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	II-2-D-(1-2)-①
真摯に学びを励行できる。	II-2-D-(1-2)-②
セグメント2のみ	
学んだことを他者に説明できる。	II-5-B-(1-2)-②

学修（教育）方法

セグメント１
一学年を半数ずつの二つのグループA・Bに分ける。１限にAのグループがListening & Speaking(L&S)コースを受講している間、BグループはReading & Writing (R&W)の授業を受講する。L&Sクラスは５～7名の小クラスに分け、学修効果が高い少人数システムをとる。Reading & Writingコースは１クラス50～55人クラスで行う。２限はコースが入れ替わる。授業外でも英語に触れることを習慣化するため、English Centralを隙間時間にする。

セグメント２
一学年を半数ずつの二つのグループA・Bに分ける。１限にAのグループがListening & Speaking(L&S)コースを受講している間、BグループはReading & Writing (R&W)の授業を受講する。L&Sクラスは５～7名の小クラスに分け、学修効果が高い少人数システムをとる。Reading & Writingコースは１クラス50～55人クラスで行う。２限はコースが入れ替わる。授業外でも英語に触れることを習慣化するため、English Centralを隙間時間にする。

評価方法
(1)総括的評価の対象

セグメント1・セグメント2の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価する。具体的には上記到達目標の達成度を、授業への参加度、試験、スピーチ、English Centralの学修状況により総合的に判断し、全ての総合点(100 点満点)で 60点以上を合格とする。

評価方法
(2)評価項目

セグメント1、セグメント2共通

1)少人数グループで英語での意見交換やディスカッションができる。	LL-01-01-02,LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03
2) 自分の考えを英語で論理的に表現することができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04
3) 国際コミュニケーションに不可欠な基礎英語力の定着及び応用力の向上が見られる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03
4) １年間を通してe-learningを自主的に継続的に行うことができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03
5) 欠席、遅刻をせず、積極的に授業に参加することができる。	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03

6) 随時出される課題を期日迄にきちんと提出できる。 LL-01-01-02
セグメント2のみ
7) パラグラフライティングなどを含め基礎的な英文書類作成ができる。 GE-01-04-04

評価方法
(3)評価基準

Listeing & Sepaking とReading & Wrting をそれぞれ1:1で算出し、合算する。Listening & Seaking S1 の内訳：
1) 出席・参加度 20 %
2) e-learning 20%
3) 教科書ベースの課題 40%
4) 教科書外の課題 20%

Reading & Writing S1の内訳：
1) 出席 10%
2) 参加度（振返り記入) 20%
3) 課題 20%
4) Unitテスト30%
5)期末テスト20%

Listening & Speaking のS2の内訳：
1) 出席・参加度20%
2) e-learning 20%
3)教科書外の課題 20%
4)教科書ベースの課題10%
5) スピーチドラフト 15 %
6) スピーチプレゼンテーション15%

Reading & Writing のS2の内訳：
1) 出席 10%
2) 参加度（振返り記入) 20%
3) 課題 30%
4) Unitテスト20%
5) 期末テスト20%

セグメント１とセグメント2を合わせ通年で評価する。
S(100～90%）当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる。
A(89～80%) 当該科目の目標を十分に達成していると認められる。
B(79～70%) 当該科目の目標の基幹部分は達成しているものと認められる。
C(69～60%) 当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる。
D(59～０%) 当該科目の目標に及ばない。
C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

１週間に一度しかない英語の授業を受講するだけでは、英語力を向上させたり、維持したりすることは難しいです。授業外でも日頃から英語に触れることが重要です。隙間時間を利用してEnglish Centralを積極的に活用してください。

実務経験

○	大学病院の麻酔科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『セグメント1』			
2.	『Vital Signs (Revised)』	Vivian Morooka / Terri Sugiura	南雲堂 2018	9784523178682
3.	『Global Perspectives in the English-Speaking World: Past and Present』	JA Kusaka/ Jasse Elam/ Dax Thomas	松柏社 2022	9784881987766
4.	『セグメント2』			
5.	『Vital Signs (Revised)』	Vivian Morooka / Terri Sugiura	南雲堂 2018	9784523178682
6.	『Global Perspectives in the English-Speaking World: Past and Present』	JA Kusaka/ Jasse Elam/ Dax Thomas	松柏社 2022	9784881987766

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/14 (月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	国際コミュニケーション授業のオリエンテーション			
	担当者（所属）	長坂　安子 佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				1

2.	2025/04/16 (水)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	（講義）医療分野での英語使用の実際: 国際的に活躍する医療人像			
	担当者（所属）	北原　秀治 佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/16 (水)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	（講義）医療分野での英語使用の実際: 国際的に活躍する医療人像			
	担当者（所属）	佐藤　明可 岡野　龍介 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-05-02-01,SO-05-02-02,SO-05-02-03,RE-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/16 (水)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	Placement Test			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/04/16 (水)	４時限	講義	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	Placement Test			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/23(水)	１時限	講義	大実習室 3 PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	e-learning ガイダンス・登録／オンライン授業のオリエンテーション／英文書式、英文メールの書き方（演習）			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/04/23(水)	２時限	講義	大実習室 3 PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	e-learning ガイダンス・登録／オンライン授業のオリエンテーション／英文書式、英文メールの書き方（演習）			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/05/07(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18	09:00-10:10

				テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/05/07 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室	10:25-11:35

				19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/05/14(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19	09:00-10:10

				テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/05/14(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室	10:25-11:35

				20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/05/21(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室17 テュートリアル室18 テュートリアル室19 テュートリアル室20	09:00-10:10

				テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/05/21(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室	10:25-11:35

				21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/05/28 (水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21	09:00-10:10

				テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/05/28 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室	10:25-11:35

				22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/06/04 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22	09:00-10:10

				テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/06/04 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室	10:25-11:35

				23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/06/11(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室17 テュートリアル室18 テュートリアル室19 テュートリアル室20 テュートリアル室21 テュートリアル室22 テュートリアル室23	09:00-10:10

				テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/06/11 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室	10:25-11:35

				24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/06/18(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24	09:00-10:10

				テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2025/06/18(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室	10:25-11:35

				25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2025/06/25(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25	09:00-10:10

				テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2025/06/25(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室	10:25-11:35

				26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/07/02(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26	09:00-10:10

				テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/07/02(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室	10:25-11:35

				27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/07/09(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27	09:00-10:10

				テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/07/09(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室	10:25-11:35

				28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/08/27(水)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	(講義) 英文書式作成の基礎、アカデミックライティング			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/08/27(水)	２時限	講義	PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	(講義) 英文書式作成の基礎、アカデミックライティング			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03			

	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/09/03(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				30

3 1.	2025/09/03 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				31

32.	2025/09/10 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2025/09/10 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302	10:25-11:35

				大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2025/09/17(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17	09:00-10:10

				テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2025/09/17(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室	10:25-11:35

				19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/09/24 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20	09:00-10:10

				テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2025/09/24(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室	10:25-11:35

				22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/10/01(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23	09:00-10:10

				テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/10/01 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室	10:25-11:35

				25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2025/10/08(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26	09:00-10:10

				テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2025/10/08(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室	10:25-11:35

				28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2025/10/15(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29	09:00-10:10

				テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
4 3.	2025/10/15 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35

	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
4 4.	2025/10/22 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2025/10/22(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			

		ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2025/10/29(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ			

		ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2025/10/29(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Medical English	Reading & Writing; Listening & Speaking		

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2025/11/05(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2025/11/05(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2025/11/12(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
5 1.	2025/11/12 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2025/11/19(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
5 3.	2025/11/19 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2025/11/26(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
5 5.	2025/11/26 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
5 6.	2025/12/03 (水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
5 7.	2025/12/03 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2025/12/10(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2025/12/10(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2025/12/12(金)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	TOEFLテスト			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ 大野　純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2025/12/12(金)	４時限	講義	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	TOEFLテスト			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ 大野　純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2026/01/07(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302	09:00-10:10

	タイトル	Speech Contest 1			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2026/01/07(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302	10:25-11:35
	タイトル	Speech Contest 1			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2026/01/14(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302	09:00-10:10
	タイトル	Speech Contest 2			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2026/01/14(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302	10:25-11:35
	タイトル	Speech Contest 2			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				65

〔国際コミュニケーション〕

科目責任者：長坂　安子（麻酔科学）
講義担当者：佐藤　明可　他
（統合教育学修センター基礎教育学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．英語運用能力の基礎と応用	1．日常生活の状況に即した適切な英語運用能力 2．発信型英語運用演習	1）少人数のグループで英語母語話者の講師との双方向コミュニケーション演習 2）自分の考えを英語で論理的に表現する演習 3）Speech Presentation の演習
Ⅱ．英語４技能の総合力の向上	1．英語で発信されたものから情報を得ることができる 2．英語で発信することができる	1）Youtubeなどで発信される生の英語やテキストに付随する音声を聴いて自然な英語に慣れる 2）自分の持っている情報や考えを英語で他者に伝えることができる
Ⅲ．継続的自己学修の実施	1．English Central を通して、自己学修を習慣化	1）１年間を通してEnglish Centralを自主的に行い、語彙力増強を図るとともに、総合的な英語力向上を目指すことを習慣化
Ⅳ．英語アカデミック・ライティングの養成	1．Speech原稿の書き方	1）Introduction の書き方 2）Topic Sentence, Thesis Statement の選定 3）Supporting Sentences の書き方 4）Conclusion の書き方 5）フォーマット、punctuationの学修

科目名

基本的・医学的表現技術

科目責任者(所属)

木林　和彦

到達目標

言葉および文書で自分の表現したいこと・表現すべきことを的確に把握し表現する能力を養う。医師として、患者自身に全人的な関心を持ち患者の状態を表現し共有するために診療録、患者要約、診療情報提供書を記載すること、患者のニーズを把握しチームで適切な検査治療が行われるように処方箋・検査依頼書を作成すること、各種診断書を正確に作成できることを目標とする。また、医学研究のための研究計画書、論文と症例報告が作成できること、プレゼンテーションができることも目標とする。

1・2学年では、大学生として基本的な読解力および文章力、学び・気づき・変容を省察し表現する技能を学ぶ。社会人として多様なケースで多様な他者と目的に応じた関係性を構築し、当初の目的達成を目指し関係を維持するための応答技能、前提や情報等を共有している人・していない人に説明する技能等、生涯学修につながる学びの基盤となる一般的表現技術を習得する。学年の進行とともに専門的表現技術を習得する。

セグメント1 では、前半部分で大学生として基本的な読解力および文章力、学び・気づき・変容を省察し表現する技能の習得を目指し、後半部分で理系学問を学ぶ大学生として基本的に求められる表現技術の基礎的技能の習得を目指す。

セグメント２では、科学的実験の記録方法、医療関係講演の記録方法、医学情報の伝達と説明に必要な基本的表現技術、基礎医学（機能系・形態系）に関する基本的表現技術の習得を目指す。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

セグメント1

データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③
相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
学んだことを他者に説明できる	Ⅱ-5-B-(1-2)-②

セグメント2

データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③

真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
学んだことを他者に説明できる	Ⅱ-5-B-(1-2)-②

学修（教育）方法

講義、教員レクチャー後の演習、フィードバックのほか、アクティブラーニング（小グループディスカッション、グループワーク）を含む

評価方法
(1)総括的評価の対象

セグメント1・2における講義の出席とレポートの提出を3分の1、筆記試験による試験結果を3分の2の割合として評価する。筆記試験はセグメント2終了時に行う。ただし、筆記試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が筆記試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

セグメント1

1)患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する (利益相反等)。	PR-01-01-01
2)他者からのフィードバックを適切に受け入れる。	PR-01-02-02
3)自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
4)人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
5)得られたエビデンスの批判的吟味ができる。	GE-01-04-04
6)学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
7)自身の関心を問いにすることができる。	RE-03-01-01
8)情報・科学技術を用いて収集した情報およびデータを基に問題解決を図る。	IT-02-01-02

セグメント2

1)自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
2)捏造、改ざん、盗用等を含め研究不正の類型を説明することができ、研究不正を行わない。	RE-05-01-01
3)答えのない問いについて考え続ける。	PR-03-01-02
4)生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。	PR-04-01-01
5)個々の患者の医療への期待、解釈モデル、健康観を聞き出すことができる。	GE-01-03-01
6)言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。	CM-01-01-01
7)患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	CM-01-01-03
8)患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	CM-01-02-02
9)何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
10)発表の場に応じて読者・聴衆にわかりやすく研究内容をプレゼンテーションできる。	IRE-04-01-02
11)自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。	P-02-01-01

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

必要に応じて講義内にてレクチャー後に演習を行う。講義中に行う演習については、講義時間内もしくは演習レポートの返却時に必要に応じてフォードバックを担当教員が行う。

実務経験

○	医学・医療での教育と実務の経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『セグメント1』			
2.	『理科系の作文技術（中公新書 624）』	木下是雄	中央公論社 2002	4121006240
3.	『大学生と留学生のための論文ワークブック』	浜田麻里	くろしお出版 1997	4874241271
4.	『だれも教えなかった論文・レポートの書き方』	阪田せい子	総合法令出版 1998	9784893465863
5.	『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』	松本茂	玉川大学出版部 2015	9784472405136
6.	『サイエンス・ライティング入門』	落合洋文	ナカニシヤ出版 2007	9784779501395
7.	『セグメント2』			
8.	『理科系の作文技術（中公新書 624）』	木下是雄	中央公論社 2002	9784121006240
9.	『化学を学ぶ人のレポート・論文・発表マスターガイド』	今田泰嗣・大嶋孝志・廣瀬敬治	化学同人 2010	9784759812909
10.	『サイエンス・ライティング練習帳』	落合洋文	ナカニシヤ出版 2010	9784779504952

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/14 (月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	基本的・医学的表現技術　オリエンテーション、医学・医療における日本語学習			
	担当者（所属）	木林　和彦			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/15(火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	S1テュートリアルレポートの書き方			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,GE-01-04-04,LL-01-01-02,			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/28(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	自発的な表現と賢く向き合う			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,IT-02-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/05/12(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	大学生としての表現技術の基礎（１）　読解と論理			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,GE-01-04-04,LL-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

5.	2025/05/12 (月)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	大学生としての表現技術の基礎（２）　-新聞記事を素材に-			
	担当者（所属）	辻村　貴子 ゲスト スピーカー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-02-01,GE-01-04-04,RE-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/05/23 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	大学生としての表現技術の基礎（３）　-事実と意見-			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,GE-01-04-04,LL-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/05/23 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科学的表現技術の基礎（１）　-図表の作成-			
	担当者（所属）	辻村　貴子 町田　光世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/05/23 (金)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	科学的表現技術の基礎（２）　-図表に基づく説明文-			

	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/06/04(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	科学的表現技術の基礎（３）　-論理的な文書の作成-			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/06/17(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	総括　-医学的な表現技術に備えて-			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/09/05(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	科学的実験の記録方法-1			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/09/05(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科学的実験の記録方法-2			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/09/16(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	レポート作成時に守るべきこと-1			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/09/16(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	レポート作成時に守るべきこと-2			
	担当者（所属）	中村　佐和子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/10/03(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	医療関係講演の記録方法			
	担当者（所属）	辻村　貴子 ゲスト スピーカー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-02, PR-04-01-01, GE-01-03-01, CM-01-01-01, CM-01-01-03, CM-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/10/30(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	機能系基礎医学の基本的表現技術、文書作成演習			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子 町田　光世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-01-01-02,RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/11/07(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	機能系基礎医学の基本的表現技術、作成文書を用いた情報の伝達と説明			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子 町田　光世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-01-01-02, RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2026/01/05(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	これまでの課題物のフィードバック			
	担当者（所属）	辻村　貴子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2026/01/09(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	形態系基礎医学の基本的表現技術、文書作成演習			
	担当者（所属）	早川　亨			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-01-01, RE-01-01-02, RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2026/01/09(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	形態系基礎医学の基本的表現技術、作成文書を用いた情報の伝達と説明			
	担当者（所属）	早川　亨			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-01-01, RE-01-01-02, RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2026/01/21(水)	２時限	講義	講義室 202 講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	試験（論述試験）			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				21

［基本的・医学的表現技術］

科目責任者：木林　和彦（法医学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．科学的実験の記録方法	1）レポートの形式を把握して作成する	1）目的・原理・方法・結果・考察・参考文献などは適切に書く
		2）目的・原理・方法・結果・考察・参考文献などはそれぞれの形式に則って書く
	2）レポートを書く時の注意点を把握して作成する	1）数値を正確かつ適切に取り扱う
		2）単位を正確かつ適切に取り扱う
		3）用語を正しく用いる
		4）図表を適切に作成する
		5）箇条書き、文章を適切に使い分ける
	3）他の人にわかるように作成する	1）事実と意見を書き分ける
		2）読み手により解釈が異ならない文を書く
		3）正確かつ適切に引用・要約をする
		4）論理的に書く
		5）【結果】図表・グラフにまとめてポイントを押さえて簡潔に書く
		6）【考察・結論】結論を明確に表現する
		7）【考察・結論】事実と意見を区別する
		8）【考察・結論】文献から引用した内容と自分の考察を区別する
		9）推敲する
	4）自分の言葉で書く	1）盗用・剽窃を行わない
Ⅱ．医療関係講演の記録方法	1）記録をとる	1）目的において必要な情報を聞き取り記録する
		2）興味を持ったこと、疑問に思ったことを記録する
		3）自身の立ち位置・ものの見方に自覚的になる
	2）要旨を作成する	1）発言を正確に引用・要約する
		2）事実とそれ以外のものを書き分ける
		3）気付きを書く
		4）今後の課題を書く
		5）具体的に書く
		6）自分の言葉で書く
		7）短時間で重要なことが際立つ構成で書く
		8）倫理的配慮を踏まえて書く

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅲ．基礎医学(機能系･形態系)の基本的表現技術	1)参考書の要点を正確に読みとる	1）既有知識を活用する 2）辞典、資料を活用する 3）要旨を正確に読み取る
	2)医学用語を用いた論理的な文章を短時間で作成する	1）基礎医学での用語使用と表現方法を理解する 2）図表を的確に読みとる 3）医学文書の内容を理解して要旨を作成する
	3)読み手(聞き手)の期待、評価の要点を理解し推敲する	1）目的･読み手(聞き手)･字数(時間)に応じて重要なことが際立つように推敲する 2）用語、表現、文体に配慮し推敲する 3）他の人にとっての理解のしやすさを考慮し推敲する
	4)文書･図表を用いて他の人に説明する	1）文書を用いた説明の方法を理解する 2）図表の効果的な説明の方法を理解する

科目名
健康管理
科目責任者(所属)
横田　仁子

到達目標
医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。 また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても６年間かけけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

１）　自己の認識ができることにより他者をうけいれることができる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅰ-6-B-(5-6)-③, Ⅱ-2-D-(3-4)-①, Ⅱ-2-E-(5-6)-①, Ⅱ-4-A-(3-4)-①, Ⅱ-4-A-(3-4)-②
２）　自分の生活のリズムと食生活を整えることができその方法や必要性を説明できる	
３）　医学部学生のとしての感染管理の必要性を理解した上で実践できる	Ⅰ-6-A-(1-2)-①
４）　リーダーとしてメンバーとしての役割を認識し実践できる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅱ-4-B-(1-2)-③, Ⅱ-4-C-(1-2)-①, Ⅱ-4-C-(1-2)-②, Ⅱ-4-C-(1-2)-③, Ⅱ-4-C-(3-4)-①, Ⅱ-4-C-(3-4)-②
５）　ストレスへの対処方を理解し実践できる	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
６）　病院実習における健康管理を理解し実践できる	Ⅰ-1-C-(3-4)-②, Ⅰ-6-A-(5-6)-①
７）　女性としての心と身体の健康管理について理解し実践できる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅱ-2-C-(1-2)-①
８）　医療従事者としての健康管理について理解し説明できる	Ⅰ-1-C-(3-4)-②, Ⅰ-6-A-(5-6)-①
９）　女性のキャリアと健康について理解できる	Ⅱ-2-C-(1-2)-①, Ⅱ-2-C-(3-4)-②, Ⅱ-2-C-(3-4)-③, Ⅱ-2-E-(3-4)-①, Ⅱ-2-C-(5-6)-①, Ⅱ-2-D-(5-6)-①

10）学生健康管理行事の必要性について理解し実践できる	Ⅰ-1-B-(3-4)-③，Ⅰ-6-A-(1-2)-①，Ⅱ-5-B-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診

評価方法
(1)総括的評価の対象

講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診において、出席や態度で100%評価する。

評価方法
(2)評価項目

自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。	GE-01-02-01
ライフステージやライフイベントの視点で、健康管理と環境・生活習慣改善を検討できる。	GE-03-01-02
成人期と関連する課題（メンタルヘルス、仕事、運動習慣、不妊等に関わる課題）について理解している。	GE-03-04-04
患者の健康観や病いに対する価値観を理解するうえで、健康に関わる知識（定義、健康寿命、健康生成論、ウェルビーイング、QOL、SDH、ICF、UHC等)を活用し、健康問題に対する包括的アプローチが実践できる。	GE-04-01-01
健康の社会的決定要因とアドボカシーの概要について理解している。	GE-04-01-07
自らの心身を大切にできる。	LL-01-02-02
ワクチン予防可能な疾患について理解している(表1)。	PS-03-03-16
職業感染対策（ワクチン接種、針刺切創・体液曝露、結核曝露等）について理解している。	PS-03-03-17
針刺切創、体液暴露等に遭遇した際、適切に対処できる。	CS-05-04-03
学校保健安全法、学校医の役割、学校感染症等、学校保健の意義と概要を理解している。	SO-01-03-06
女性やLGBTQに対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。	SO-04-02-01

評価方法
(3)評価基準

講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診において、出席や態度で100%評価する。

事前・事後学修

-

伝達事項

健康管理行事に理由無く欠席しないこと。

実務経験

○	大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社	ISBN

			下段：出版年	
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曽根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新　行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新　女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	9784907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太朗・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9
9.	『コンサイスガイド　女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社 1999年	4-535-98163-9
10.	『健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康　社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6

関連リンク

1.	日本環境感染学会　医療者関係者のためのワクチンガイドライン第2版	http://www.kankyokansen.org
2.	文部科学省　学校において予防すべき感染症の概説	http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/08/25 (月)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	生活リズムと食生活			

	担当者（所属）	横田　仁子	
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-02-01,GE-01-02-01,GE-03-01-02,GE-03-04-04,GE-04-01-01,GE-04-01-07,LL-01-02-02,PS-03-03-16,PS-03-03-17,CS-05-04-03,SO-01-03-06,SO-04-02-01	
	講義資料番号/連番(LMS)		1

〔健康管理〕

科目責任者:横田　仁子(学生健康管理室)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．身体の健康管理	1.　生活リズムと食生活	1）体内時計と光と食 2）月経周期と体重・食欲の変化 3）ストレスと食行動 4）摂食障害 5）日常生活の工夫 6）食事の摂り方
	2.　感染症対策	1）健診スケジュールとワクチン接種 2）出席停止となる感染症 3）小児4種感染症 4）インフルエンザ 5）ノロウィルス 6）新型コロナウィルス感染症 7）子宮頸がん 8）医学生としての感染対策への責任
	3.　定期健康診断	1）学校保健法と定期健康診断 2）健診の項目 3）結果の判定 4）事後措置 5）健康診断書の利用方法
Ⅱ．大学生のメンタルヘルス	1.　ストレスとストレス対処法	1）ストレスとは 2）ストレスと心身の反応 3）医学部生活でのストレス 4）ストレスコーピング 5）リラクゼーション 6）マインドフルネス
	2.　大学生時代に注意したい精神健康障害	1）適応障害 2）うつ病 3）外傷後ストレス障害 4）医学部カリキュラムと心の危機 a.　解剖実習 b.　CBT,OSCE c.　臨床実習 d.　マッチング e.　国家試験
	3.　リーダー・メンバーとして	1)チームとグループの違い 2)リーダーとは 3)リーダーシップ 4)メンバーの役割 5)クラブ幹部の役割

Ⅲ．女性の健康	1．ライフステージと女性の健康	1）思春期から性成熟期への体の変化 2）若年女性の健康問題 a．やせ b．貧血 c．心身症 d．月経関連症状
	2．女性の健康の心理的要因	1）ストレスと心身の反応 2）自律神経症状 3）バイオレンスと心身への影響 4）対等な関係とは
	3．女性の健康と社会的要因	1）女性の健康に関する時代背景 a．アルマ・アタ宣言 b．男女雇用機会均等法 c．国連女性会議 d．男女共同参画基本法 e．女性活躍推進法 2）健康決定要因の枠組み 3）持続的開発目標（SDGs） 4）ライフサイクルにおける性差別と健康 5）女性医師のキャリア
	4，性差を加味した女性の健康	1）男性に多い疾患と女性に多い疾患 2）ストレス対応と性差

科目名
医療・患者安全学
科目責任者(所属)
清水　優子

到達目標
現代医学における科学的発見により医療成績は大いに改善された一方で、さまざまな研究によりこの医療の発展の陰で患者安全が重大に危険に曝されていることが明らかにされている。医療に関与する全員が患者安全の原則と概念を熟知し、それらの応用に習熟しておくことが不可欠である。 患者安全学では世界標準の患者安全教育カリキュラム（WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版）を基盤として、ヒューマンファクターズ、システム思考、リスク管理から質改善などを通じて「組織人」としての医療者への成長を目標とし、知識・技能・行動・態度に渡って包括的かつ体系的に学んでいく。 一年次（S2)では、患者安全の原則とその意義の理解、ヒューマンファクターズと患者安全の関係性の理解、医療提供システムの複雑性および患者管理にもたらす影響、そしてエラーの本質の理解と患者安全改善方法の理解を目標とする。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
医療安全に必要な配慮を示すことができる。	Ⅰ-1-C-(3-4)-②
現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
仮説を導くことができる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
既知と未知の問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-①
事例から自分の知らないことを発見できる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-①
未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-②
問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-①
複数の問題解決法を考えることができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-②
問題解決結果の妥当性を評価できる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-①
結果に予想される誤差を考えられる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
自己学習の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
他者の意志を聞き出すことができる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-①
他者を尊重して対話ができる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-②
他者の自己決定を理解できる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-③
様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(1-2)-①
学習上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-④
意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-③
他者の話を聴くことができる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-①
対話の中で相手の述べることを要約できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-②

役割分担を確実に実践できる。 Ⅱ-4-C-(1-2)-③

学修（教育）方法

講義、演習

評価方法
(1)総括的評価の対象

講義の出席とレポートの提出および筆記試験により通年で評価する。
レポートは適宜、筆記試験は全ての講義終了後に実施する。

評価方法
(2)評価項目

医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。 IP-02-03-01
基本的予防策（患者確認、ダブルチェック、チェックリスト法、類似名称薬への注意喚起、フェイルセイフ

CS-05-05-01

やフールプルーフの考え方等）を実践できる。
医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、転倒・転落、医療過誤、やってはいけないこと、優れ

CS-05-05-02

た取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析ができる。
個人及び組織における患者安全管理の重要性を理解し、行動できる。 CS-05-06-01
診療録の重要性を理解し、適切に記載し取り扱うことができる。 CS-05-06-02
真摯に疑義に応じることができる。 CS-05-06-03

評価方法
(3)評価基準

講義の出席とレポートの提出を50%，筆記試験による試験結果を50%の割合とし、100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90点以上）A.良く理解している（80点以上90点未満） B.平均的に理解している（70点以上80点未満）C.最低限は理解している（60点以上70点未満） D.理解が不十分である（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって講義・演習や実習（レポートを含む）の際に随時行う。

実務経験

○	大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『WHO 患者安全カリキュラムガイド　多職種版』	世界保健機関著、 (学)東京医科大学訳	2011	9789241501958
2.	『参考図書』			
3.	『これだけは知っておきたいWHO 患者安全カリキュラムガイド』	相馬孝博	メディカ出版 2013	9784840445245
4.	『医療におけるヒューマンエラー（第2版）』	河野龍太郎	医学書院 2014	9784260019378

関連リンク

1.	東京医科大学医学教育学分野　WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版について　2013/3/8	http://meded.tokyo-med.ac.jp/who%E6%82%A3%E8%80%85%E5%AE%89%E5%85%A8%E3%82%AB%E3%83%AA%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A9%E3%83%A0%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E5%A4%9A%E8%81%B7%E7%A8%AE%E7%89%88%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/09/26(金)	１時限	講義・ワークショップ	講義室 301	09:00−10:10
	タイトル	エラーに学び，害を防止する			
	担当者（所属）	清水　優子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-03-01,CS-05-05-01,CS-05-05-02,CS-05-06-01,CS-05-06-02,CS-05-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/09/26(金)	２時限	講義・ワークショップ	講義室 301	10:25−11:35
	タイトル	ケーススタディー演習			
	担当者（所属）	清水　優子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-03-01,CS-05-05-01,CS-05-05-02,CS-05-06-01,CS-05-06-02,CS-05-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/01/05(月)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	患者安全とは			
	担当者（所属）	清水　優子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-03-01,CS-05-05-01,CS-05-05-02,CS-05-06-01,CS-05-06-02,CS-05-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/01/05(月)	４時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性			
	担当者（所属）	清水　優子 松村　剛毅 世川　修			

		中島　範宏 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-03-01,CS-05-05-01,CS-05-05-02,CS-05-06-01,CS-05-06-02,CS-05-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/01/05(月)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	システムとその複雑さが患者管理にもたらす影響を理解する			
	担当者（所属）	清水　優子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-03-01,CS-05-05-01,CS-05-05-02,CS-05-06-01,CS-05-06-02,CS-05-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/01/21(水)	３時限	試験	講義室 202 講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	まとめ試験			
	担当者（所属）	清水　優子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/02/26(木)	４時限	追・再試験	講義室 202 講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	まとめ試験　追・再試験			
	担当者（所属）	清水　優子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準		
	講義資料番号/連番(LMS)		7

〔医療・患者安全学〕

科目責任者：清水　優子（医療安全科）

セグメント2　到達目標：

Ⅰ．患者安全の原則を理解すると共に、有害事象の発生頻度および影響を最小限に抑え、有害事象からの回復を最大限に高めていくうえで患者安全がどのような役割を果たすかを学ぶ。
Ⅱ．ヒューマンファクターズと患者安全の関係を理解し、その知識を臨床や実務の場で応用できるようになる。
Ⅲ．システム思考を用いることによって、どのように医療が改善され、どのようにして有害事象を最小限に減らせるかを理解する。
Ⅳ．エラーの本質を理解し、医療上のエラーから学んで患者安全を改善する方法を理解する。

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．患者安全	1．医療上のエラーやシステムとしての失敗に起因する害 2．他産業におけるエラーやシステムとしての失敗から学ぶ 3．患者安全の歴史と「非難の文化」の起源 4．患者安全モデル 5．患者安全の考え方の医療活動への適用法 6．システムとしての失敗につながる複数の要因 7．安全な医療を提供していくうえでの患者安全が果たす役割 8．安全文化	1）有害事象の程度とカテゴリー 2）人的・経済的損失 3）他産業でのエラーと教訓 4）スイスチーズモデル 5）非難の文化 6）患者安全モデル 7）パーソンアプローチとシステムアプローチ 8）専門職としての責任と違反 9）安全文化
Ⅱ．ヒューマンファクターズ	1．ヒューマンファクターズという用語の意味 2．ヒューマンファクターズの発展（各分野、医療分野） 3．ヒューマンファクターズと患者安全の関係 4．ヒューマンファクターズ思考	1）人は間違える 2）人間の特性とエラー誘発環境（生理的身体的特性、認知的特性、集団的特性） 3）エラー誘発環境
Ⅲ．医療提供システムの複雑性および患者管理にもたらす影響	1．医療における「システム」および「複雑システム」の理解 2．患者安全に関するシステムアプローチの優位性 3．安全な医療提供システムを構成する各要素 4．高信頼性組織（ＨＲＯ）の特徴	1）医療システム 2）複雑システム 3）パーソンアプローチ 4）システムズアプローチ 5）システム思考 6）スイスチーズモデル 7）高信頼性組織
Ⅳ．エラーに学び、害を防止する	1．エラー関連の用語の理解 2．エラーのリスクを高めるような状況や個人レベルの要因 3．エラーから学ぶ方法 4．エラーを減らすための戦略	1）エラーの種類と要因（エラー、スリップ、ラプス、間違い、違反） 2）エラー発生メカニズム 3）インシデント報告 4）根本原因分析 5）ニアミス 6）後知恵バイアス

Ⅲ　試験科目表・試験日程表

試験科目・日程表

試験科目

（必修科目）組織の成り立ち
生体物質の代謝
細胞と情報伝達
生体システムと制御機構
遺伝と遺伝子
生体と微生物
生体防御・免疫
医学用語

（学年縦断科目）国際コミュニケーション
基本的・医学的表現技術
「至誠と愛」の実践学修
医療・患者安全学
選択科目

試験日程

年月日	曜	時間	試験科目	場所
2026/1/21	水	10:25～11:35	基本的・医学的表現技術	202,203
2026/1/21	水	12:30～13:40	医療・患者安全学	202,203
2026/1/23	金	10:00～11:30	組織の成り立ち	202,203
2026/1/27	火	10:00～11:30	生体物質の代謝	202,203
2026/1/30	金	10:00～11:30	細胞と情報伝達	202,203
2026/2/3	火	10:00～11:30	生体システムと制御機構	202,203
2026/2/6	金	10:00～11:30	遺伝と遺伝子	202,203
2026/2/9	月	10:00～11:30	生体防御・免疫	202,203
2026/2/12	木	10:00～11:30	生体と微生物	202,203

追・再試験日程

年月日	曜	時間	試験科目	場所
未定			基本的・医学的表現技術	未定
2026/2/25	水	13:55～15:05	医療・患者安全学	202,203
2026/2/19	木	10:00～11:30	組織の成り立ち	202,203
2026/2/19	木	13:00～14:30	生体物質の代謝	202,203
2026/2/20	金	10:00～11:30	細胞と情報伝達	202,203
2026/2/20	金	13:00～14:30	生体システムと制御機構	202,203
2026/2/24	火	10:00～11:30	遺伝と遺伝子	202,203
2026/2/24	火	13:00～14:30	生体防御・免疫	202,203
2026/2/25	水	10:00～11:30	生体と微生物	202,203

Ⅳ　テュートリアル・TBL学修

Problem based learning（PBL）テュートリアルとTeam-based learning （TBL）について

PBLテュートリアル（テュートリアル）とTBLの概略

テュートリアルとTBLはいずれもactive learningに含まれる学修法である。本学では医師としての考え方を身につけるための学修法として、1990年度からPBLテュートリアルを導入し、問題解決能力の向上のための学修法として、2008年度からTBLを導入した。

１．PBLテュートリアル（テュートリアル）とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病態の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように活用し、医師としてあるいは医学者として考え、判断する能力を修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と自ら生涯学ぶ姿勢を修得し発展できるための力と自信をつけるための学修法である。

その全体的な目的は：

1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組み、解決する力を身につける（能動学修）。
2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
3) 問題を解決するための方法を自分で考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修）。
4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論）、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1年生から4年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを包括的に学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

２．Team-based learning （TBL）と高学年セグメントでの学修の継続

TBLでは学生・教員間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用し問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008年度から4年生後期（セグメント8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わってTBLを導入し、診療上の問題解決の中で、診療・治療を

中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習に臨むにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に至適な診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という形式で学ぶ。また、2013 年度から 1 年生後期（セグメント 2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント 1 で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より上級学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割を果たしてきた。2020 年度から 2，3，4 年生（セグメント 3－7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は 4 年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。4 年生 1 月（セグメント 9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を臨床で本格的に実践しながら学ぶ機会である。テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として思考力の継続的な向上につながっていく。

セグメント 1 テュートリアル

セグメント 1 では、4 年生まで行われる TBL でのグループワークをより円滑に行えるようになるために「学び方を学ぶ」とともに「グループ討論技術を修得する」ことを主目的として、テュートリアルを行う。学び方についてはテュートリアル実施時に配布される行動記録シートに「学修行動」として詳しく示されている。それをまとめたものが以下の要件である。

(1) 問題発見

課題をもとに、多面的発想や自分の興味に応じて自分で学びたいことを見つける。漠然とした疑問ではなく、自分が既に知っていることと知らないことを明らかにし、解決すべき問題を明確にしてグループで共有する。

(2) 問題解決

適切で信頼のある情報を検索し、問題点に合わせて分析・解釈を行い、論理的な思考、感覚的思考を区別して問題解決にあたる。インターネットや文献だけでなく、実際を体験するあるいはリソースパースンを利用するなど、問題解決の為に適切な調査・学修をする方法を実践する。学修の経過と問題解決の根拠を自分の学修記録と他者への説明のために、問題に対する解決過程をノートに記載する。

テュートリアル全体に共通して学生が意識し、学修に際して留意することは以下の３点である。

(1) グループワーク・態度・技能

問題解決のためにチームワークの良いグループ形成を目指す。グループ全員が話しやすい雰囲気・環境を作り、お互いの学修内容を自由に話し、気さくに疑問や様々な考えを話し合い、正しい理解と問題解決ができるように協働する。資料は白板を使って他者に分かるように説明する。

(2) 人間関係

ここで述べる人間関係とは、課題に含まれる人間性・心理・コミュニケーション等についての問題である。医学は科学的側面とともに、ヒトではなく「ひと」を対象として行われる人間性に基づく側面があることを意識してテュートリアルの課題に取り組む。

(3) テュートリアルへの姿勢

医師になる動機を反芻し、そのための重要な資質を自己開発するテュートリアルに積極的に参加し、医学生としての学ぶ姿勢を自覚する。

テュートリアルの方法と評価

テュートリアルの実施の詳しいやり方は、「テュートリアルガイド」に詳説されている。テュートリアルのグループセッション（テュータと学生グループが集まり教え合ったり討論したりする時間）は、14:00 から 15:40 の 100 分間である。この時間を有効に活用するために、テュートリアル実施日には事前学修時間（11:35～テュートリアル開始まで、昼休みを含む）と事後学修時間（15:50～17:00）が設けてある。この時間は全て授業時間であり、学生の出席が求められる。グループセッションへの出席はテュータが確認する。欠席・遅刻･早退はテュータによる学生評価で減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員会が正当な理由か否かを判断する。

テュートリアルの実施の中で以下の 4 点を実践する。

(1) 自己学修

準備無くしてテュートリアルに出席してはならない。考えて学んできたことをお互いに教え合う中で、不確かなこと、新たに解決すべき問題が明らかになる。グループで決めた共通の学修項目はひとり一人が学修することで次のグループセッションが有効な学修の場となる。グループセッションの前後には自己学修時間が設定されており、この時間を含めて十分な学修を行ってグループセッションに臨まなくてはならない。

(2) テュートリアルノート作成

テュートリアルでは、教科書に書かれている知識を学ぶだけでなく、課題についてどのようにその知識を用いるかを考える。予想と異なる現象、個人によって異なる病気の進行など、課題（事例）に合わせた問題点を見つけ、その解決を行う過程をノートに残すことが重要である。

(3) 各グループセッションの後でアセスメント（振り返り）を行う。

アセスメントは、その日のセッションの自分とグループを振り返る時間であり毎回必ず行う。医師は生涯自分の能力を高めるには、自分の良い点、改善を要する点を自ら評価して、良い点はますます向上させ、改善すべき点は修正していくことが必要である。そのために自分を振り返ることは必要である（省察)。テュートリアルのアセスメントでは、自分やグループの良い点と新たな目標を共有することで、自分の行うべきこと、グループとして目指すことが明確になる。

自分・グループの気づかなかった良い点も、他者から指摘してもらうことにより更に向上できる。反省会ではなく、向上のための目標を立てる機会としてなくてはならない。

(4)評価

学生のテュートリアル評価はテュータによる評価を基に行われる。テュートリアルの目標である学修過程の修得およびその結果としての学識の獲得について、4 回のグループセッションを通じてテュータが評価を行う。評点は 5 点満点で、課題毎に評価が行われる。テュータの行った評価は、欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的に学年教育委員会で審議され、医学部教授会で決定される。全課題の平均評点が 2 点未満の場合は進級できない。

セグメント 2TBL 日程

	日　程	領　域
第 1 回	9 月 12 日（金）10:25～11:35	オリエンテーション
第 2 回	9 月 19 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 1-①
第 3 回	9 月 26 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 1-②
第 4 回	9 月 30 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 1-③
第 5 回	10 月 3 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 1-④
第 6 回	10 月 7 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 2-①
第 7 回	10 月 10 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 2-②
第 8 回	10 月 14 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 2-③
第 9 回	10 月 17 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 2-④
第 10 回	10 月 28 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 3-①
第 11 回	11 月 4 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 3-②
第 12 回	11 月 7 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 3-③
第 13 回	11 月 11 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 3-④
第 14 回	11 月 14 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 4-①
第 15 回	11 月 18 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 4-②
第 16 回	11 月 21 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 4-③
第 17 回	11 月 25 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 4-④
第 18 回	1 月 6 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 5-①
第 19 回	1 月 9 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 5-②
第 20 回	1 月 13 日（火）14:00～15:40	TBL 課題 5-③
第 21 回	1 月 16 日（金）14:00～15:40	TBL 課題 5-④

セグメント２　　ファシリテーター一覧

TBL（第１課題）

三木　貴子	助教	（責任者　衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野）） （責任者　中　村　史　雄　教　授　生化学）
千村　崇彦	助教	

TBL（第２課題）

青木　信奈子	助教	（責任者　松　浦　勝　久　教　授　薬理学　）
廣田　恵子	講師	（責任者　衛生学公衆衛生学（環境・産業医学部門））

TBL（第３課題）

益田　岳	助教	（責任者　衛生学公衆衛生学（グローバルヘルス部門）） （責任者　清　水　達　也　教　授　先端生命医科学研究所）
吉田　杏美	助教	

TBL（第４課題）

中山(河村)　寿子	准教授	（責任者　宮　田　麻　理　子　教　授　生理学（神経生理学分野））

TBL（第５課題）

箱崎　眞結	助教	（責任者　倉　田　厚　教　授　病理学（人体病理学・病態神経科学分野））
本間　順	助教	（責任者　清　水　達　也　教　授　先端生命医科学研究所）

Ⅴ　セグメント２教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

セグメント２教育委員会

委　員　長	中　村　史　雄	教　授（生化学）
副委員長	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）＊S1 教育委員長
〃	宮　田　麻理子	教　授（生理学(神経生理学分野)）
委　　員	石　津　綾　子	教　授（解剖学(顕微解剖学・形態形成学)）
〃	松　浦　勝　久	教　授（薬理学(薬理学分野)）
〃	赤　川　浩　之	准教授（総合医科学研究所）

テュートリアル・TBL 委員会

委　員　長	中　村　真　一	教　授（消化器内科学）
副委員長	越　野　一　朗	講　師（統合教育学修センター基礎科学）
〃	飯　嶋　睦	教　授（脳神経内科学分野）
	山　村　幸　江	准教授（耳鼻咽喉科学）
セグメント１	越　野　一　朗	講　師（統合教育学修センター基礎科学）
	辻　野　賢　治	准教授（統合教育学修センター基礎科学）
	中　村　裕　子	講　師（統合教育学修センター基礎科学）
セグメント２	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）
	中　村(茂泉)　佐和子	講　師（生理学(旧分子細胞生理学分野)）
	菊　田　幸　子	助　教（解剖学(顕微解剖学・形態形成学)）

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委　員　長	西　村　勝　治	教　授（精神医学）
副委員長	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委　員　長	正　宗　　賢	教　授（先端生命医科学研究所）

国際コミュニケーション委員会

委　員　長	長　坂　安　子	教　授（麻酔科学）
副委員長	佐　藤　明　可	講　師（統合教育学修センター基礎教育学）

基本的・医学的表現技術教育委員会

委　員　長	木　林　和　彦	教　授（法医学）
副委員長	辻　村　貴　子	講　師（統合教育学修センター基礎教育学）

学生委員

第１学年担当	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）
勉強関係	西　井　明　子	教　授（統合教育学修センター）
健康関係	横　田　仁　子	准教授（学生健康管理室）
健康関係	西　村　勝　治	教　授（精神医学）

VI　選択科目

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1.　科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
English for Medical Professionals	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
Preparation for Study Abroad	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語（Medical English ）	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級コリア語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限
開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/23から9/17、後期は9/24から翌年1/28までの
水曜日5 限（15：20～16：30）、6 限（16：45～ 17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について
・ガイダンス　新入生オリエンテーション時に実施します。学修の手引きを参照の上、履修登録を行うこと。

・履修登録について
１年生前期：
新入生オリエンテーション時に配布する学修の手引きをよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。
登録期間は 4 月 11 日(金)12:30 まで
※１．期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
２．Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
３．科目によって受講者数を制限することがある。
４．登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト１年総合掲示板に掲載する。
３．により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。
１年生後期、および 2～4 年(前・後期):
新学年ポータルサイトからの web 登録のみ受付を行う。
登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。
登録期間は次のとおり。
前期分…4 月 1 日(火)～4 月 11 日(金)12:30 まで（期間を過ぎると登録できない。）
後期分…8 月 25 日(月)～9 月 4 日(木)12:30 まで（　　〃　　）
※１．web 登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
２．受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について
各科目は2単位(半年間)の科目を4年次までにのべ6科目以上（12単位以上）履修しなければならない。
そのうち2科目以上は人文・社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表Ⅰ)とする。
各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。 なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。（以上、**学生便覧参照**）

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

前　期（4月23日～9月17日）	
~~初級フランス語Ⅰ（）~~　令和7年度は非開講	
Preparation for Study Abroad Ⅰ（大野）	
医療英語（Medical EnglishⅠ）（遠藤）	（共通）
初級中国語Ⅰ（舘）	（共通）
哲学Ａ（宮田）	（共通）
医療人のための法学Ａ（中島）	（共通）
~~医療と社会デザインＡ（）~~　令和7年度は非開講	
医学情報学（田村）	
心理学Ａ（大塚）	
フィットネスの理論と実技Ａ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

前　期（4月23日～9月17日）	
初級ドイツ語Ⅰ（伊藤）	（共通）
English for Medical Professionals Ⅰ（長坂）	
初級コリア語Ⅰ（朴）	（共通）
倫理学Ａ（磯部）	（共通）
歴史学Ａ（菅原）	（共通）
医療人のための経済学Ａ（粟沢）	（共通）
数学Ａ（小野木）	
フィットネスの理論と実技Ｂ（沢田）　※	

後　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

後　期（9月24日～1月28日）	
~~初級フランス語Ⅱ（）~~　令和7年度は非開講	
Preparation for Study Abroad Ⅱ（大野）	
医療英語（Medical EnglishⅡ）（遠藤）	（共通）
初級中国語Ⅱ（舘）	（共通）
哲学Ｂ（宮田）	（共通）
医療人のための法学Ｂ（中島）	（共通）
~~医療と社会デザインＢ（）~~　令和7年度は非開講	
生物学（後期）（石井）	
物理学（後期）Ｂ（辻野）	
化学（後期）（中村）	

【水曜　6限　16:45～17:55】

後　期（9月24日～1月28日）	
初級ドイツ語Ⅱ（伊藤）	（共通）
English for Medical Professionals Ⅱ（長坂）	
初級コリア語Ⅱ（朴）	（共通）
倫理学Ｂ（磯部）	（共通）
歴史学Ｂ（菅原）	（共通）
医療人のための経済学Ｂ（粟沢）	（共通）
数学Ｂ（小野木）	
物理学（後期）Ａ（辻野）	
心理学Ｂ（佐藤）	
食と栄養の科学（松井）	

（共通）は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」の5限と6限は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

＜看護学部の開講科目＞

【水曜　5限　15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前　期（4月23日～9月17日）	
文化人類学Ａ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＡ（平川）　※	（共通）

【水曜　5限　15:15～16:25】

後　期（9月24日～1月28日）	
文化人類学Ｂ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＢ（平川）　※	（共通）

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」の前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

Ⅶ　講義・実習時間割表

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第1週	8／25 月	(講義) **オリエンテーション** S2オリエンテーション(テュートリアル含む) (生化学　中村) (生理学(旧分子細胞生理学分野) 中村(茂泉))	(講義) **生体物質の代謝-1** 科目の概要・生体における代謝と調節 (生化学　中村)	(実習) 301 **「至誠と愛」の実践学修-1** ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」ガイダンス (衛生学公衆衛生学　廣田)(統合教育学修センター　浦瀬、辻野) (微生物学免疫学　大坂)	(実習) 大実習室1・301 **「至誠と愛」の実践学修-2** チーム医療(2)「医師の役割と医療の実際(実習ガイダンス)」 (統合教育学修センター　西井、土井)	(講義) **健康管理学** 生活リズムと食生活 (学生健康管理室　横田)	
	8／26 火	(講義) **組織の成り立ち-1** 四大組織とその起源 (解剖学(顕微解剖学　形態形成学　石津)	(講義) **組織の成り立ち-2** 上皮組織-1　定義 (解剖学(顕微解剖学　形態形成学　望月)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 上皮組織-1 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	8／27 水	(講義) PC1 **国際コミュニケーション** (講義)英文書式作成の基礎、アカデミックライティング (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤・山本ﾗｳﾞｪﾅ)		(講義) **生体物質の代謝-2** 代謝の方向を決めるもの (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) **生体物質の代謝-3** 代謝の速度を決めるもの (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	8／28 木	(講義) **組織の成り立ち-3** 上皮組織-2　分類と特徴 (解剖学(顕微解剖学　形態形成学　望月)	(講義) **組織の成り立ち-4** 上皮組織−3 機能と特殊構造 (解剖学(顕微解剖学　形態形成学　望月)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 上皮組織-2 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	8／29 金	(実習) **「至誠と愛」の実践学修-3,4,5,6,7,8,9** ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」(A班) (衛生学公衆衛生学　廣田)(統合教育学修センター　浦瀬)他			ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」(B班) (衛生学公衆衛生学　廣田)(統合教育学修センター　浦瀬)他		
		チーム医療(2)(C,D班) 「医師の役割と医療の実際　病院実習」 (統合教育学修センター　西井)他		チーム医療(2)(C,D班) 「医師の役割と医療の実際　振返り,グループ発表」 (統合教育学修センター　西井)他			
	8／30 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第2週	9／1 月	(講義) **組織の成り立ち-5** 腺組織-1　定義と概要 (解剖学(顕微解剖学 形態形成学　矢作)	(講義) **組織の成り立ち-6** 腺組織-2　基本構造 (解剖学(顕微解剖学 形態形成学　矢作)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 腺組織-1 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	9／2 火	(講義) **組織の成り立ち-7** 腺組織-3　分類(腺の形状と分泌物の性状) (解剖学(顕微解剖学 形態形成学　矢作)	(講義) **組織の成り立ち-8** 腺組織-4　分類(分泌様式) (解剖学(顕微解剖学 形態形成学　矢作)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 腺組織-2 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	9／3 水	(講義) **国際コミュニケーション** Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **生体物質の代謝-4** 酵素とその作用 (生化学　新敷)	(講義) **生体物質の代謝-5** 酵素反応速度論 (生化学　新敷)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	9／4 木	(講義) **組織の成り立ち-9** 結合組織-1　定義と概要 解剖学(顕微解剖学・形態形成学)菊田	(講義) **組織の成り立ち-10** 結合組織-2　分類(細胞成分) 解剖学(顕微解剖学・形態形成学)菊田	(講義) **組織の成り立ち-11** 血液・リンパ-1 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　望月)	(講義) **組織の成り立ち-12** 血液・リンパ-2 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津)	(講義) **「至誠と愛」の実践学修-1** 医とは何か (医学部長　中神)	
	9／5 金	(講義) **基本的・医学的表現技術-1** 科学的実験の記録方法-1 (統合教育学修センター基礎教育学 辻村)	(講義) **基本的・医学的表現技術-2** 科学的実験の記録方法-2 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) **生体物質の代謝-6** 解糖Ⅰ (生化学　千村)	(講義) **生体物質の代謝-7** 解糖Ⅱ (生化学　千村)	(講義) **生体物質の代謝-8** クエン酸回路 (生化学　新敷)	
	9／6 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第3週	9／8 月	(講義) **組織の成り立ち-13** 結合組織-3　分類(細胞外成分) (解剖学(顕微解剖学 形態形成学　菊田)	(講義) **組織の成り立ち-14** 方法論:染色法 (解剖学(顕微解剖学 形態学　菊田)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 結合組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	9／9 火	(実習) **「至誠と愛」の実践学修-3,4,5,6,7,8,9** ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」(C班) (衛生学公衆衛生学　廣田)(統合教育学修センター　浦瀬)他 チーム医療(2)(A,B班) 「医師の役割と医療の実際　病院実習」 (統合教育学修センター　西井)他		チーム医療(2)(A,B班) 「医師の役割と医療の実際　振返り,グループ発表」 (統合教育学修センター　西井)他	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」(D班) (衛生学公衆衛生学　廣田)(統合教育学修センター　浦瀬)他		
	9／10 水	(講義) **国際コミュニケーション** Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗヴェナ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **生体物質の代謝-9** 酸化的リン酸化Ⅰ (生化学　新敷)	(講義) **生体物質の代謝-10** 酸化的リン酸化Ⅱ (生化学　新敷)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	9／11 木	(講義) **生体物質の代謝-11** 糖新生 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) **生体物質の代謝-12** グリコーゲンの代謝 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(実習)　**大実習室1,3** **組織の成り立ち** 方法/染色法・血液観察法 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			(実習)　**大実習室1,3** **組織の成り立ち** 血液・リンパ組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)
	9／12 金	(講義) **生体物質の代謝-13** ペントースリン酸回路 (生化学　千村)	(講義) TBLオリエンテーション (生理学(旧分子細胞生理学分野) 中村(茂泉))	(実習)　**大実習室1,3** **組織の成り立ち** 方法/染色法・血液観察法 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			(実習)　**大実習室1,3** **組織の成り立ち** 血液・リンパ組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)
	9／13 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第4週	9／15 月	敬老の日					
	9／16 火	(講義) 基本的・医学的表現技術-3 レポート作成時に守るべきこと-1 (統合教育学修センター基礎教育学 辻村)	(講義) 基本的・医学的表現技術-4 レポート作成時に守るべきこと-2 (生理学(旧分子細胞生理学分野)　中村(茂泉)) (統合教育学修センター基礎教育学　辻村)	(講義) 生体物質の代謝―14 脂肪酸の代謝Ⅰ (生化学　槇原)	(講義) 生体物質の代謝―15 脂肪酸の代謝Ⅱ (生化学　槇原)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-2 キャリアを考える(3)「アントレプレナーシップ教育」 (早稲田大学 理工学術院　朝日)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-3 キャリアを考える(4)「再生医療を学ぶ」 (先端生命医科学研究所　清水)
	9／17 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 生体物質の代謝―16 リン脂質の代謝 (生化学　槇原)	(講義) 生体物質の代謝―17 コレステロールの代謝 (生化学　槇原)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	9／18 木	(講義) 組織の成り立ち-15 軟骨組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津)	(講義) 組織の成り立ち-16 骨の成長 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津)	(実習)　大実習室3 組織の成り立ち 軟骨組織/骨の発生・成長 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	9／19 金	(講義) 生体物質の代謝―18 ヌクレオチドの代謝Ⅰ (生化学　千村)	(講義) 生体物質の代謝―19 ヌクレオチドの代謝Ⅱ (生化学　千村)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題1-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／20 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第5週	9／22 月	(講義) **組織の成り立ち-17** 骨組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 骨実習 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)				
	9／23 火	**秋分の日**					
	9／24 水	(講義) **国際コミュニケーション** Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **生体物質の代謝-20** アミノ酸代謝Ⅰ (生化学　中村)	(講義) **生体物質の代謝-21** アミノ酸代謝II (生化学　中村)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	9／25 木	(講義) **細胞と情報伝達-1** 科目の概要、教科書の紹介 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(講義) **細胞と情報伝達-2** 細胞間情報伝達 (生理学(神経生理学分野)　中山)	(講義) **生体物質の代謝―22** アミノ酸代謝Ⅲ (生化学　中村)	(講義) **生体物質の代謝―23** 糖尿病 (糖尿病・代謝内科学　中神)		
	9／26 金	(WS) **医療・患者安全学-1** エラーに学び，害を防止する (医療安全科　清水、中島、世川、松村) (看護学部　吉武)	(WS) **医療・患者安全学―2** ケーススタディー演習 (医療安全科　清水、中島、世川、松村) (看護学部　吉武)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題1-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／27 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第6週	9／29 月	(講義) **組織の成り立ち-18** 筋組織-1 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　望月)	(講義) **組織の成り立ち-19** 筋組織-2 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　望月)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 筋組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	9／30 火	(講義) **生体物質の代謝-24** 代謝の統合・異常 (生化学　中村)	(講義) **生体物質の代謝-25** 総括 (生化学　中村)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題1-3		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／1 水	(講義) **国際コミュニケーション** Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **細胞と情報伝達-3** 細胞膜受容体を介する情報伝達の種類 (生化学　中村)	(講義) **細胞と情報伝達−4** Gタンパク質を介する情報伝達 (生化学　中村)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	10／2 木	(講義) **生体システムと制御機構-1** 科目の概要 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(講義) **細胞と情報伝達-5** チロシンリン酸化を介する受容体と情報伝達 (生化学　中村)	(実習)301,302 **「至誠と愛」の実践学修-10,11** コミュニケーション(3)「マナーの実践」 (外部講師　日野原) (学生健康管理室　横田) (統合教育学修センター　辻村)			
	10／3 金	(講義) **基本的・医学的表現技術-5** 医療関係講演の記録方法 (統合教育学修センター基礎教育学　辻村) (ゲストスピーカー)	(講義) **細胞と情報伝達-6** 膜から核への情報伝達 (生化学　中村)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題1-4		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／5 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第7週	10／6 月	(講義) **組織の成り立ち-20** 神経組織-1 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津)	(講義) **組織の成り立ち-21** 神経組織-2 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 神経組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	10／7 火	(講義) **細胞と情報伝達-7** 経膜シグナルの生理作用 (生理学(神経生理学分野)　中山)	(講義) **生体システムと制御機構-2** 刺激受容機構I (生理学(神経生理学分野)　加世堂	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題2-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／8 水	(講義) **国際コミュニケーション** Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **細胞と情報伝達-8** イオンチャネル Ⅰ (生理学(神経生理学分野)　中山)	(講義) **細胞と情報伝達-9** イオンチャネル Ⅱ (生理学(神経生理学分野)　中山)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	10／9 木	(講義) **細胞と情報伝達-10** カルシウムと二次メッセンジャー (生理学(神経生理学分野)　中山)	(講義) **生体システムと制御機構-3** 刺激受容機構II (生理学(神経生理学分野)　加世堂)	(実習)　**大実習室3** **組織の成り立ち** 実習まとめ (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、望月、矢作) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬)			
	10／10 金	(講義) **生体システムと制御機構-4** 生体システム基礎解剖(I) (解剖学　本多)	(講義) **生体システムと制御機構-5** 生体システム基礎解剖(II) (解剖学　本多)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題2-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／11 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第8週	10／13 月	スポーツの日					
	10／14 火	(講義) 生体システムと制御機構-6 生体信号の記録方法(生体の電気信号) (生理学(神経生理学分野)　児玉)	(講義) 細胞と情報伝達-11 興奮性細胞と細胞膜の電気的性質 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題2-3		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／15 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 生体システムと制御機構-7 筋収縮機構I (総合医科学研究所　末廣)	(講義) 生体システムと制御機構-8 筋収縮機構II(平滑筋含む) (総合医科学研究所　末廣)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	10／16 木	(講義) 細胞と情報伝達−12 細胞周期の制御と異常 I (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　橋本)	(講義) 細胞と情報伝達-13 細胞周期の制御と異常 II (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　橋本)	(講義) 細胞と情報伝達-14 容積導体 (統合教育学修センター　辻野)	(講義) 細胞と情報伝達-15 活動電位 I (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(講義) 細胞と情報伝達-16 活動電位 II (生理学(神経生理学分野)　宮田)	
	10／17 金	(講義) 生体システムと制御機構-9 実習の説明 (生理学(神経生理学分野)　中山(河村)、植田) (生理学(旧分子細胞生理学分野)　出嶋)	(講義) 生体システムと制御機構-10 運動の基本単位 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題2-4		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／18 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第9週	10／20 月	(講義) 細胞と情報伝達−17 神経伝達物質I (総合医科学研究所 末廣)	(講義) 細胞と情報伝達−18 神経伝達物質II (総合医科学研究所 末廣)	(講義) 細胞と情報伝達−19 シナプス伝達I (生理学(神経生理学分野)植田)	(講義) 細胞と情報伝達−20 シナプス伝達II (生理学(神経生理学分野)植田)	(講義) 細胞と情報伝達−21 細胞と疾患(疾患の発生に関わる細胞内情報伝達の異常) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 橋本)	(講義) 生体システムと制御機構−11 内分泌系による調節機構(総論) (内分泌内科学　大月)
	10／21 火		(講義) 生体システムと制御機構−12 脊髄反射機構 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(実習) PC室1 組織の成り立ち 実習試問 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、望月、矢作)			(講義) 生体システムと制御機構−13 内分泌系による調節機構 (内分泌内科学　大月)
	10／22 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 生体システムと制御機構−14 心筋の興奮と収縮 (薬理学　松浦)	(講義) 生体システムと制御機構−15 心筋の興奮と心電図 (薬理学　松浦)	(選択科目)予定 15:20〜16:30	(選択科目)予定 16:45〜17:55
	10／23 木	女子医大祭の準備					
	10／24 金	女子医大祭					
	10／25 土	女子医大祭					

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第10週	10／27 月		（講義） **生体システムと制御機構-16** 痛覚の受容と調節機構 （生理学（神経生理学分野）　児玉）	（実習）**大実習室2/大実習室3/コモンズ** **細胞と情報伝達、生体システムと制御機構** 誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御 （生理学（神経生理学分野）宮田、中山（河村）、植田、児玉、丸山、加世堂）（生理学(旧分子細胞生理学分野)中村(茂泉)、出嶋、吉田）（総合医科学研究所　末廣、大野）（統合教育学修センター　伊豆原、辻野、山口）			
	10／28 火	（講義） **生体システムと制御機構-17** 自律神経系による調節機構Ⅰ （生理学（神経生理学分野）　丸山）	（講義） **生体システムと制御機構-18** 自律神経系による調節機構Ⅱ （生理学（神経生理学分野）　丸山）	（TBL） 12:30～13:40 自己学修	（TBL） 14:00～15:40 課題3-1		（TBL） 15:50～17:00 自己学修
	10／29 水	（講義） **国際コミュニケーション** Medical English: Reading & Writing; Listening & Speaking （統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野）		（講義） **生体システムと制御機構-19** 中枢神経系の制御と統合機能 （生理学（神経生理学分野）　加世堂）	（講義） **生体システムと制御機構-20** 中枢神経および循環器系の役割 （病理学（人体病理学・病態神経科学分野）　倉田）	（選択科目）予定 15:20～16:30	（選択科目）予定 16:45～17:55
	10／30 木	（講義） **基本的・医学的表現技術-6** 機能系基礎医学の基本的表現技術、文書作成演習 （法医学　木林、町田）（統合教育学修センター基礎教育学 辻村）	（講義） **生体システムと制御機構-21** 性差の科学 （生理学（神経生理学分野）　宮田）	（実習）**大実習室2/大実習室3/コモンズ** **細胞と情報伝達、生体システムと制御機構** 誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習（内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別）、信号伝達と生体制御 （生理学（神経生理学分野）宮田、中山（河村）、植田、児玉、丸山、加世堂）（生理学(旧分子細胞生理学分野)中村(茂泉)、出嶋、吉田）（総合医科学研究所　末廣、大野）（統合教育学修センター　伊豆原、辻野、山口）			
	10／31 金	（講義） **医学用語-1** 科目の概要・ラテン語 （解剖学（顕微解剖学形態形成学　石津）（順天堂大学医学部　澤井）	（講義） **生体システムと制御機構-22** 生体システムのまとめ （生理学（神経生理学分野）　宮田）	（講義） **遺伝と遺伝子―1** 科目の概要 （統合医科学研究所　赤川）	（講義） **遺伝と遺伝子―2** 遺伝の法則Ⅰ （統合教育学修センター基礎科学　石井）	（講義） **遺伝と遺伝子―3** 遺伝の法則Ⅱ （統合教育学修センター基礎科学　石井）	
	11／1 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第11週	11／3 月	文化の日					
	11／4 火	(講義) 遺伝と遺伝子-4 集団の遺伝 (統合教育学修センター基礎科学　石井)	(講義) 遺伝と遺伝子-5 染色体、ゲノム、遺伝子の構造 (統合教育学修センター基礎科学　石井)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題3-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／5 水	(講義) 国際コミュニケーション Reading & Writing: Medical English Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 生体と微生物-1 総論-微生物の種類・基本構造・増殖様式 (微生物学免疫学 柳澤)	(講義) 遺伝と遺伝子-6 DNAの合成と複製 (生化学　田中)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	11／6 木	(講義) 遺伝と遺伝子―7 遺伝と環境、変異原、ストレスと適応 (総合医科学研究所 末廣)	(講義) 遺伝と遺伝子―8 DNAの修復 (総合医科学研究所 末廣)	(実習) 大実習室2/大実習室3/コモンズ 細胞と情報伝達、生体システムと制御機構 誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習(内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別)、信号伝達と生体制御 (生理学(神経生理学分野)宮田、中山(河村)、植田、児玉、丸山、加世堂) (生理学(旧分子細胞生理学分野)中村(茂泉)、出嶋、吉田) (総合医科学研究所　末廣、大野) (統合教育学修センター　伊豆原、辻野、山口)			
	11／7 金	(講義) 医学用語-2 ラテン語 (順天堂大学医学部 澤井)	(講義) 基本的・医学的表現技術-7 機能系基礎医学の基本的表現技術、作成文書を用いた情報の伝達と説明 (法医学　木林、町田) (統合教育学修センター基礎教育学 辻村)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題3-3		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／8 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第12週	11／10 月	(講義) **生体と微生物-2** グラム陰性菌(1) (微生物学免疫学 大坂)	(講義) **生体防御・免疫-1** 総論 - 生体防御・免疫系 (微生物学免疫学 柳澤)	(実習) **大実習室2/大実習室3/コモンズ** **細胞と情報伝達、生体システムと制御機構** 誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習(内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別)、信号伝達と生体制御 (生理学(神経生理学分野)宮田、中山(河村)、植田、児玉、丸山、加世堂) (生理学(旧分子細胞生理学分野) 中村(茂泉)、出嶋、吉田) (総合医科学研究所　末廣、大野) (統合教育学修センター　伊豆原、辻野、山口)			
	11／11 火	(講義) **生体防御・免疫-2** 自然免疫(1) (微生物学免疫学 大坂)	(講義) **生体防御・免疫-3** 自然免疫(2) (微生物学免疫学 大坂)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題3-4		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／12 水	(講義) **国際コミュニケーション** Reading & Writing: Medical English Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **遺伝と遺伝子-9** DNAの転写 (生理学(旧分子細胞生理学分野)　出嶋)	(講義) **遺伝と遺伝子-10** 転写と転写因子 (生理学(旧分子細胞生理学分野)　出嶋)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	11／13 木	(講義) **生体と微生物-3** グラム陰性菌(2) (微生物学免疫学 大坂)	(講義) **生体と微生物-4** ウイルス(1) (微生物学免疫学 大坂)	(実習) **大実習室2/大実習室3/コモンズ** **細胞と情報伝達、生体システムと制御機構** 誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習(内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別)、信号伝達と生体制御 (生理学(神経生理学分野)宮田、中山(河村)、植田、児玉、丸山、加世堂) (生理学(旧分子細胞生理学分野) 中村(茂泉)、出嶋、吉田) (総合医科学研究所　末廣、大野) (統合教育学修センター　伊豆原、辻野、山口)			
	11／14 金	(講義) **医学用語-3** ラテン語 (順天堂大学医学部 澤井)	(講義) **遺伝と遺伝子-11** エピゲノムによる遺伝子発現調節 (生理学(旧分子細胞生理学分野)　吉田)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題4-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／15 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第13週	11／17 月	(講義) **遺伝と遺伝子-12** スプライシング (生化学　田中)	(講義) **生体と微生物-5** グラム陽性菌(1) (微生物学免疫学 大坂)	(実習) **大実習室2/大実習室3/コモンズ** **細胞と情報伝達、生体システムと制御機構** 誘発筋電図と脊髄反射、感覚生理学実習(内容: 味覚及び皮膚感覚実験と重量弁別)、信号伝達と生体制御 (生理学(神経生理学分野)宮田、中山(河村)、植田、児玉、丸山、加世堂) (生理学(旧分子細胞生理学分野)中村(茂泉)、出嶋、吉田) (総合医科学研究所　末廣、大野) (統合教育学修センター　伊豆原、辻野、山口)			
	11／18 火	(講義) **生体と微生物-6** グラム陽性菌(2) (微生物学免疫学 大坂)	(講義) **生体防御・免疫-4** 液性免疫 (微生物学免疫学 大坂)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題4-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／19 水	(講義) **国際コミュニケーション** Reading & Writing: Medical English Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **遺伝と遺伝子-13** 翻訳と蛋白質の合成 (生化学　田中)	(講義) **遺伝と遺伝子-14** 蛋白質の修飾・輸送・分解 (生化学　田中)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	11／20 木	(講義) **遺伝と遺伝子-15** 多因子遺伝 (八千代医療センター糖尿病・内分泌代謝内科　岩﨑)	(実習) **大実習室1** **生体と微生物、生体防御・免疫** 凝集と溶血、細菌実験の基本操作-1 (微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚)				
	11／21 金	(講義) **医学用語-4** ラテン語 (順天堂大学医学部 澤井)	(講義) **生体と微生物-7** 芽胞形成菌(通性、偏性嫌気性菌) (微生物学免疫学 上芝)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題4-3		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／22 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第14週	11／24 月	振替休日					
	11／25 火	(講義) 生体と微生物-8 化学療法薬 (薬理学　松浦)	(講義) 生体と微生物-9 抗菌薬と薬剤耐性 (薬理学　松浦)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題4-4		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／26 水	(講義) 国際コミュニケーション Reading & Writing: Medical English Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 遺伝と遺伝子-16 遺伝子組み換え実験 (生化学　田中)	(講義) 遺伝と遺伝子-17 ゲノムの個人差 (総合医科学研究所 赤川)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	11／27 木	(講義) 遺伝と遺伝子-18 分子細胞生物学実験 (生化学　田中)	(実習) 大実習室1 生体と微生物、生体防御・免疫 細菌実験の基本操作-2、常在細菌-1、薬剤耐性菌-1 (微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚)				
	11／28 金	(講義) 医学用語―5 ラテン語・まとめ (順天堂大学医学部 澤井)	(実習) 大実習室1 生体と微生物、生体防御・免疫 細胞実験の基本操作-3、常在細菌-2、薬剤耐性菌-2 (微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚)				
	11／29 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第15週	12／1 月	（講義） **遺伝と遺伝子-19** 遺伝子治療と核酸医薬 （ゲノム診療科　松尾）	（実習）**大実習室1** **生体と微生物、生体防御・免疫** 殺菌・消毒と細菌の抵抗性-1、薬剤耐性菌-3 （微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚）				
	12／2 火	（講義） **生体防御・免疫-5** 抗原と抗体 （微生物学免疫学　飯塚）	（実習）**大実習室1** **生体と微生物、生体防御・免疫** 殺菌・消毒と細菌の抵抗性-2、ゲル内沈降-1 （微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚）				
	12／3 水	（講義） **国際コミュニケーション** Reading & Writing: Medical English Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest （統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野）		（講義） **生体と微生物-10** ウイルス(2) （微生物学免疫学　大坂）	（講義） **生体と微生物-11** 真菌 （微生物学免疫学　上芝）	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	12／4 木	（講義） **遺伝と遺伝子-20** ミトコンドリアと細胞質遺伝 （八千代医療センター糖尿病・内分泌代謝内科　岩ﾎ崎）	（実習）**大実習室1** **生体と微生物、生体防御・免疫** インフルエンザウイルス、真菌 （微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚）				
	12／5 金	**創立記念日**					
	12／6 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第16週	12／8 月	（講義） **遺伝と遺伝子-21** 体細胞変異と生殖系列変異 （総合医科学研究所 東）	（講義） **遺伝と遺伝子-22** 非コードRNA （総合医科学研究所 酒井）	（実習）**大実習室1** **生体と微生物、生体防御・免疫** 抗体産生細胞、ゲル内沈降-2（グループ1） （微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚）			
	12／9 火	（講義） **遺伝と遺伝子-23** 遺伝子の情報解析 （総合医科学研究所 赤川）	（講義） **遺伝と遺伝子-24** 遺伝子構造解析・多型解析 （総合医科学研究所 赤川）	（講義） **生体防御・免疫-6** 細胞性免疫 （微生物学免疫学 飯塚）	（講義） **生体防御・免疫-7** 主要組織適合抗原（1） （微生物学免疫学 柳澤）	（講義） **生体防御・免疫-8** 免疫系の多様性獲得機序 （微生物学免疫学 柳澤）	
	12／10 水	（講義） **国際コミュニケーション** Reading & Writing: Medical English Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest （統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野）		（講義） **生体と微生物-12** グラム陰性菌（3） （微生物学免疫学 大坂）	（講義） **生体と微生物-13** 細菌の遺伝子とバクテリオファージ （微生物学免疫学 柳澤）	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	12／11 木	（講義） **遺伝と遺伝子-25** 癌遺伝子と癌抑制遺伝子 （実験動物研究所 本田）	（講義） **遺伝と遺伝子-26** 個体を用いた遺伝子改変実験 （実験動物研究所 本田）	（実習）**大実習室1** **生体と微生物、生体防御・免疫** 抗体産生細胞、ゲル内沈降-2（グループ2） （微生物学免疫学　柳澤、大坂、上芝、飯塚）			
	12／12 金	（講義） **生体防御・免疫-9** 自己免疫寛容 （微生物学免疫学 柳澤）	（講義） **生体防御・免疫-10** サイトカインとケモカイン （微生物学免疫学 柳澤）	（講義）　PC1 **国際コミュニケーション** TOEFL （統合教育学修センター基礎教育学 佐藤・山本ﾗｳﾞｪﾅ・大野）			
	12／13 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第17週	12／15 月	（実習）　大実習室1/大実習室3 生体物質の代謝 ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ） （生化学　中村史雄、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村）（統合教育学修センター基礎科学　中村裕子、越野）					
	12／16 火	（実習）　大実習室1/大実習室3 生体物質の代謝 ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ） （生化学　中村史雄、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村）（統合教育学修センター基礎科学　中村裕子、越野）					
	12／17 水	（実習）大実習室1/大実習室3 生体物質の代謝 ウシ骨格筋より乳酸脱水素酵素（LD）精製、酵素反応速度論的解析（17グループ） （生化学　中村史雄、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村）（統合教育学修センター基礎科学　中村裕子、越野）					
	12／18 木	（実習）　大実習室1/大実習室3 生体物質の代謝 ラット臓器における乳酸脱水素酵素（LD）の発現解析、PCR法、活性染色法 （生化学　中村史雄、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村）（統合教育学修センター基礎科学　中村裕子、越野）					
	12／19 金	（実習）　**大実習室1/大実習室3/PC室1（午後のみ）/301（午後のみ）** 生体物質の代謝 実習まとめ、発表報告会 （生化学　中村史雄、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村）（統合教育学修センター基礎科学　中村裕子、越野）					
	12／20 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第18週	1／5 月	(講義) **基本的・医学的表現技術-8** これまでの課題物のフィードバック (統合教育学修センター 基礎教育学　辻村)	(講義) **生体防御・免疫−11** アレルギー (微生物学免疫学 柳澤)	(WS)　301,**看護学部** **医療・患者安全学-3,4,5** ・患者安全とは ・患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性 ・システムとその複雑さが患者管理にもたらす影響を理解する (医療安全科　清水、中島、世川、松村)(看護学部　吉武)			
	1／6 火	(講義) **生体防御・免疫−12** 自己免疫疾患 (微生物学免疫学 柳澤)	(講義) **生体防御・免疫-13** 粘膜免疫(1) (微生物学免疫学 大坂)	(TBL) 12:30〜13:40 自己学修	(TBL) 14:00〜15:40 課題5-1		(TBL) 15:50〜17:00 自己学修
	1／7 水	(講義)　301,302 **国際コミュニケーション** Speech Contest 1 (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) **遺伝と遺伝子-27** 変異と染色体構造変化 (ゲノム診療科 山本)	(講義) **遺伝と遺伝子-28** 家系図 (ゲノム診療科 山本)	(選択科目)予定 15:20〜16:30	(選択科目)予定 16:45〜17:55
	1／8 木	(講義) **生体防御・免疫-14** 生殖免疫 (母子総合医療センター　中林)	(講義) **生体防御・免疫-15** 皮膚における生体防御 (皮膚科　梅垣)	(講義) **生体と微生物-14** 抗酸菌 (微生物学免疫学 上芝)	(講義) **生体と微生物-15** リケッチア・クラミジア (微生物学免疫学 上芝)	(講義) **生体と微生物-16** スピロヘータ・マイコプラズマ (微生物学免疫学 上芝)	
	1／9 金	(講義) **基本的・医学的表現技術-9** 形態系基礎医学の基本的表現技術、文書作成演習 (解剖学　早川)	(講義) **基本的・医学的表現技術-10** 形態系基礎医学の基本的表現技術、作成文書を用いた情報の伝達と説明 (解剖学　早川)	(TBL) 12:30〜13:40 自己学修	(TBL) 14:00〜15:40 課題5-2		(TBL) 15:50〜17:00 自己学修
	1／10 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第19週	1／12 月	成人の日					
	1／13 火	(講義) 生体と微生物-17 肝炎ウイルス (微生物学免疫学 柳澤)	(講義) 生体と微生物-18 レトロウイルス (微生物学免疫学 柳澤)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題5-3		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	1／14 水	(講義) 301,302 国際コミュニケーション Speech Contest 2 (統合教育学修センター基礎教育学 佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、ライトナー、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 遺伝と遺伝子-29 遺伝子診断と分子標的薬 (薬理学 瀧田)	(講義) 遺伝と遺伝子―30 遺伝子診断と生命倫理 (ゲノム診療科　山本)	(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	1／15 木	(講義) 生体防御・免疫-16 主要組織適合抗原(2)・移植免疫 (微生物学免疫学 柳澤)	(講義) 生体防御・免疫―17 免疫応答の制御機構・腫瘍免疫 (微生物学免疫学 柳澤)	(実習) PC室1 遺伝と遺伝子 遺伝情報学実習 1.ゲノム情報の収集と分析 2.疾患ゲノム解析のアプローチ (総合医科学研究所　赤川、末廣、東)			
	1／16 金	(講義) 生体防御・免疫―18 粘膜免疫(2) (微生物学免疫学 大坂)	(講義) 生体防御・免疫-19 免疫不全 (微生物学免疫学 柳澤)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題5-4		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	1／17 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第20週	1／19 月	(講義) **生体と微生物-19** ウイルス(3)、プリオン (微生物学免疫学 大坂)	(講義) **生体と微生物-20** 寄生虫学総論 (衛生学公衆衛生学 凪)	(講義) **生体と微生物-21** 寄生虫学各論 (微生物学免疫学 上芝)	(講義) **生体と微生物-22** 細菌毒素 (微生物学免疫学 上芝)		
	1／20 火	(講義) **生体と微生物-23** 国際保健と感染症対策総論 (衛生学公衆衛生学 凪)	(講義) **生体と微生物-24** 感染症の予防 (微生物学免疫学 飯塚)	(講義) **生体防御・免疫-20** 免疫系組織の機能分化と微細構造(1) (解剖学(顕微解剖学・ 形態形成学 石津)	(講義) **生体防御・免疫—21** 免疫系組織の機能分化と微細構造(2) (解剖学(顕微解剖学・ 形態形成学 石津)	(講義) **生体防御・免疫-22** 感染症の免疫応答 (微生物学免疫学 大坂)	
	1／21 水		(講義) 202, 203 **基本的・医学的表現技術-11** 試験(論述試験) (法医学　木林) (統合教育学修センター 基礎教育学　辻村)	(試験) 202, 203 **医療・患者安全学** まとめ試験 (医療安全科　清水)		(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	1／22 木						
	1／23 金		(試験) **組織の成り立ち** (10:00～11:30)				
	1／24 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第21週	1／26 月						
	1／27 火		(試験) 生体物質の代謝 (10:00～11:30)				
	1／28 水					(選択科目)予定 15:20～16:30	(選択科目)予定 16:45～17:55
	1／29 木						
	1／30 金		(試験) 細胞と情報伝達 (10:00～11:30)				
	1／31 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第22週	2／2 月						
	2／3 火		（試験） 生体システムと制御機構 （10:00～11:30）				
	2／4 水						
	2／5 木						
	2／6 金		（試験） 遺伝と遺伝子 （10:00～11:30）				
	2／7 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第23週	2／9 月		（試験） **生体防御・免疫** （10:00～11:30）				
	2／10 火						
	2／11 水	**建国記念日**					
	2／12 木		（試験） **生体と微生物** （10:00～11:30）	（講義） **「至誠と愛」の実践学修-4** チーム医療(3)「看護実践の原理とチーム医療」 (看護学部　見城）（統合教育学修センター基礎科学　浦瀬）	（実習） **「至誠と愛」の実践学修-12** チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際実習ガイダンス」 （看護学部　駒形）（衛生学公衆衛生学　廣田）（統合教育学修センター基礎科学　浦瀬）		
	2／13 金						
	2／14 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第24週	2／16 月	（実習） 「至誠と愛」の実践学修−13,14,15,16 チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」（A班） （統合教育学修センター基礎科学　浦瀬、辻野、山口、中村、石井/基礎教育学 辻村、伊豆原、土井） （衛生学公衆衛生学　廣田）（微生物学免疫学　大坂）（看護学部　駒形）（看護部　出口）				（実習）大実習室1 「至誠と愛」の実践学修−17 チーム医療（4）「実習振り返り（小グループ討論）」（A班） （統合教育学修センター基礎科学　浦瀬）（衛生学公衆衛生学　廣田）	
	2／17 火	（実習） 「至誠と愛」の実践学修−13,14,15,16 チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」（B班） （統合教育学修センター基礎科学　浦瀬、辻野、山口、中村、石井/基礎教育学 辻村、伊豆原、土井） （衛生学公衆衛生学　廣田）（微生物学免疫学　大坂）（看護学部 駒形）（看護部　出口）				（実習）大実習室1 「至誠と愛」の実践学修−17 チーム医療（4）「実習振り返り（小グループ討論）」（B班） （統合教育学修センター基礎科学　浦瀬）（衛生学公衆衛生学　廣田）	
	2／18 水						
	2／19 木		（追・再試験） 組織の成り立ち （10:00〜11:30）		（追・再試験） 生体物質の代謝 （13:00〜14:30）		
	2／20 金		（追・再試験） 細胞と情報伝達 （10:00〜11:30）		（追・再試験） 生体システムと制御機構 （13:00〜14:30）		
	2／21 土						

令和7年度　Segment2　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第25週	2／23 月	**天皇誕生日**					
	2／24 火		（追・再試験） 遺伝と遺伝子 （10:00～11:30）		（追・再試験） 生体防御・免疫 （13:00～14:30）		
	2／25 水		（追・再試験） 生体と微生物 （10:00～11:30）		（追・再試験） 医療・患者安全学 まとめ試験 （医療安全科　清水）		
	2／26 木						
	2／27 金						
	2／28 土						